操作マニュアル

本機には、別冊（紙マニュアル）と操作マニュアル（本マニュアル）があります。
本機を安全に正しく使っていただくために、ご使用の前に必ず「安全上のご注意」をよくお読みください。

- **別冊（紙マニュアル）**
  本機に付属しています。「安全上のご注意」、付属品、設置のしかたなどが書かれています。ご使用の前に必ずお読みになり、正しくお使いください。
  お読みになったあとは、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

- **操作マニュアル（本マニュアル）**
  詳しい使いかたを説明しています。本機に内蔵されていますので、必要なときにいつでもお読みください。
  安全に正しく使っていただくため、ご使用の前にこの操作マニュアルをよくお読みください。

目次

目次

はじめに…… 5

記号の意味 …… 6
用語について …… 7
記載について …… 8
ライセンス / 商標 …… 9
プロセッサー (CPU) に関するご注意 …… 10
著作権について …… 11
お願い …… 12
環境依存文字について …… 14
安心してお使いいただくために …… 15
本機の特長 …… 17

準備……23

各部の名称 …… 24
リモコンを使う …… 27
設置する …… 29
タッチスクリーン操作とリモコン操作 …… 32
電源を入れる / 切る …… 37
セットアップをする …… 41

インターネットに接続して使う……45

インターネットに接続するための準備 …… 46
無線 LAN の設定をする …… 48
Google アカウントを設定する…… 57
セキュリティアプリケーションについて …… 61

目次

基本操作……62
ホーム画面 …… 64
アプリケーションを使う …… 70
ホーム画面をカスタマイズする …… 77
クイック設定パネルを使う …… 81
文字を入力する …… 82
ユーザーを追加する / 切り換える …… 87
セキュリティの設定をする …… 91
便利な機能……93
ダブルウィンドウ …… 95
ワイヤレスディスプレイ …… 104
ホームネットワークプレーヤー …… 108
インフォメーションボード …… 129
メッセージボード …… 130
タイマー …… 132
ボードコントローラー …… 134
PC モニターモード …… 136
基本的なアプリケーション…… 140
Google Chrome…… 141
YouTube …… 141
Google サーチ…… 141
Google Play Store …… 141
設定…… 142
設定画面について …… 143
音の設定 …… 158
画面 / 映像の調整 …… 161
システムの設定 …… 164
その他 …… 168
初期化（リセット）…… 170

目次

外部機器との接続 / 取り付け…… 174
USB 機器 …… 175
Bluetooth 対応機器 …… 178
HDMI 機器 …… 181
困ったときは…… 184
症状で調べる …… 185
捨てるとき / 人に譲るとき …… 189

はじめに

記号の意味…… 6
用語について…… 7
記載について…… 8
ライセンス / 商標…… 9
プロセッサー (CPU) に関するご注意 ……10
著作権について……11
お願い……12
環境依存文字について……14
安心してお使いいただくために……15
マカフィーインストールのおすすめ …… 15
フィルタリングアプリケーション導入のお願い …… 16
本機の特長……17
マルチユーザー対応 …… 17
ダブルウィンドウ …… 17
ワイヤレスディスプレイ …… 18
オリジナルアプリケーション …… 19
タイマー機能 …… 20
リモコン操作 …… 21
ボードコントローラー …… 21
PC モニターモード …… 22

この章では、マニュアルについてや、ご使用時に注意していただきたいことなどについて説明しています。本機をお使いになる前に必ずお読みください。

記号の意味

⚠危険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷 (*1) を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷 (*1) を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷 (*2) を負うことが想定されるか、または物的損害 (*3) の発生が想定されること”を示します。
ご注意	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守っていただきたい内容、仕様や機能に関して知っておいていただきたい内容を示しています。
お知らせ	知っていると便利な情報を示します。
[　　]	本機の画面上に表示されるメニューや設定項目、ボタンを示します。
→「　　」または「　　」	参照先を示します。タップするとそのページにジャンプします。

*1　重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2　軽傷とは、治療に入院・長期の通院を要さない、けが、やけど（高温・低温）、感電などをさします。

*3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

用語について

本マニュアルで、説明に使われている用語を解説します。

● **プラットフォーム**

特に説明がない場合は、Android™4.2 プラットフォームを示します。

記載について

- アプリケーションについては、本機にプレインストールされているバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本マニュアルに記載している画面やイラストは、一部省略するなど、実際の表示とは異なる場合があります。
- 本マニュアルに記載している画面やイラストは、本機の画面を横向きに設置して使用することを前提に説明しています。
- 本マニュアルは、主に画面タッチでの操作の方法を説明しています。本体やリモコンに同じ名前 / 機能のボタンがある場合は同じ操作ができます。

ライセンス / 商標

本書に掲載されている会社名およびサービス・製品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

- Google、Google ロゴ、Android、Google Play、Google Play ロゴ、Google 音楽検索、Google 音楽検索ロゴ、Google マップ、Google マップロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、YouTube、YouTube ロゴ、Google Chrome、Google Chrome ロゴ、Google カレンダー、Google カレンダーロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fi Protected Setup、WPA、WPA2 は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- この製品はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

  DOLBY DIGITAL
- HDMI、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC. の登録商標または商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
  Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- Evernote は、米 EVERNOTE 社の登録商標です。
- Bluetooth は、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。
- DLNA®、DLNA 認定ロゴは Digital Living Network Alliance の登録商標あるいは認定マークです。

  dlna CERTIFIED™

プロセッサー (CPU) に関するご注意

本機に使われているプロセッサー（CPU）の処理能力は、次のような条件によって違いが現れます。

- **周辺機器を接続して本機を使用する場合**
- **マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本機にてお楽しみの場合**
- **本機を低速度のネットワークに接続して使用する場合**
- **複雑な造形に使用するアプリケーションを本機上で使用する場合**
- **次のような環境で本機を使用する場合**
  - 気圧が低い場所（目安として、標高 1,000 メートル以上）
  - 気温 5℃～ 30℃（高所の場合 25℃）の範囲を超えるような外気温の場所

本機に接続する周辺機器の構成や使用環境によっては、プロセッサー（CPU）に求められる処理能力が、当社の推奨する想定範囲を超える場合があります。また、ある状況下においては、本機は自動的に電源が切れることがあります。これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本機を使用した場合、お客様のデータ消失、破損、本機自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。
プロセッサー（CPU）が最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本機をご使用ください。
このほかの使用制限事項につきましては、各種説明書をお読みください。

著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベース等は著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本機を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

お願い

- 本機のプラットフォーム、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- 本機のプラットフォーム、アプリケーションは、本機でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本機の画像データは、本機上で壁紙に使用する以外の用途を禁じます。
- お使いの環境によっては、スムーズに再生できない動画があります。
- 本機はセキュリティ対策のための画面ロックによるパターン /PIN/パスワードの設定や、無線 LAN の暗号化設定などの機能を備えています。しかし、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。セキュリティの問題の発生や、生じた損害に対し、当社はいっさいの責任を負いません。

次ページへつづく

- ご使用の際は必ず本マニュアルを初めとする各種説明書と、本機のセットアップ後にホーム画面で [⊞] → [**設定]** → **[本体情報]** → **[法的情報]** で次の項目をタップし、それぞれ表示される画面をお読みください。
  - オープンソースライセンス
  - Google 利用規約（ご覧になるにはインターネットへの接続が必要です。）
  - 東芝利用規約
- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。初期化を行なった場合には再び使用許諾書が表示されます。
- Google™ のアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Google の各サービスを利用する際は、各サービスの利用規約をお読みください。

環境依存文字について

フォルダー名などに環境依存文字が含まれていると、ファイルの読み込みや保存などが正常に動作しないことがあります。

ファイル名やファイル内の文字列に環境依存文字が含まれていると、ファイル名が正しく表示されず、正常に動作しないことがあります。

また、アプリケーション上でファイルの編集中に入力した文字列に環境依存文字が含まれていると、作成したファイル上で正しく表示されないことがあります。

このような場合には、環境依存文字を含まない文字列に変更してください。

安心してお使いいただくために

マカフィーインストールのおすすめ

コンピューターウイルスは、インターネットやメールに添付されたファイルを介して本機に入り込んでしまうことがあります。
コンピューターウイルスに感染すると、次のようなことがおこる可能性があります。

- 本機のデータが破壊され、本機が使用できなくなる
- インターネットを経由して、本機に残している個人情報にアクセスされる

コンピューターウイルスの感染や不正アクセスから本機を保護するため、初めてインターネットに接続したりメールを送受信したりする前に、ウイルスチェック機能があるセキュリティアプリケーションをインストールしてください。インストール後も、普段から定期的にコンピューターウイルスの検出を行うようにしてください。

セキュリティアプリケーションの代表的なものに、McAfee Antivirus & Security があります。本機では、McAfee Antivirus & Security の Google Play™ ページを簡単に呼び出すアイコンが用意されています。

- **McAfee Antivirus & Security**

ウイルスの発見や駆除、個人情報保護やネットワークセキュリティ対策ができるアプリケーションです。
本機のセットアップとインターネットへの接続が完了したら、[⋯] → [**マカフィーインストール**] をタップすると、Google Play の McAfee Antivirus & Security のページが表示されます。

ご注意

McAfee Antivirus & Security をインストール（体験版を含む）したあと、別のセキュリティアプリケーションを利用するときは、McAfee Antivirus & Security を削除してください。

フィルタリングアプリケーション導入のお願い

インターネットの発展によって、世界中の人と容易にメールのやりとりをしたり、個人や企業が開設しているインターネット上のサイトを活用したりすることによって、必要なときに必要とする情報を瞬時に検索することが可能となっています。
しかしながら、インターネットには違法情報や有害情報という負の側面があります。特に青少年にとって、下記のようなインターネット上のサイトは、情報入手の容易化や機会遭遇の増大などによって、青少年の健全な発育を阻害し、犯罪や財産権侵害、人権侵害などの社会問題の発生を助長していると見られています。

- アダルトサイト（ポルノ画像や風俗情報）
- 出会い系サイト
- 暴力残虐画像を集めたサイト
- 他人の悪口や誹謗中傷を載せたサイト
- 犯罪を助長するようなサイト
- 毒物や麻薬情報を載せたサイト

アダルトサイトが青少年にとっていかに有害であっても、他人のサイトの公開を止めさせることはできません。情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるからです。また、日本では非合法であっても、海外に存在しその国では合法のサイトもあり、それらの公開を止めさせることはできません。
有害なインターネット上のサイトを青少年に見せないようにするための技術が、「フィルタリング」といわれるものです。フィルタリングは、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、情報受信者の側で閲覧の制御を行う技術的手段で、100% 万全ではありませんが、多くの有害な情報へのアクセスを自動的に制限することができる有効な手段です。特に青少年がおられるご家庭では、インターネット事業者のフィルタリング・サービスの利用をご検討されることをおすすめします。
「フィルタリング」は、サービス事業者によって、「有害サイトブロック」「Web フィルタ」「インターネット利用管理」などと表現される場合もあり、それぞれ、機能、利用条件が異なっています。お客様が契約されているインターネット事業者に、事前にご確認されることをおすすめします。

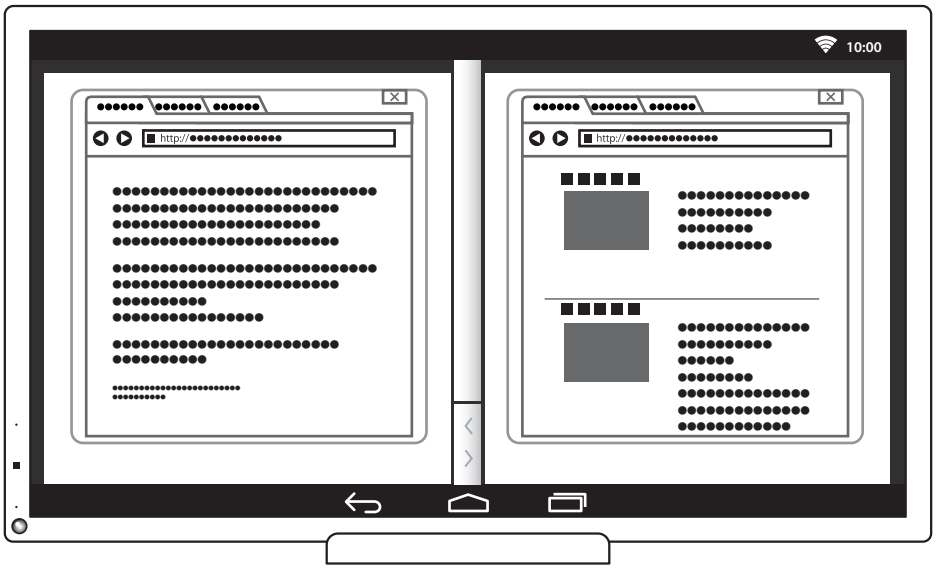
本機の特長

マルチユーザー対応

複数のユーザーを登録して、本機を共有することができます。ユーザーごとに Google アカウントの取得、ホーム画面のカスタマイズ、設定内容の保存などが行えるため、自分専用のような感覚で本機を使用することができます。

ダブルウィンドウ

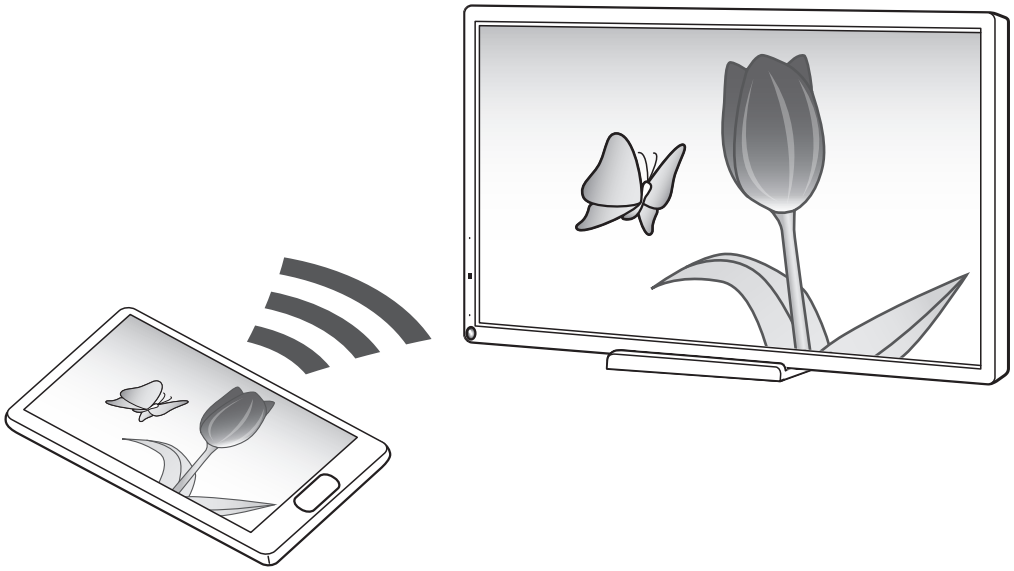
画面を 2 分割して、同時に 2 つのアプリケーションを操作することができます。（→「ダブルウィンドウ」）



ワイヤレスディスプレイ

スマートフォンやタブレットなどワイヤレスディスプレイ対応機器の画面を無線接続で本機の画面に表示することができます。（→「ワイヤレスディスプレイ」）

- 対応機器については「ワイヤレスディスプレイ対応機器」を参照してください。



オリジナルアプリケーション

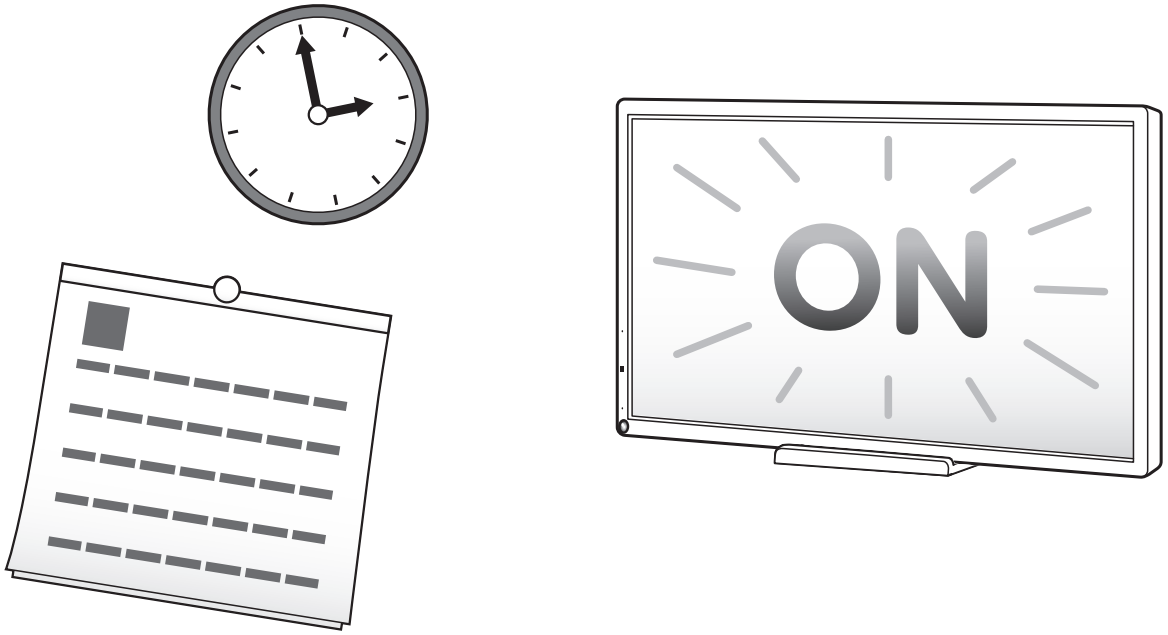
本機の性能を最大限に活用するため、以下のオリジナルのアプリケーションがインストールされています。

- **インフォメーションボード**
  ニュースや予定などのさまざまな情報を自動でお知らせします。（→「インフォメーションボード」）
- **メッセージボード**
  写真やメモを自由な位置に貼って、コルクボードやホワイトボードのようにお使いいただけます。スマートフォンからの入力・閲覧もできます。（→「メッセージボード」）
- **ホームネットワークプレーヤー**
  DLNA 対応のパソコンまたはハードディスクに保存された「動画」「写真」「音楽」などのコンテンツや、ライブ配信されている動画をネットワーク上で再生することができます。（→「ホームネットワークプレーヤー」）

タイマー機能

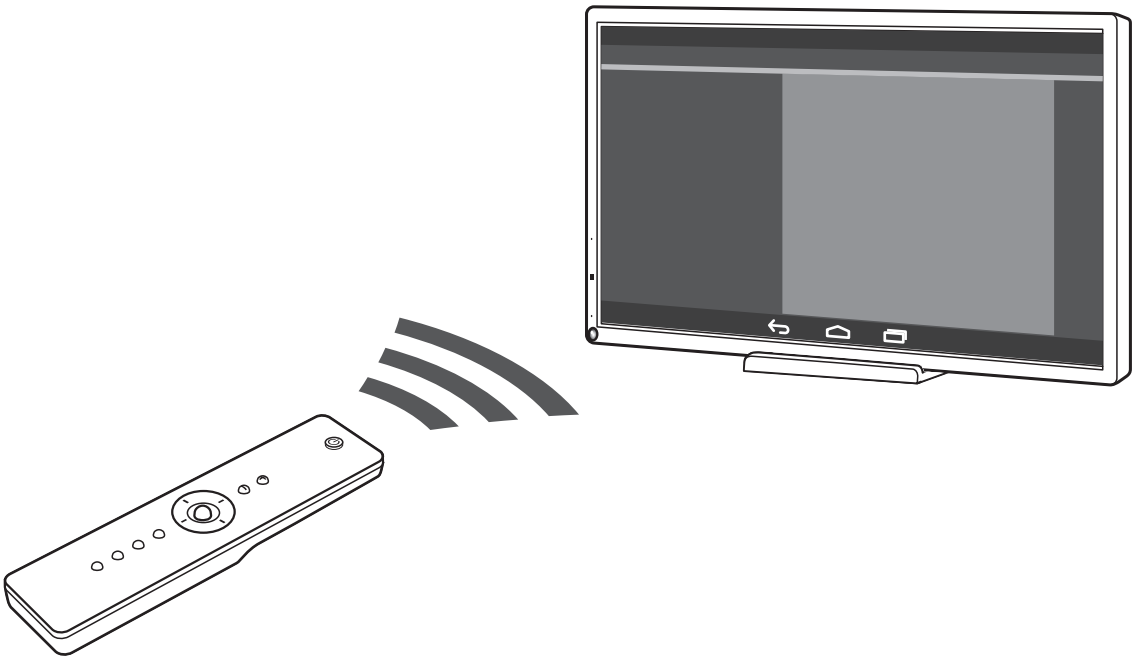
時刻を指定して電源の「入」/「切」ができます。(→「タイマー」)

- 曜日を指定して、繰り返し動作させることもできます。



リモコン操作

付属のリモコンを使って、離れたところから操作することができます。（→「リモコンを使う」）



ボードコントローラー

スマートフォンやタブレットに専用のリモコンアプリケーション「ボードコントローラー」をインストールすると、スマートフォンやタブレットから本機の以下の操作ができます。（→「ボードコントローラー」）

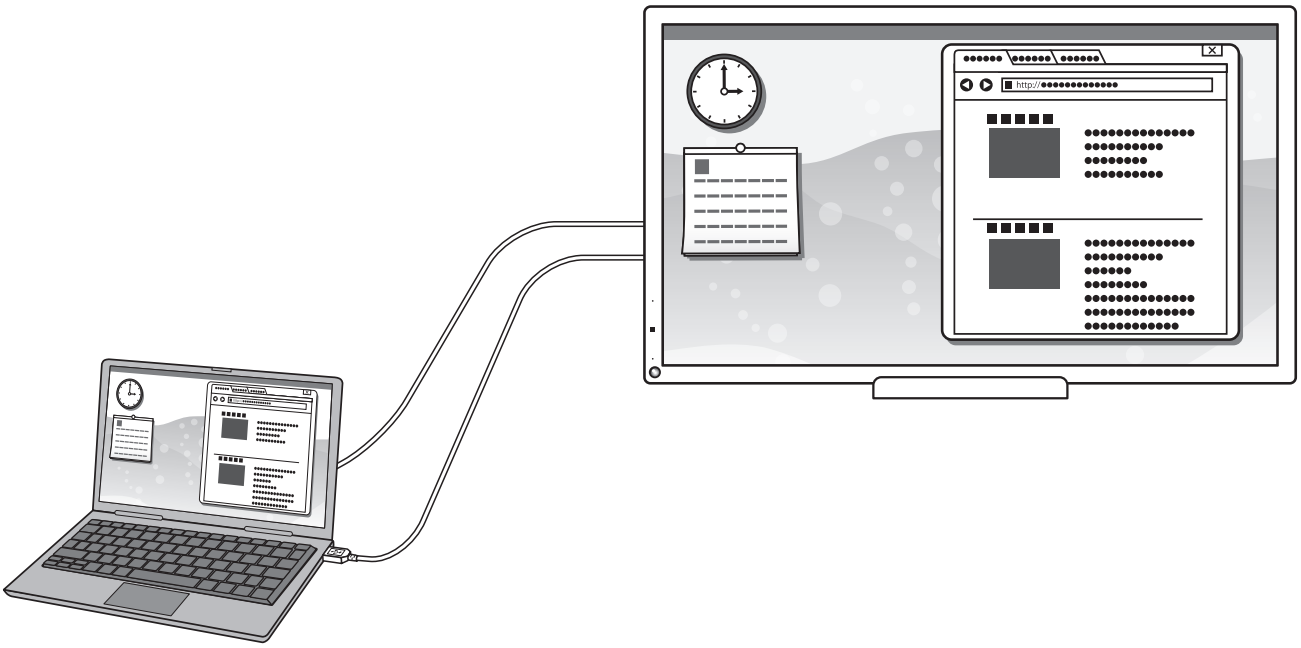
- **ポインター、カーソル操作**
- **タップ、フリック、ピンチイン、ピンチアウト**
- **電源、音量操作**
- **テキスト入力**

- 対応機器については「ボードコントローラー対応機器」を参照してください。

PC モニターモード

本機を Windows® 8 のモニターとして使うことができます。

Windows® 8 のタッチ操作に対応します。（→「PC モニターモード」）



操作編

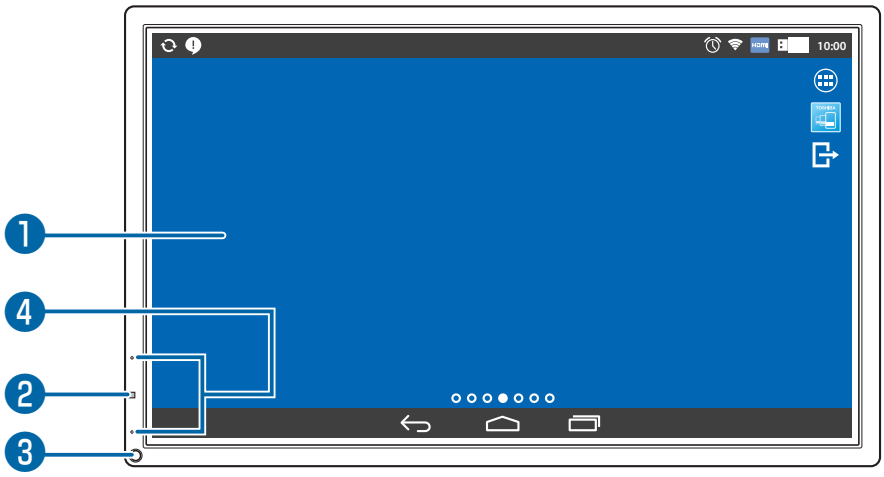
準備

各部の名称……24
本体前面 …… 24
本体背面 …… 25
接続端子 …… 26
リモコンを使う……27
リモコンに乾電池を入れる …… 27
リモコンの各部の名称 …… 28
設置する……29
スタンドを使って設置する …… 29
タッチスクリーン操作とリモコン操作……32
タップ / ダブルタップ / ロングタップ …… 32
ドラッグ …… 34
フリック / スライド …… 35
ピンチアウト / ピンチイン …… 36
電源を入れる / 切る……37
電源を入れる …… 37
電源を切る（待機状態にする）…… 39
セットアップをする……41
セットアップの流れ …… 41
セットアップを行う …… 42
チュートリアルを実施する …… 44

本機を使用するための準備について説明しています。

各部の名称

本体前面



❶ **液晶ディスプレイ（タッチパネル部）**

- [↩]（戻る）：前の画面に戻ります。
- [⌂]（ホーム）：ホーム画面を表示します。（→「ホーム画面」）
- [▭]（履歴）：最近使ったアプリケーション一覧を表示します。（→「最近使ったアプリケーション一覧から起動する」）

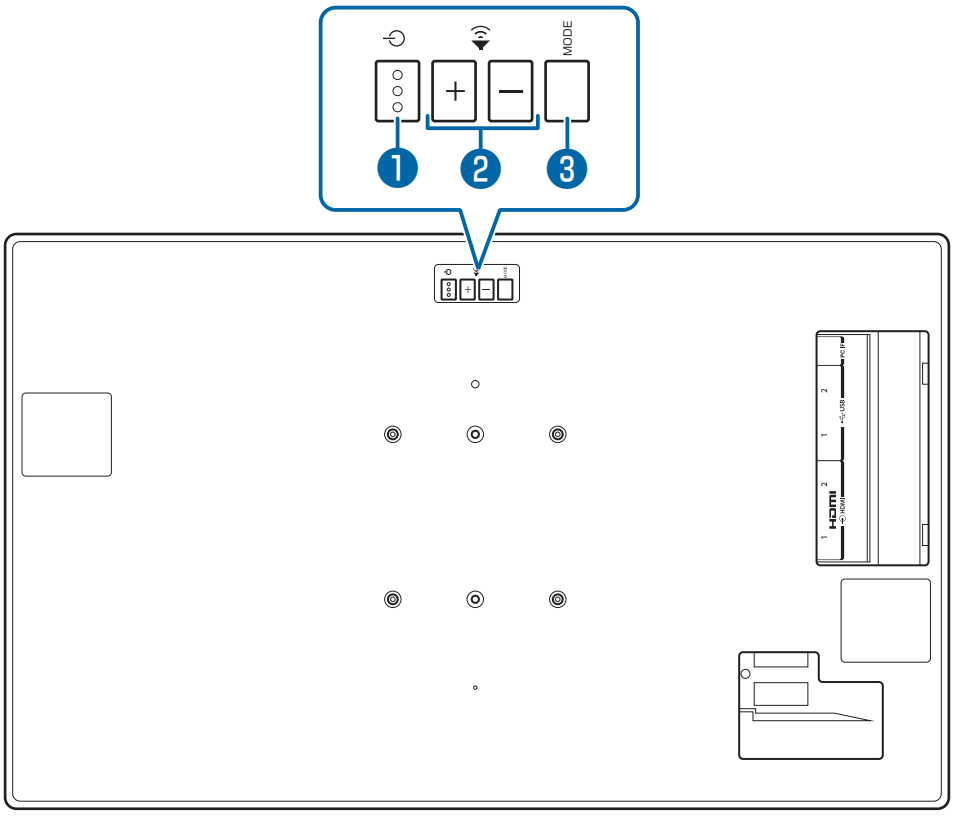
❷ **リモコン受光部**：付属のリモコンを受光部に向けて操作してください。（→「リモコンを使う」）

❸ **電源表示**：ランプの色によって、本機の状態を示します。

- **赤**： 電源が「切」（待機状態）です。
- **青**： Android モード（通常モード）で電源が「入」の状態です。
- **緑**： PC モニターモード（→「PC モニターモード」）で電源が「入」の状態です。
- **オレンジ**：電源が「切」でネットワーク接続を維持するための通信をしている状態です。（この間は電源に関する操作ができない場合があります（→「操作中のトラブル」））

❹ **マイク**：音声検索や音声入力の際に、マイクに向かって話してください。（→「音声で入力する」）

本体背面



❶ 電源ボタン

電源の「入」/「切」（待機状態）を切り換えます。（→「電源を入れる / 切る」）

❷ 音量ボタン（＋ / －）

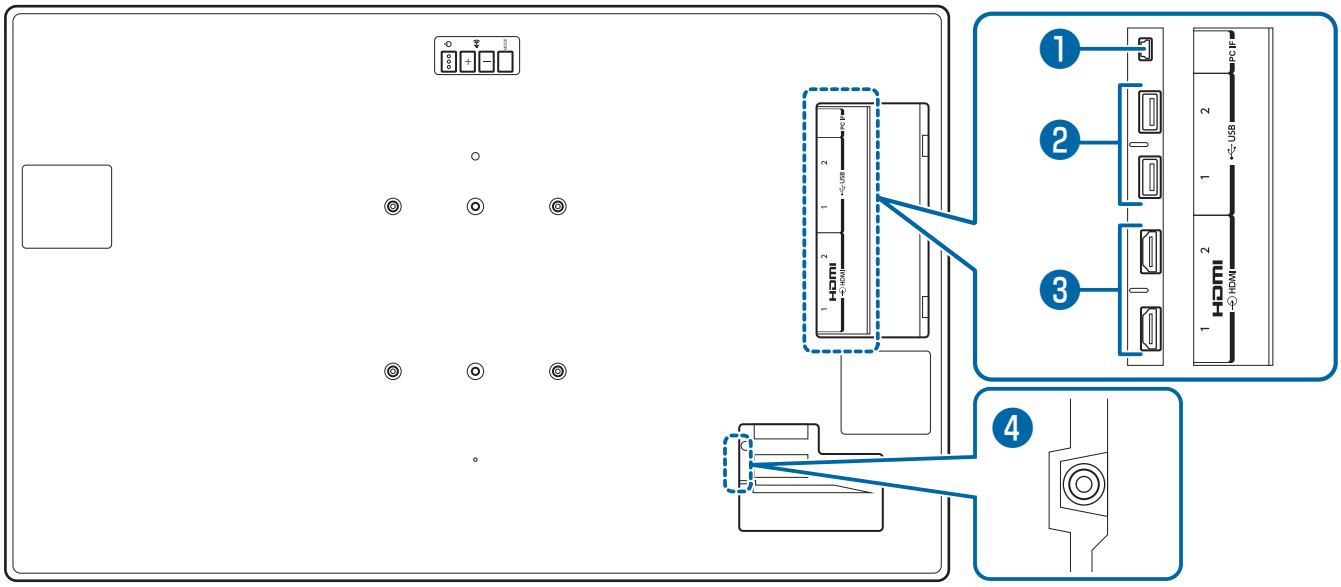
音量を調節します。

- 「＋」を押すと音量が大きく、「－」を押すと音量が小さくなります。

❸ MODE（モード切り換え）ボタン

Android モード（通常のモード）と PC モニターモードを切り換えます。（→「PC モニターモードに切り換える」）

接続端子



❶ PC IF 端子

PC モニターモードで本機を使うときに、パソコン（Windows® 8）を接続します。（→「Windows® 8 のパソコンと接続する」）

❷ USB 端子

USB 機器を接続します。（→「USB 機器を接続する」）

❸ HDMI 端子

HDMI 機器を接続します。（→「HDMI 機器を接続する」）

❹ 電源コネクター

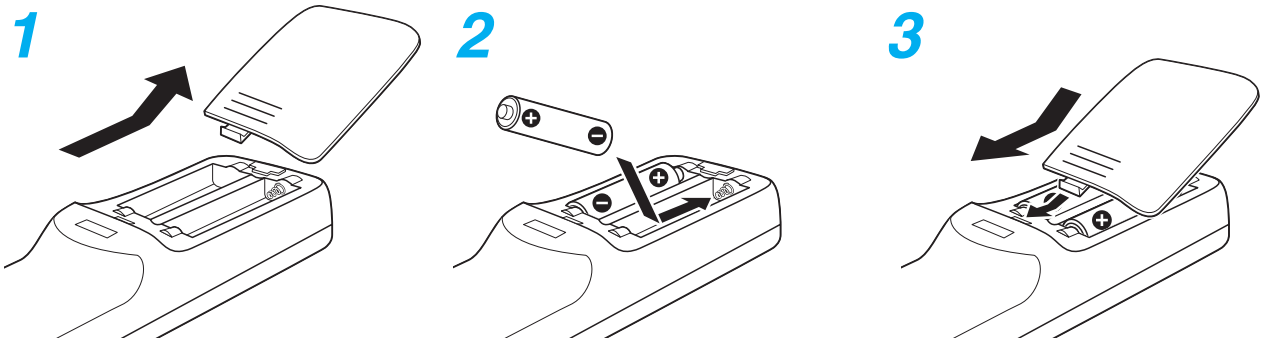
AC アダプターを接続します。（→「設置する」）

リモコンを使う

リモコンに乾電池を入れる

単三形乾電池 R6 または LR6 を 2 個ご使用ください。

- 極性表示（⊕ / ⊖）を確かめて、間違えないように入れてください。
- お買い上げ時は単三形乾電池 R6 が 2 個付属されています。



1 電池カバーをはずす

- カバーのツメを下部方向に押しながらすくい上げ、電池カバーを取りはずします。

2 乾電池を入れる

- 極性表示を確かめて、間違えないように入れます。

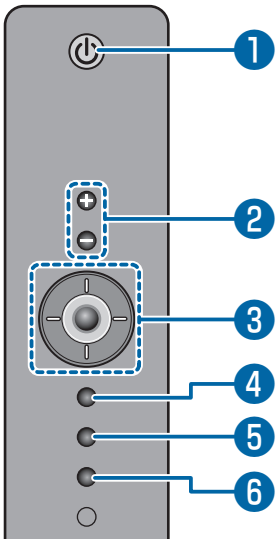
3 電池カバーを閉める

- カバーの突起をリモコン本体の溝に差し込んで、パチンと音がするまでカバーを押し込みます。

お知らせ

- 乾電池の寿命はご使用状態によって変わります。リモコンが動作しにくくなったり、操作できる距離が短くなったりしたら 2 個とも新しい乾電池と交換してください。
- 使用済の乾電池は、地方自治体またはお住まいの地域で定められた規則に従って廃棄してください。

リモコンの各部の名称



ご注意

リモコンは本体のリモコン受光部に向けてお使いください。

❶ **電源ボタン**：電源の「入」/「切」（待機状態）を切り換えます。（→「電源を入れる / 切る」）

❷ **音量ボタン(＋/－)**：音量を調節します。「＋」を押すと音量が大きく、「－」を押すと音量が小さくなります。

❸ **ポインティングキー**：キーを動かすと、画面に［ ］が表示されます。ポインティングキーの使いかたについては、「タッチスクリーン操作とリモコン操作」をご覧ください。

❹ **「（戻る）」ボタン**：前の画面に戻ります。

❺ **「（ホーム）」ボタン**：ホーム画面を表示します。（→「ホーム画面」）

❻ **「（履歴）」ボタン**：最近起動したアプリケーション一覧を表示します。アプリケーション一覧から使いたいアプリケーションをタップするとアプリケーションが起動します。（→「最近使ったアプリケーション一覧から起動する」）

お知らせ

チュートリアル（→「チュートリアルを実施する」）では、実際に操作しながらリモコンの使いかたを知ることができます。

設置する

付属のスタンドを使って設置します。

お知らせ

電源プラグをコンセントに接続すると、電源が「切」（待機状態）でも電力を消費します。長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

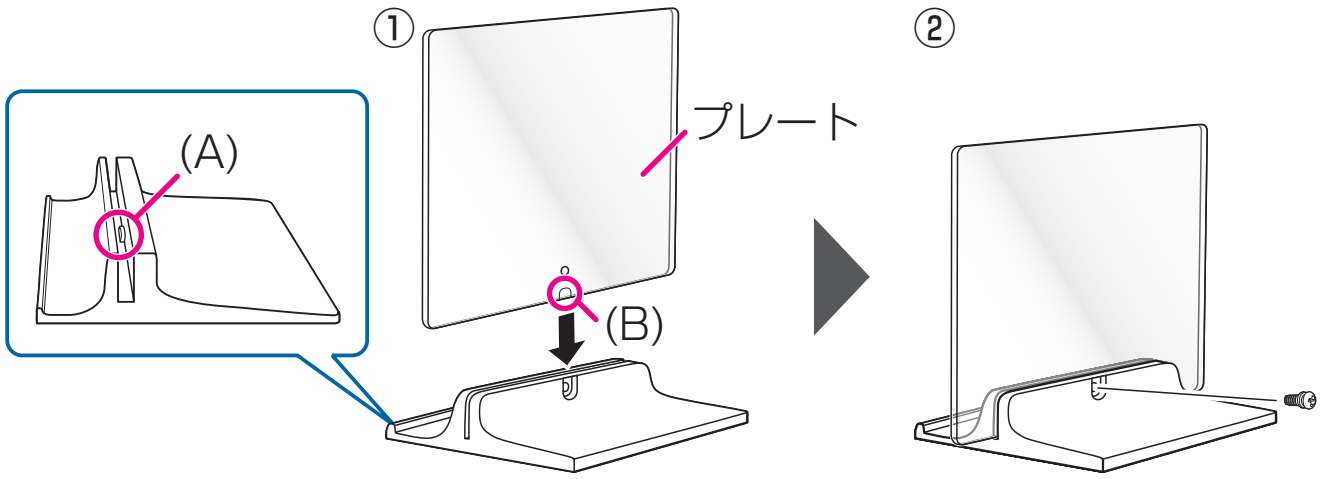
スタンドを使って設置する

1 スタンドを組み立てる

① 台座の溝にプレートを差し込む

溝の中の凸部 (A) に、プレートの凹部 (B) をはめ込みます。

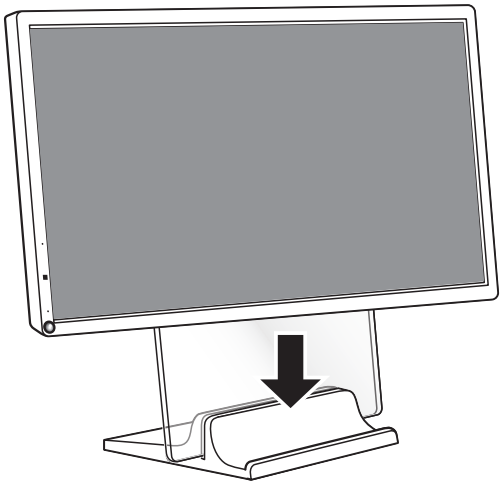
② 台座とプレートをネジで固定する



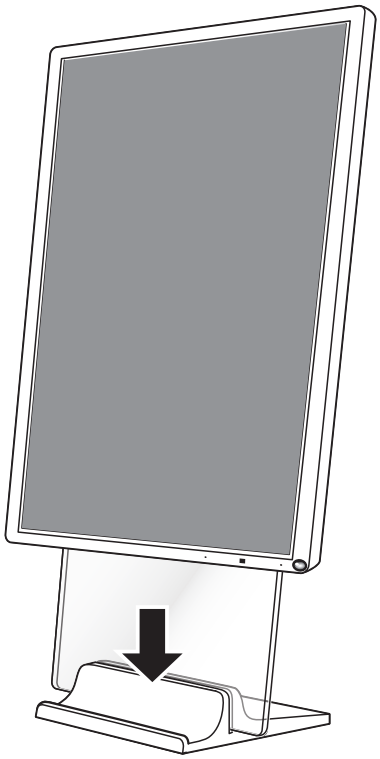
次ページへつづく

2 本機をスタンドに載せる

横向きに設置するとき



縦向きに設置するとき

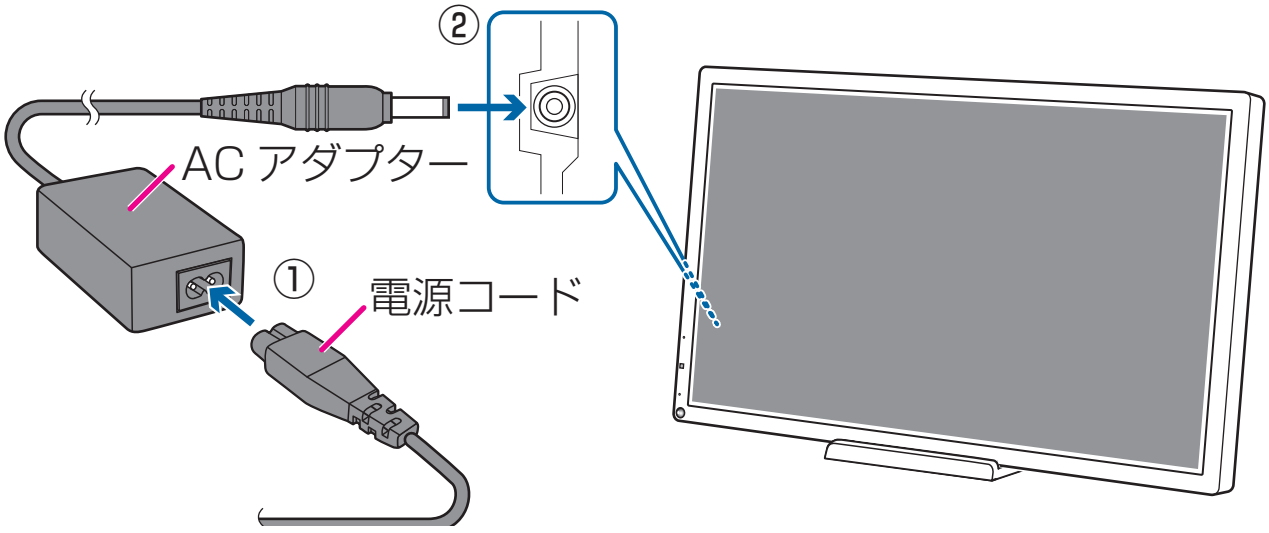


- 電源表示ランプが下になるように設置してください。

3 背面の電源コネクターに AC アダプターを接続する

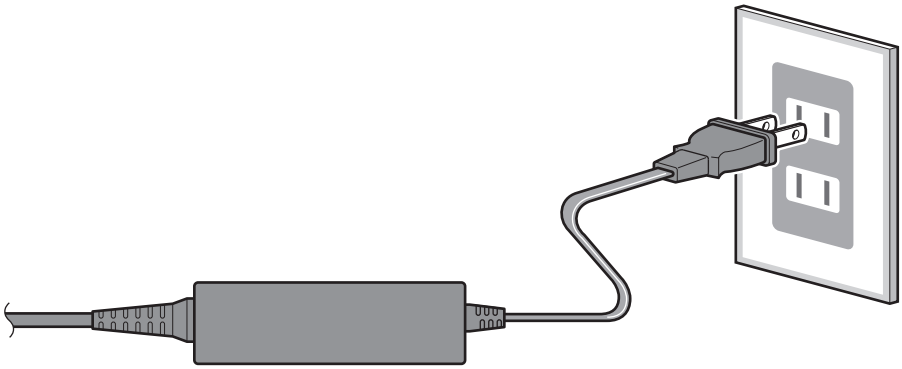
① 電源コードを AC アダプターに接続する

② AC アダプターを本機に接続する



次ページへつづく

4 電源プラグをコンセントに接続する



⚠注意

- **付属の電源コードは本機に付属の AC アダプター以外には使用しない**

  付属の電源コードは、本機付属の AC アダプター専用です。

ご注意

- スタンドは、テーブルの上など、凹凸のない場所に置いてください。
- 落下しないようにご注意ください。

タッチスクリーン操作とリモコン操作

本機の基本的な操作には、以下の 2 通りの方法があります。

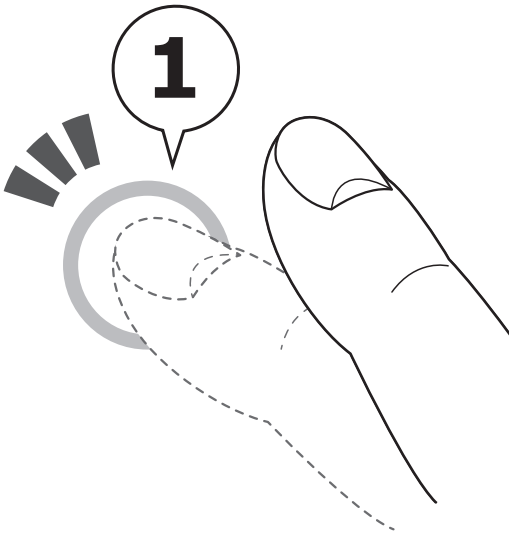
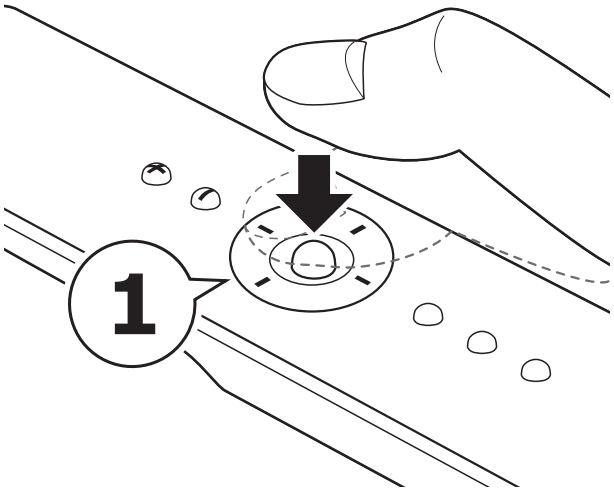
- **画面を指でタッチする**
- **付属のリモコンを使って操作する**

画面を指でタッチする操作と、それに対応するリモコンの操作について説明します。

タップ / ダブルタップ / ロングタップ

● タップ

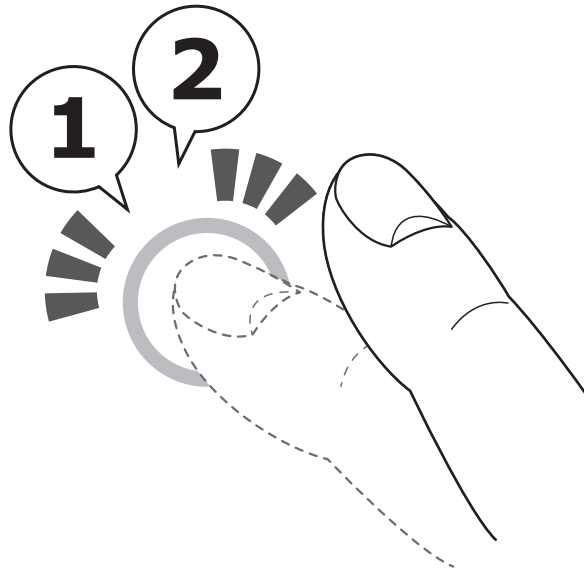
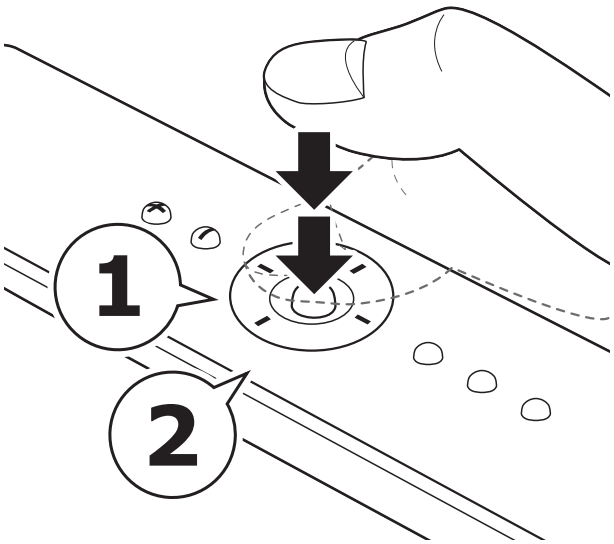
ボタンの操作やアプリケーションの起動、文字の入力などをするときに使います。

画面タッチ	リモコン
アイコンやボタンなどを指でタッチして離します。 	アイコンやボタンの上に［ ］を置き、ポインティングキーを 1 回押し込みます。 

次ページへつづく

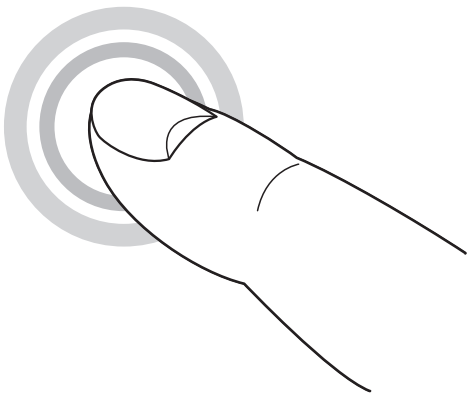
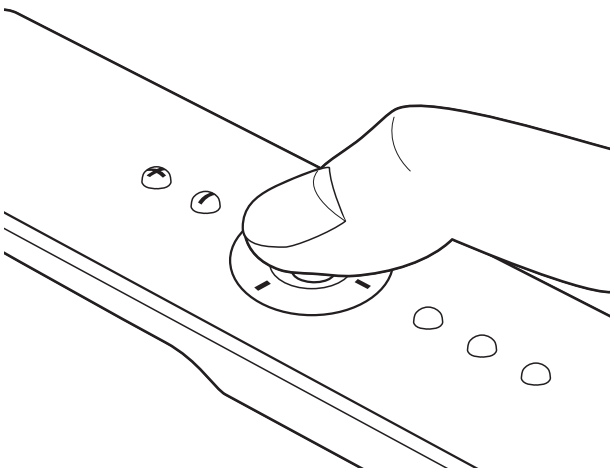
● ダブルタップ

アプリケーションによって、使用します。

画面タッチ	リモコン
すばやく 2 回指でタッチします。 	ポインティングキーをすばやく 2 回押し込みます。 

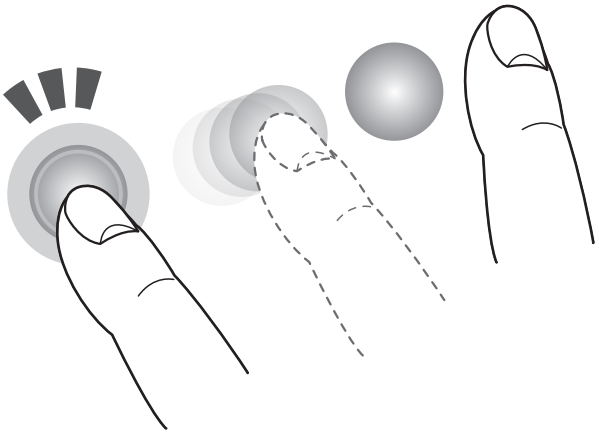
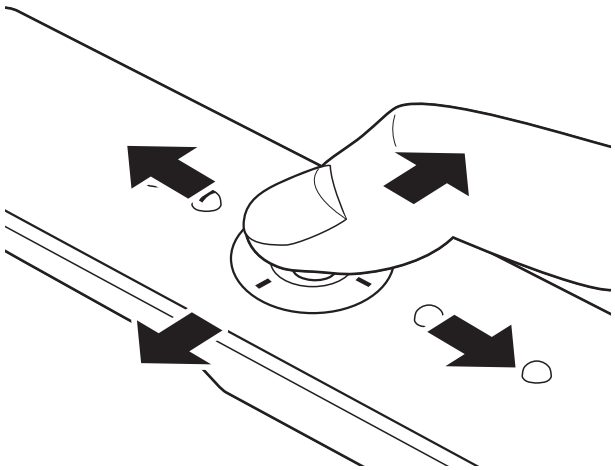
● ロングタップ

アイコンに触れて、メニューを表示するときなどに使います。

画面タッチ	リモコン
ロングタップしたい場所の上に、数秒間指を置いたままにします。 	ロングタップしたい場所の上に [ ] を置き、数秒間ポインティングキーを押し込んだままにします。 

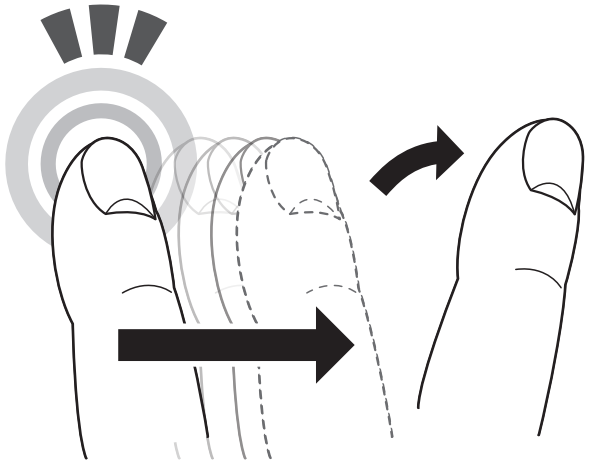
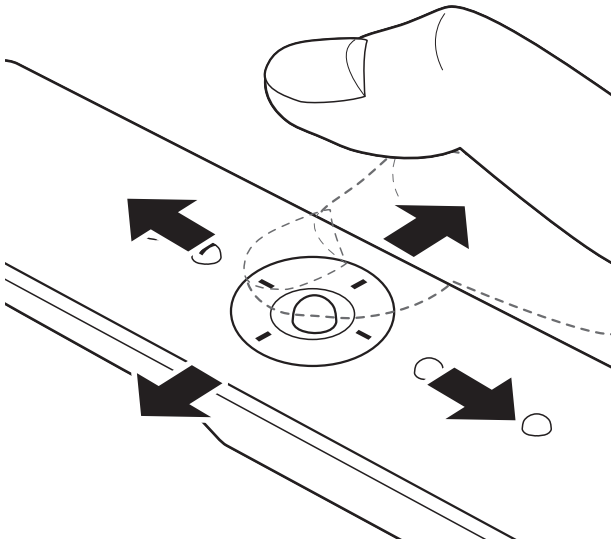
ドラッグ

アイコンの配置を変更するときなどに使います。

画面タッチ	リモコン
アイコンなどの上に指を置き、画面に触れたまま、移動したい場所まで指を滑らせて離します。 	アイコンなどの上に［ ］を置き、ポインティングキーを押し込んだまま、移動したい場所までカーソルを動かして指を離します。 

フリック / スライド

画面を左右に切り換えたり、情報が画面に表示しきれない場合にスクロールしたりするときなどに使います。

画面タッチ	リモコン
画面に指を置き、画面を軽くはらうように動かしたり、なぞったりします。 	ポインティングキーを押し込んだまま、切り換える方向にポインティングキーを動かしてから離します。 

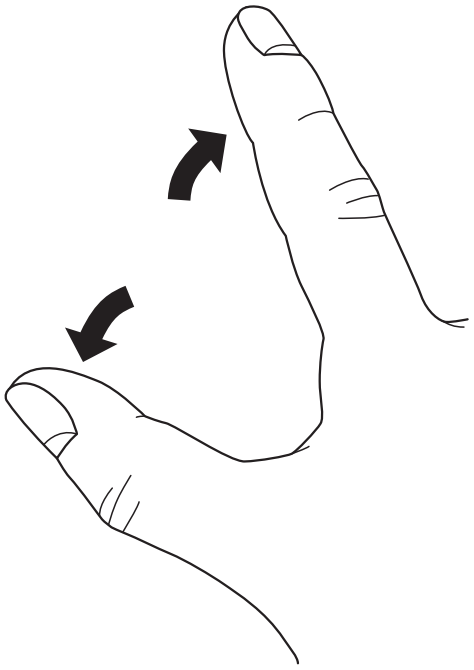
ピンチアウト / ピンチイン

画面の表示を拡大したり、縮小したりするときに使います。

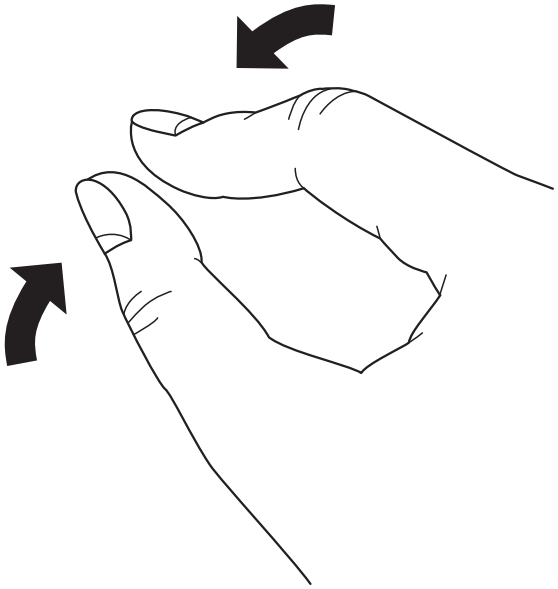
- リモコンでは、この操作はできません。

① 画面に指を 2 本置く

② 表示を拡大するときは指を開く（ピンチアウト）



表示を縮小するときは指を閉じる（ピンチイン）



電源を入れる / 切る

本機の電源の入れかた、切りかたを説明します。

⚠警告

- **電子機器の使用が制限されている場所では本機の電源を切る**

  本機を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効にしたうえで、本機の電源を切ってください。

電源を入れる

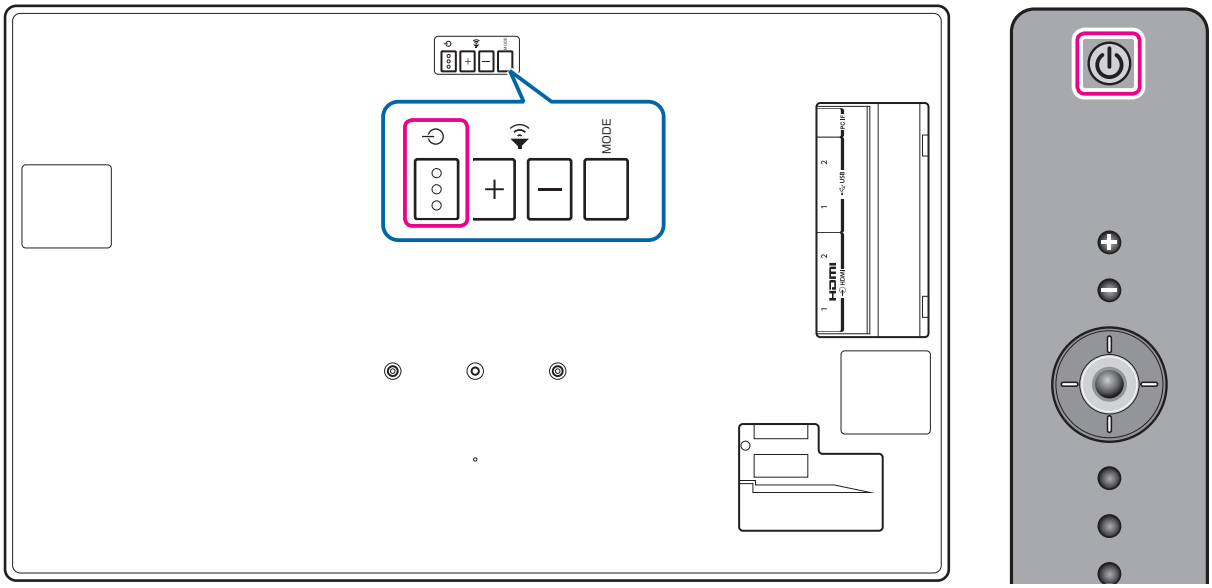
⚠注意

電源を入れる前に

- **記録メディアなどを接続している場合は取りはずしてください。**
- **電源の「入」/「切」ができる周辺機器を接続している場合は、周辺機器の電源を入れたあとに本機の電源を入れてください。**

次ページへつづく

1 本体背面またはリモコンの電源ボタンを押す



本機が起動します。

- 本体の電源表示ランプが青く点灯します。(PC モニターモード(→「PC モニターモード」) のときは、電源表示ランプは緑に点灯します。)

お知らせ

- **[画面ロック]** の設定をしていると、起動後にロックの解除が必要になります。(→「セキュリティの設定をする」)
- 複数のユーザーを登録している場合 (→「ユーザーを追加する」)、登録されているユーザーのアイコンが表示されます。ログインするユーザーのアイコンを選んでから画面のロックを解除してください。(→「ユーザーを切り換える」)

電源を切る（待機状態にする）

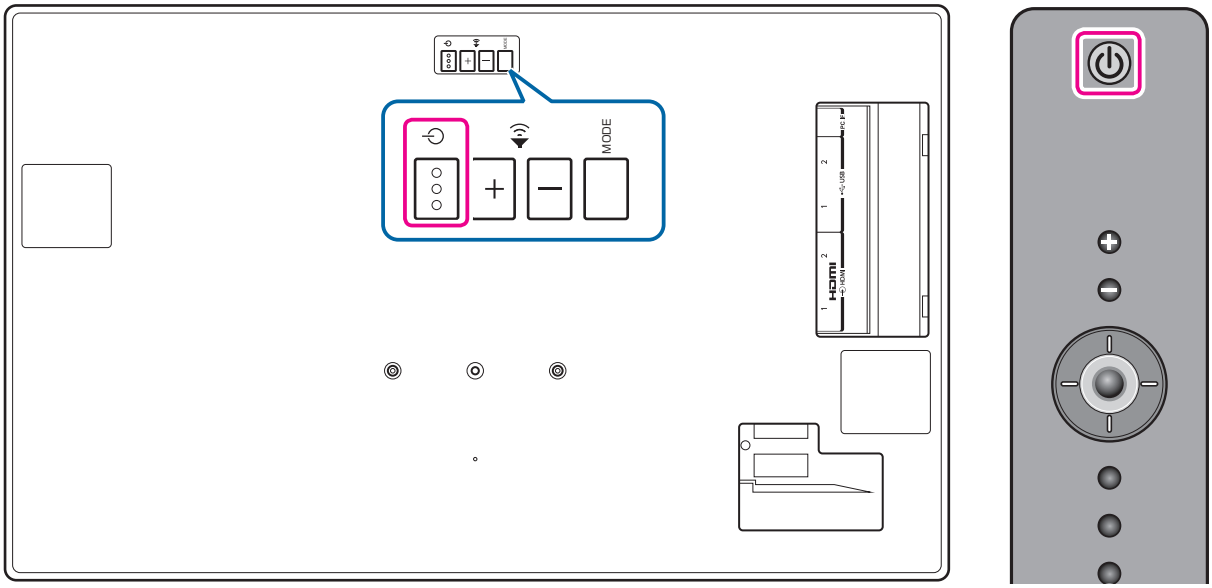
ご注意

- 電源を切る前に、必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは、電源を切ると失われます。
- 内蔵フラッシュメモリやメモリーカード、接続機器などへのアクセス中は電源を切らないでください。データが失われることがあります。

お知らせ

電源プラグをコンセントに接続すると、電源が「切」（待機状態）でも電力を消費します。長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1 本体背面またはリモコンの電源ボタンを押す



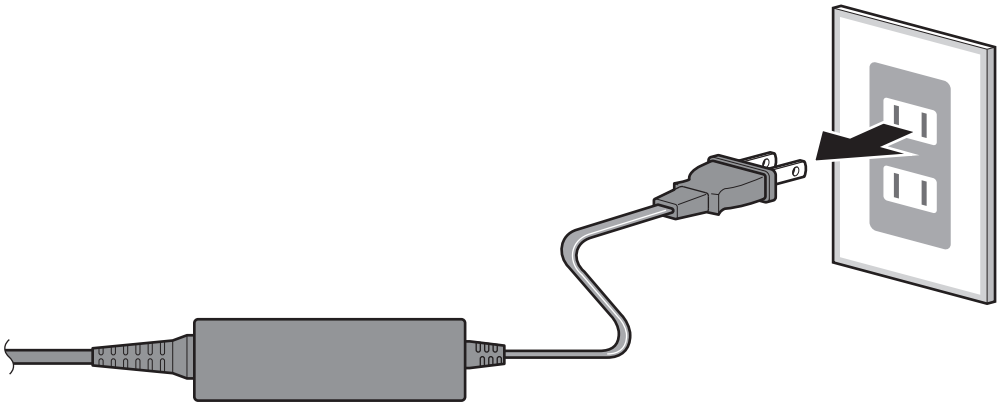
電源が待機状態になります。

- 本体の電源表示ランプが赤く点灯します。

次ページへつづく

強制的に電源を切るには（強制終了）

本機のプラットフォームやアプリケーションが応答せず、通常の方法（→「電源を切る（待機状態にする）」）で電源を切ることができないときは、電源プラグをコンセントから抜く、または AC アダプターを本体から抜いて、本機を強制終了します。



ご注意

強制終了すると、保存していないデータは消失します。

セットアップをする

本機をお買い上げ後、最初に電源を入れるとセットアップ画面が表示されます。お使いになる前にセットアップを行なってください。

セットアップの流れ

セットアップは、以下の順で行います。

電源を入れる
- 本体背面またはリモコンの電源ボタンを押します。

↓

表示する言語の確認

↓

無線 LAN（Wi-Fi）の設定
- セットアップ時は設定をスキップします。セットアップ終了後、無線 LAN の設定（→「無線 LAN の設定をする」）と Google アカウントの設定（→「Google アカウントを追加する」）」を行なってください。

↓

Google の位置情報サービスの確認

↓

タイムゾーン / 日付、時刻の確認

↓

所有者の設定
- セットアップ時は設定をスキップします。セットアップ終了後、必要に応じて設定してください。（→「ユーザー」）

↓

Google サービスの確認

↓

セットアップの完了

↓

チュートリアル

セットアップを行う

電源を入れたあと、画面の指示に従ってセットアップを行なってください。

1 表示する言語を確認し、[開始] をタップする

2 [スキップ] をタップして Wi-Fi の選択の手順をスキップする

- 警告メッセージが表示されたときは **[無視してスキップ]** をタップします。

3 Google の位置情報サービスの確認をする

- **[▶]** をタップして、画面の指示に従ってください。次に進むときは **[▶]** をタップします。

4 日付と時刻を設定する

- それぞれの項目にタップして、お住まいの地域（タイムゾーン）、日付、時刻を設定します。
- 設定が終わったら **[▶]** をタップして次に進みます。

次ページへつづく

5 所有者を設定する

- 文字の入力方法については、「文字を入力する」を参照してください。
- 次に進むときは［▶］をタップします。

6 Google サービスの確認画面で内容を確認し、［▶］をタップする

7 ［完了］をタップしてセットアップを完了する

チュートリアル画面が表示されます。画面の指示に従ってチュートリアルを進めてください。

チュートリアルを実施する

本機を最初に起動したときのセットアップが終了すると、自動的にチュートリアルが始まります。

チュートリアルでは、リモコンを実際に操作したり、本機の主な機能を紹介したりします。

画面の指示に従って進んでください。

- チュートリアルの説明は、スキップして次の説明に飛ばすことができます。

チュートリアルを途中でやめるには

［⌂］をタップするか電源を「切」（待機状態）にします。

お知らせ

チュートリアルは、アプリケーション一覧（→「アプリケーション一覧から選んで起動する」）から起動することもできます。

インターネットに接続して使う

インターネットに接続するための準備……46
ご家庭でインターネットに接続するには …… 46
無線 LAN で通信するには …… 47
無線 LAN の設定をする ……48
無線 LAN 設定方法の種類と流れ …… 48
無線 LAN 機能をオンにする …… 49
WPS 方式で接続設定する …… 51
無線 LAN ネットワークから選択する …… 53
手動で設定する …… 55
Google アカウントを設定する……57
Google 利用規約について…… 57
Google アカウントを追加する…… 58
セキュリティアプリケーションについて……61

本機を使って「ウェブサイトを見る」、「メールを送受信する」、「アプリケーションや書籍を購入する」、「アプリケーションやプラットフォームをアップデートする」などを行うには、インターネットへの接続が必要です。
ここでは、インターネットへの接続方法、Google Play™ ストアや Gmail™ などを利用するために必要な「Google アカウント」について説明します。

インターネットに接続するための準備

インターネットに接続するためには、インターネット回線に接続したブロードバンドルーターに本機の無線 LAN 機能を使ってアクセスする必要があります。

ご家庭でインターネットに接続するには

インターネットに接続するためには、次の契約が必要です。

- **光ファイバー・ADSL・ケーブルテレビなどの通信回線**
- **インターネットサービスプロバイダー**

会社によって、サービス内容や料金が異なります。使用できるようになるまでに数日かかることもあります。詳細は、回線会社やプロバイダーにお問い合わせください。

- 契約後、実際にインターネットに接続するためには、ブロードバンドルーターなどの機器が必要です。

無線 LAN で通信するには

本機の無線 LAN 機能を使って、インターネット回線に接続したブロードバンドルーターにアクセスします。ブロードバンドルーターに無線 LAN アクセスポイント機能が内蔵されているか確認してください。

- **無線 LAN アクセスポイント内蔵のブロードバンドルーター**

  本マニュアルでは、このような機器を「無線 LAN ルーター」と呼びます。

  無線 LAN を用いて、本機と無線 LAN ルーターの間で通信を行います。

- **無線 LAN アクセスポイントが内蔵されていないブロードバンドルーター**

  単独では本機と通信できません。別途、無線 LAN アクセスポイントという機器が必要になります。

  無線 LAN を用いて、本機と無線 LAN アクセスポイントの間で通信を行います。

お知らせ

ブロードバンドルーターの詳細については、回線会社にお問い合わせください。無線 LAN ルーターや無線 LAN アクセスポイントなどの機器は、回線会社からレンタルしたり、電器店などで購入したりすることができます。

無線 LAN の設定をする

無線 LAN 設定方法の種類と流れ

使用する無線 LAN ルーターや無線 LAN アクセスポイントによって、おすすめの設定方法が異なります。

1 本機の無線 LAN 機能をオンにする

（→「無線 LAN 機能をオンにする」）

2 以下のどれかの方法で無線 LAN を設定する

- 使用する無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイントについては、各機器の取扱説明書を参照してください。

● **ご利用になる無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイントに WPS マークがある（Wi-Fi Protected Setup™ に対応している）場合：**

WPS 方式で簡単に設定できます。（→「WPS 方式で接続設定する」）

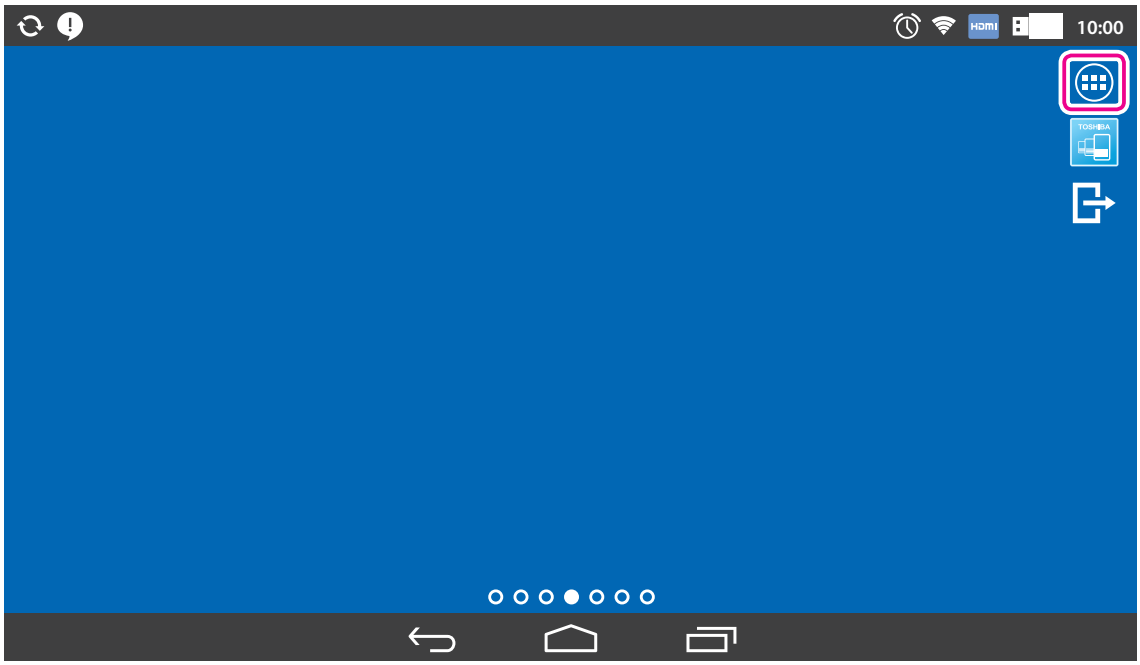
● **上記以外：**

- 本機が検出した無線 LAN ネットワークの一覧から、接続する無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイントを選んで設定します。（→「無線 LAN ネットワークから選択する」）
- 上記の方法で、ご利用になる無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイントが検出されないときは、手動で設定します。（→「手動で設定する」）

無線 LAN 機能をオンにする

1 ホーム画面（→「ホーム画面」）で［ ］をタップする

アプリケーション一覧画面が表示されます。



2 ［ 設定］をタップする

設定画面が表示されます。

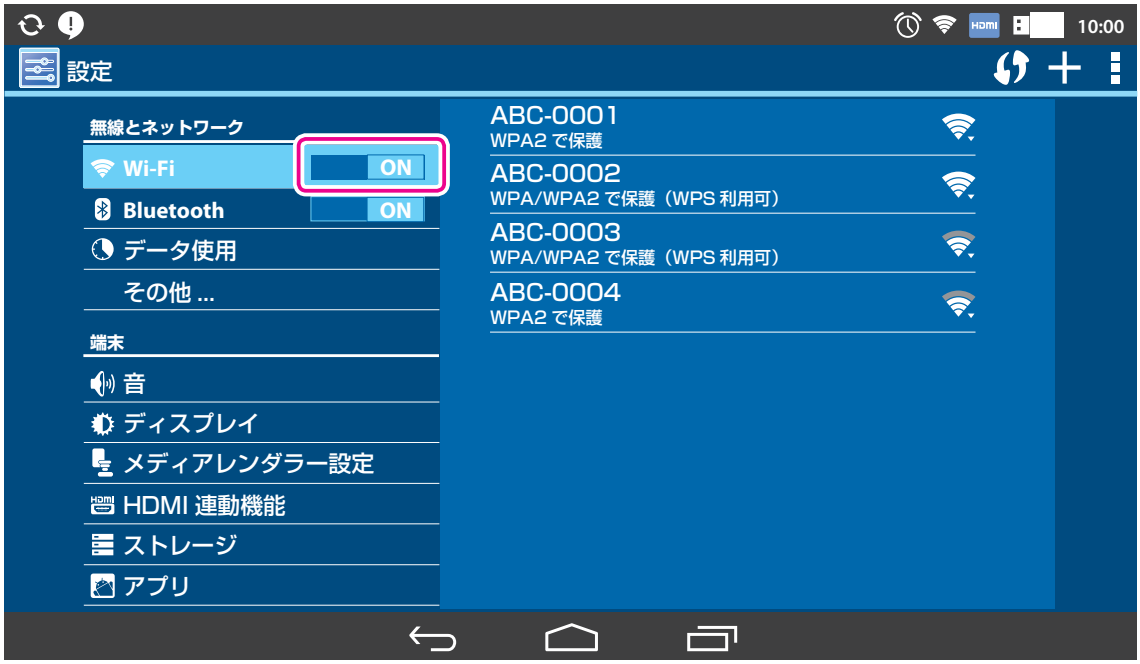
次ページへつづく

3 [Wi-Fi] が [ON]（オン）になっていることを確認する

[Wi-Fi] が [OFF]（オフ）のときは、[OFF] をタップして、[ON]（オン）に切り換えます。

通信可能な無線 LAN ネットワークが自動検出され、ネットワークの SSID の一覧が表示されます。

- SSID は、無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイントに設定されている固有の ID です。SSID は、機器本体に貼られているラベルや機器に付属の取扱説明書などで確認できます。



4 無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイントと接続する

使用する無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を確認して、下記のいずれかの方法で接続設定します。

- **WPS 方式で設定する**（→「WPS 方式で接続設定する」）
- **自動検出された無線 LAN ネットワークから選ぶ**（→「無線 LAN ネットワークから選択する」）
- **手動で設定する**（→「手動で設定する」）

WPS 方式で接続設定する

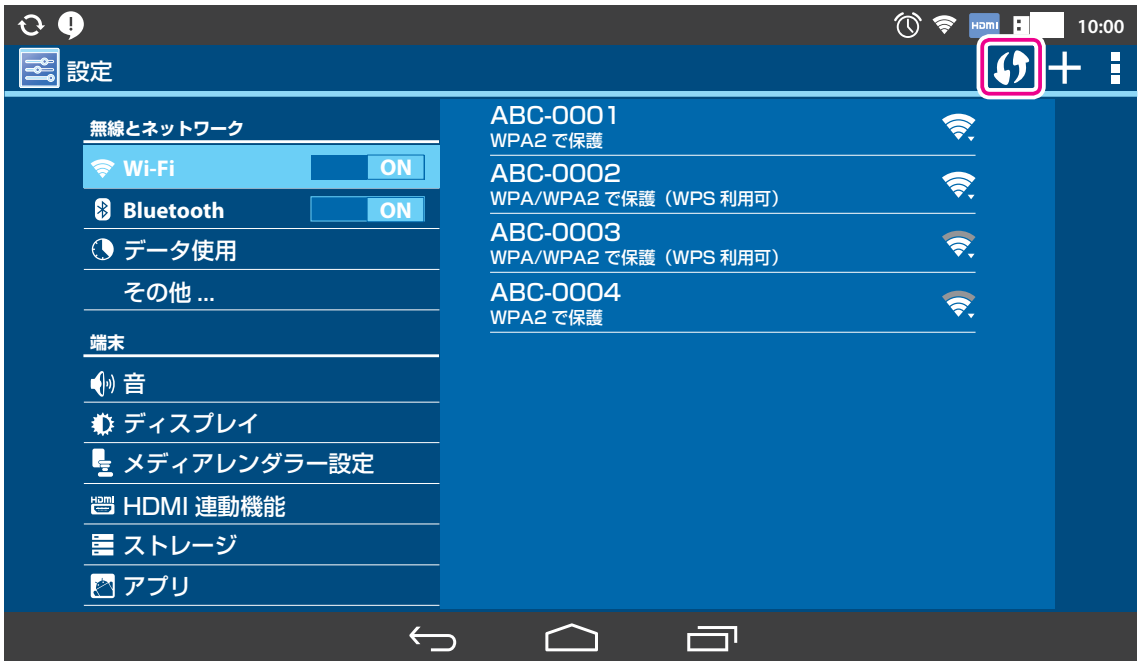
WPS マークのついた無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイントをプッシュボタン方式で設定します。

- 本機の無線 LAN 機能をオンにしてから（→「無線 LAN 機能をオンにする」）、以下の操作をします。

1 無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイントの電源を入れ、無線通信機能をオンにする

- ご利用になる無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイントについては、各機器の取扱説明書を参照してください。

2 設定画面の右上の［ ］をタップする



次ページへつづく

3 無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイントの WPS ボタンを機器のランプが点滅するまで押し続ける

4 画面に「設定しました」というメッセージウィンドウが表示されたら、[OK] をタップする

設定が終了すると、接続した無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイントの SSID の下に「接続済み」と表示されます。

無線 LAN ネットワークから選択する

検出された無線 LAN ネットワーク一覧から、接続する無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイントを選びます。

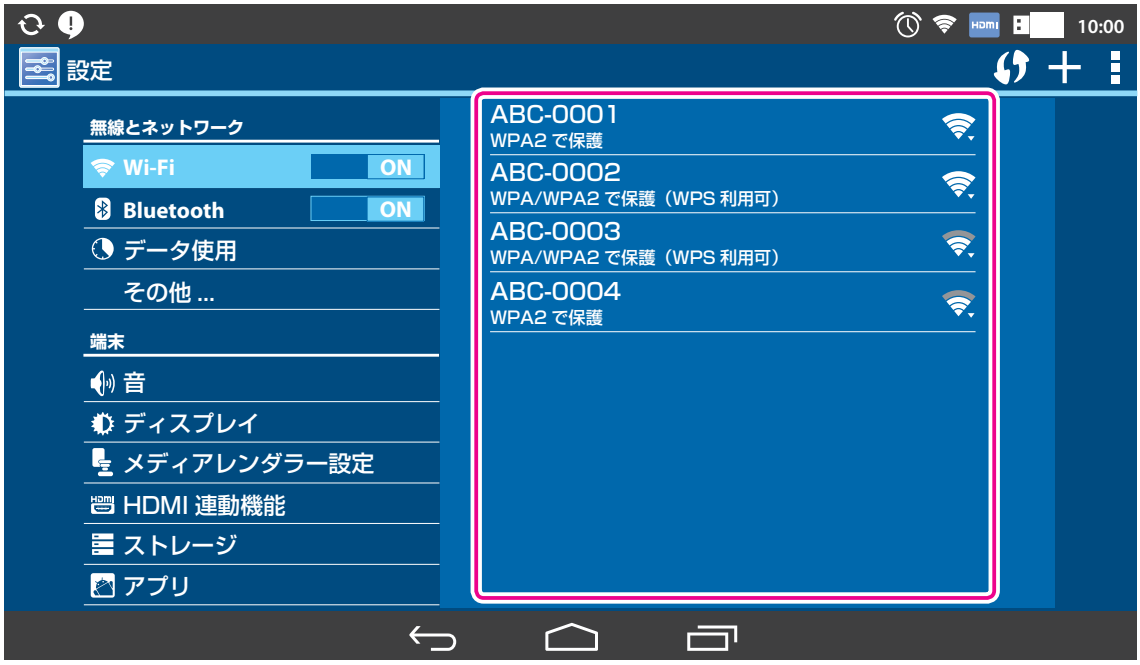
- 本機の無線 LAN 機能をオンにしてから（→「無線 LAN 機能をオンにする」）、以下の操作をします。

1 無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイントの電源を入れ、無線通信機能をオンにする

- ご利用になる無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイントについては、各機器の取扱説明書を参照してください。

2 設定画面の無線 LAN ネットワーク一覧から、接続する無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイントの SSID をタップする

- SSID は、機器本体に貼られているラベルや、機器に付属の取扱説明書などで確認してください。
- SSID が多数表示されて、接続する無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイントが表示されていないときは、一覧をスクロールします。
- スクロールしても表示されないときは、設定画面の右上の［⋮］をタップし、表示されたメニューから［スキャン］を選んで、検出を行います。



情報入力画面が表示されます。

次ページへつづく

3 必要なネットワークセキュリティ情報を入力する

- 情報は、機器本体に貼られているラベルや、機器に付属の取扱説明書などで確認してください。
- 設定項目が表示されていないときは、画面をスクロールします。
- 設定を中断するには**［キャンセル］**をタップします。
- 文字の入力方法については、「文字を入力する」を参照してください。

4 ［接続］をタップする

設定が終了すると、接続した無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイントの SSID の下に「接続済み」と表示されます。

手動で設定する

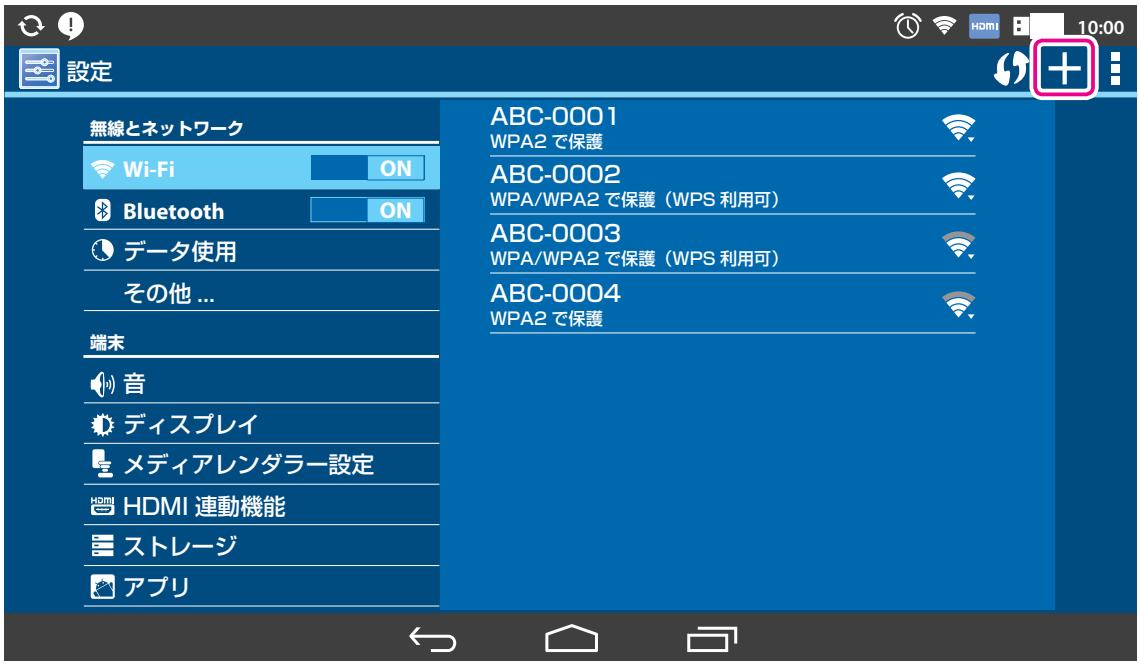
無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイント側のセキュリティ設定によっては、本機で SSID を検出できないことがあります。この場合は、SSID やパスワードなどの情報を手動で設定します。

- 本機の無線 LAN 機能をオンにしてから（→「無線 LAN 機能をオンにする」）、以下の操作をします。

1 無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイントの電源を入れ、無線通信機能をオンにする

- ご利用になる無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイントについては、各機器の取扱説明書を参照してください。

2 設定画面の右上の［+］をタップする



情報入力画面が表示されます。

次ページへつづく

3 無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイントの SSID と必要なネットワークセキュリティ情報を入力する

- 情報は、機器本体に貼られているラベルや、機器に付属の取扱説明書などで確認してください。
- 設定項目が表示されていないときは、画面をスクロールします。
- 文字の入力方法については、「文字を入力する」を参照してください。

4 [保存] をタップする

設定を保存すると、本機が無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイントに接続します。

接続した SSID の下に「接続済み」と表示されます。

Google アカウントを設定する

Google アカウントを持っていないときは、新規にアカウントを登録します。すでに Google アカウントを持っているときは、ユーザー名とパスワードでログインします。

- 本機で Google アカウントを設定するには、無線 LAN によるインターネット接続が必要です。あらかじめ設定しておいてください。（→「無線 LAN の設定をする」）

Google 利用規約について

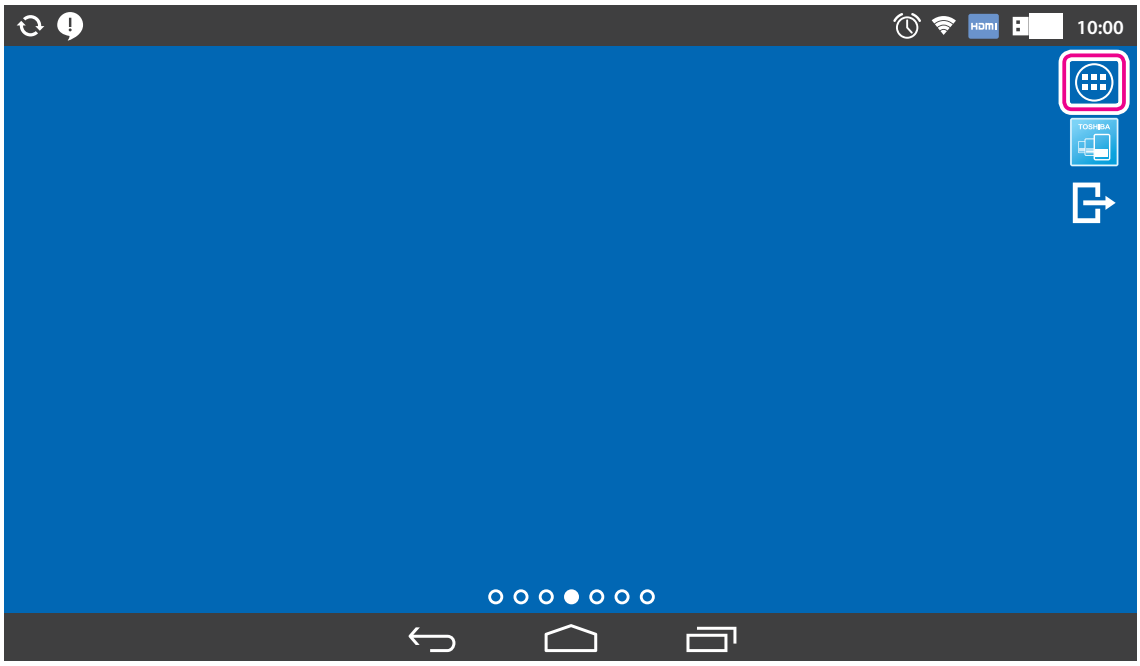
Google アカウントを新規に作成する操作の途中で、Google 利用規約が表示されます。Google 利用規約には、Google が提供する各サービスを利用する際の注意事項が記載されています。利用規約に同意してから、アカウントの設定を進めてください。

- Google 利用規約は、ホーム画面（→「ホーム画面」）から、[ ] → [設定] → [本体情報] → [法的情報] → [Google 利用規約] をタップして表示することもできます。

Google アカウントを追加する

1 ホーム画面で［ ］をタップする

アプリケーション一覧画面が表示されます。



2 ［ 設定］をタップする

設定画面が表示されます。

3 ［アカウントを追加］をタップする

アカウント追加画面が表示されます。

- 画面に［アカウントを追加］が表示されないときは、画面をスクロールして表示させます。

次ページへつづく

4 追加するアカウントの種類を選ぶ

● **すでに Google アカウントを持っているとき**

[既存のアカウント] をタップし、次に表示される画面で、ユーザー名（メールアドレス）とパスワードを入力してログインします。

- 文字の入力方法については、「文字を入力する」を参照してください。

アカウントの追加はこれで終了です。

● **Google アカウントを持っていないとき**

[新しいアカウント] をタップして、手順 **5** に進みます。

5 新しいアカウントを作成する

画面に従って設定します。

- 文字の入力方法については、「文字を入力する」を参照してください。

次ページへつづく

アカウントの設定に必要な項目について

- **ユーザー名（メールアドレス）について**

  他人のユーザー名と重複した場合、警告メッセージが表示されます。別のユーザー名を入力し直してください。

  ユーザー名は「XXXX（ユーザー名）@gmail.com」の形式で保存されます。

- **「質問」と「回答」について**

  パスワードを忘れたときに備えて、「質問」を選び、その質問に対する「回答」を登録してください。

- **「予備のメールアドレス」について**

  持っていないときは、入力を省略できます。

- **Google の利用規約について**

  各規約をタップすると、内容が表示されます。次へ進むと、規約に同意したことになります。

- **画面に表示される歪んだ画像について**

  歪んだ画像を見て、画像から判読できる文字を入力してください。

- **クレジットカードなどの情報について**

  クレジットカードなどの情報は、本設定の完了後でも設定できます。本設定ではスキップしてください。

セキュリティアプリケーションについて

インターネットを利用すると、本機の画面上でさまざまな情報を見ることができます。しかし、インターネットで得られる情報は、良いものばかりとは限りません。また、情報を得るだけでなく、知らない間に自分の情報を引き出されてしまうといった問題が起きることもあります。

このような問題の主な原因になるのが「コンピューターウイルス」です。インターネットを通じて、利用者の情報（氏名、パスワード、ウェブサイトの閲覧履歴など）を引き出す「スパイウェア」や、利用者に悪影響を与える「有害サイト」といった危険もあります。

コンピューターウイルスやスパイウェアを予防し、有害サイトの閲覧に制限をかけるためには、「セキュリティアプリケーション」が有効です。

セキュリティアプリケーションの代表的なものには、McAfee Antivirus & Security（→「マカフィーインストールのおすすめ」）があります。

セキュリティアプリケーションは、Google Play ストア（→「Google Play Store」）のほか、電器店などで購入できます。

安全で快適なインターネットをお楽しみください。

基本操作

ホーム画面……64
ホーム画面について …… 64
ステータスエリア …… 65
デスクトップ …… 66
ナビゲーションエリア …… 68
デスクトップを切り換える …… 69
アプリケーションを使う……70
アプリケーション一覧から選んで起動する …… 71
デスクトップのアイコンから起動する …… 72
最近使ったアプリケーション一覧から起動する …… 73
アプリケーションのメニューを表示する …… 75
前の画面に戻る …… 75
ホーム画面に戻る …… 76
ホーム画面をカスタマイズする……77
アプリケーションのアイコンを配置する …… 77
ウィジェットを配置する …… 78
アプリケーションアイコンやウィジェットの配置を変更する …… 79
アプリケーションアイコンやウィジェットを削除する …… 80
クイック設定パネルを使う……81
クイック設定パネルを表示する …… 81
文字を入力する……82
ソフトウェアキーボードで入力する …… 82
音声で入力する …… 86

次ページへつづく

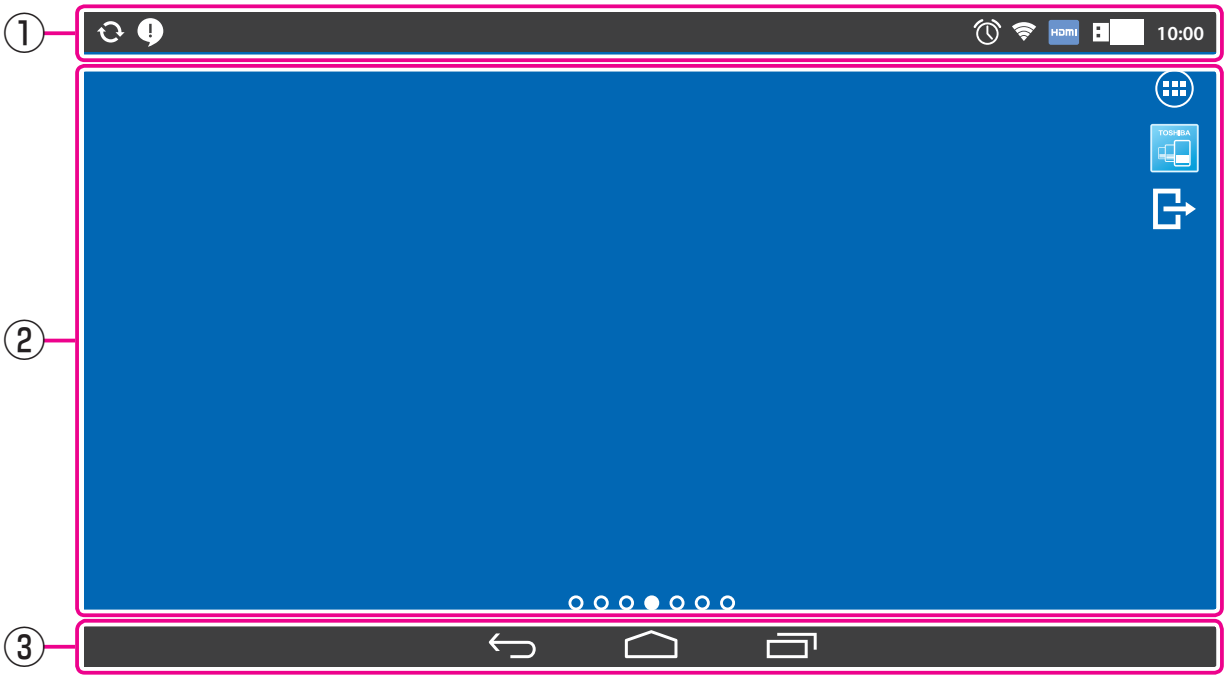
ユーザーを追加する / 切り換える……87
ユーザーを追加する …… 87
ユーザーを切り換える …… 89
ユーザーを削除する …… 90
セキュリティの設定をする……91
画面をロックする …… 91
画面ロックを解除する …… 92

本機の基本的な操作について説明しています。

ホーム画面

ホーム画面について

画面の[⌂]をタップして表示される画面を「ホーム画面」と呼びます。
（リモコンの「⌂（ホーム）」ボタンを押しても表示されます。）
ホーム画面は、以下のように分かれています。



① **ステータスエリア**（→「ステータスエリア」）
本機のさまざまなステータスが表示されます。

② **デスクトップ**（→「デスクトップ」）
よく使うアプリケーションのアイコン（ショートカット）やウィジェットを配置することができます。

③ **ナビゲーションエリア**（→「ナビゲーションエリア」）
基本的な操作に使うアイコンが表示されます。

ステータスエリア

ステータスエリアには、以下の情報が表示されます。

① ステータスエリア左

システムからの通知やアプリケーションのアップデート通知、メールの着信通知などがあるとき、アイコンが表示されます。

- このエリアから下に向かってフリックすると、各通知のメッセージが詳しく表示されます。メッセージをタップすると、関連するアプリケーションや設定画面が表示されます。

② ステータスエリア右

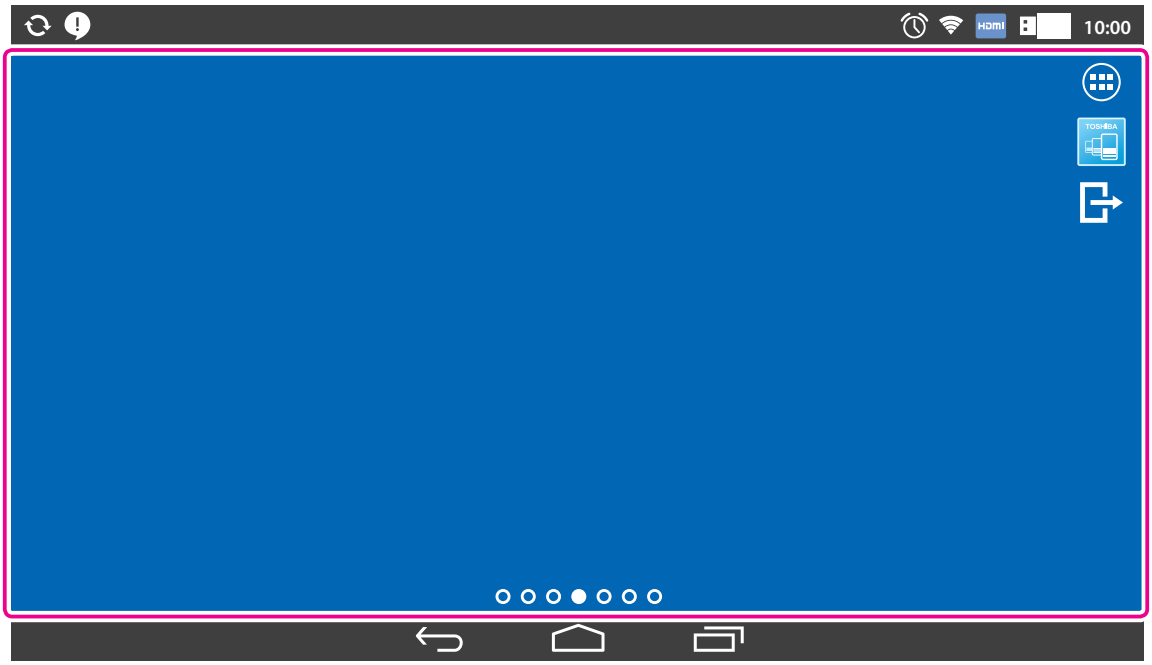
以下の内容が表示されます。

	タイマー機能（→「タイマー」）が設定されているときに表示されます。
	無線 LAN 機能がオンで、無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイン トに接続している状態を示します。 • 無線 LAN 機能がオンでも、無線 LAN ルーター / 無線 LAN アクセスポイントに接続していないときは、無線 LAN アイコンの枠だけが表示されます。 • 無線 LAN 機能がオフのときは、無線 LAN アイコンは表示されません。
	HDMI 機器が接続されているときに表示されます。
	USB 機器が接続されているときに表示されます。
10:00	現在の時刻が表示されます。

- このエリアから下に向かってフリックすると、クイック設定パネルが表示されます。（→「クイック設定パネルを使う」）

デスクトップ

デスクトップには、よく使うアプリケーションのアイコン（ショートカット）やウィジェットを配置することができます。（→「ホーム画面をカスタマイズする」）



本機には、7つのデスクトップがあります。現在表示しているデスクトップは、画面下部のインジケーターに「●」で示されています。

- デスクトップの切り換えについては、「デスクトップを切り換える」を参照してください。

次ページへつづく

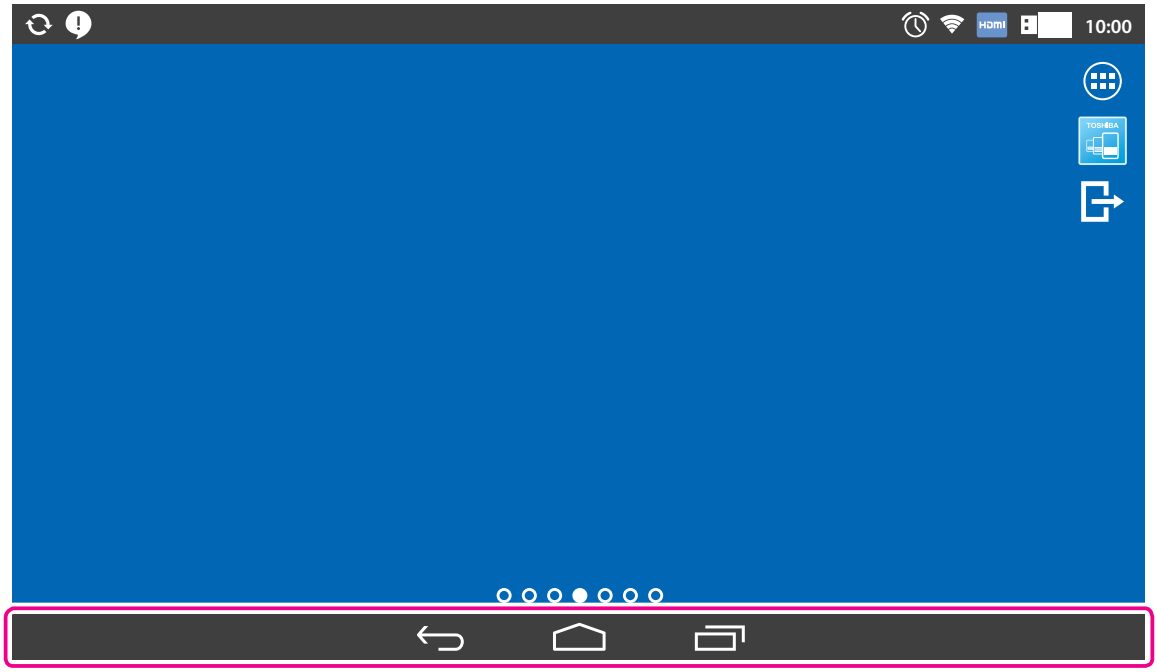
● 固定エリア

よく使う下記の機能のショートカットアイコンを表示しています。デスクトップを切り換えても、このエリアの表示は固定されています。

	インストールされているアプリケーション一覧（→「アプリケーションのメニューを表示する」）を表示します。
	インフォメーションボード（→「インフォメーションボード」）を起動します。
	画面ロック（→「画面をロックする」）を行います。

ナビゲーションエリア

ナビゲーションエリアには、基本的な操作に必要なアイコンが表示されます。アイコンの内容は、起動しているアプリケーションの種類や状態によって異なります。ここでは、主なアイコンについて説明します。



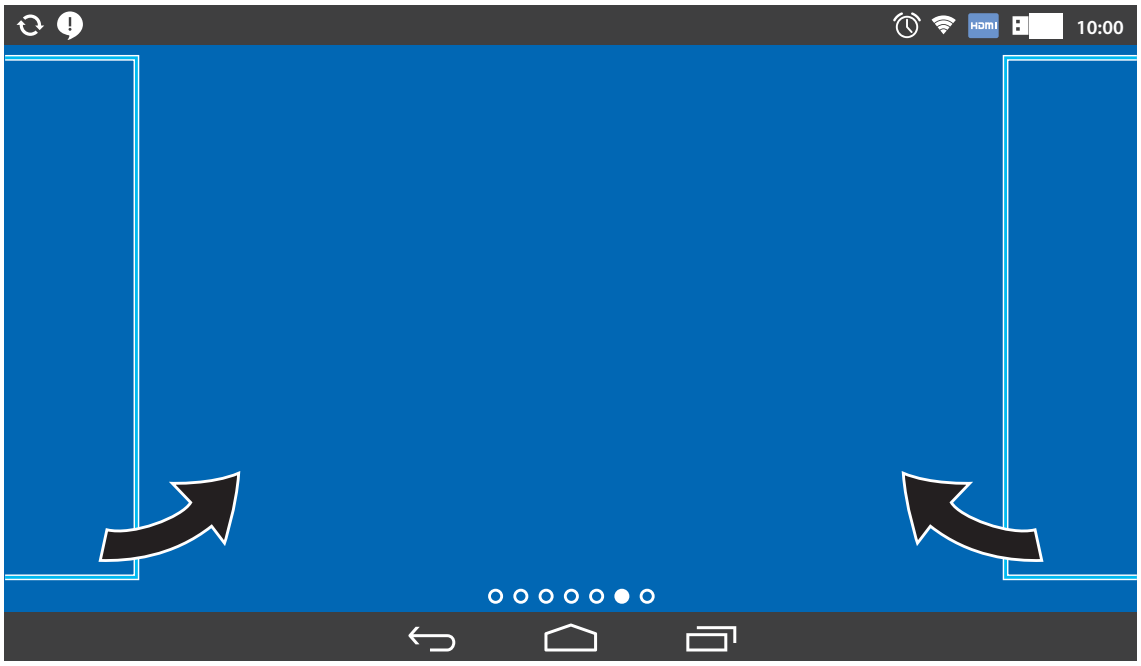
	1 つ前の画面に戻ります。
	ホーム画面に戻ります。
	最近起動したアプリケーション一覧が表示されます。表示されたアプリケーションをタップすると、起動します。
	メニューやキーボードなどの表示中にこのアイコンが表示されます。タップすると、メニューやキーボードなどが非表示になります。
	一部のアプリケーションの起動中にこのアイコンが表示されます。タップすると、そのアプリケーションのメニューが表示されます。 • 使用中のアプリケーションによっては表示位置が異なる場合があります。

デスクトップを切り換える

本機には、7つのデスクトップがあります。それぞれのデスクトップにフォルダーやアイコンを配置し、切り換えてお使いいただくことができます。

1 デスクトップの左右の端から中央に向かってフリックする

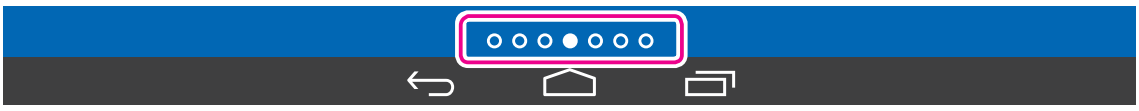
隣のデスクトップに切り換わります。



・［⌂］をタップすると、最初に表示されるデスクトップに切り換わります。

お知らせ

現在表示しているデスクトップの位置は画面の下部のインジケーターに「●」で示されています。インジケーターの中央が起動後に最初に表示されるデスクトップです。



アプリケーションを使う

以下の方法でアプリケーションを起動します。

- **アプリケーション一覧から選ぶ**（→「アプリケーション一覧から選んで起動する」）
- **デスクトップにあるショートカットアイコンから選ぶ**（→「デスクトップのアイコンから起動する」）
  - デスクトップにショートカットアイコンを配置する方法については、「ホーム画面をカスタマイズする」を参照してください。
- **最近使ったアプリケーションから選ぶ**（→「最近使ったアプリケーション一覧から起動する」）

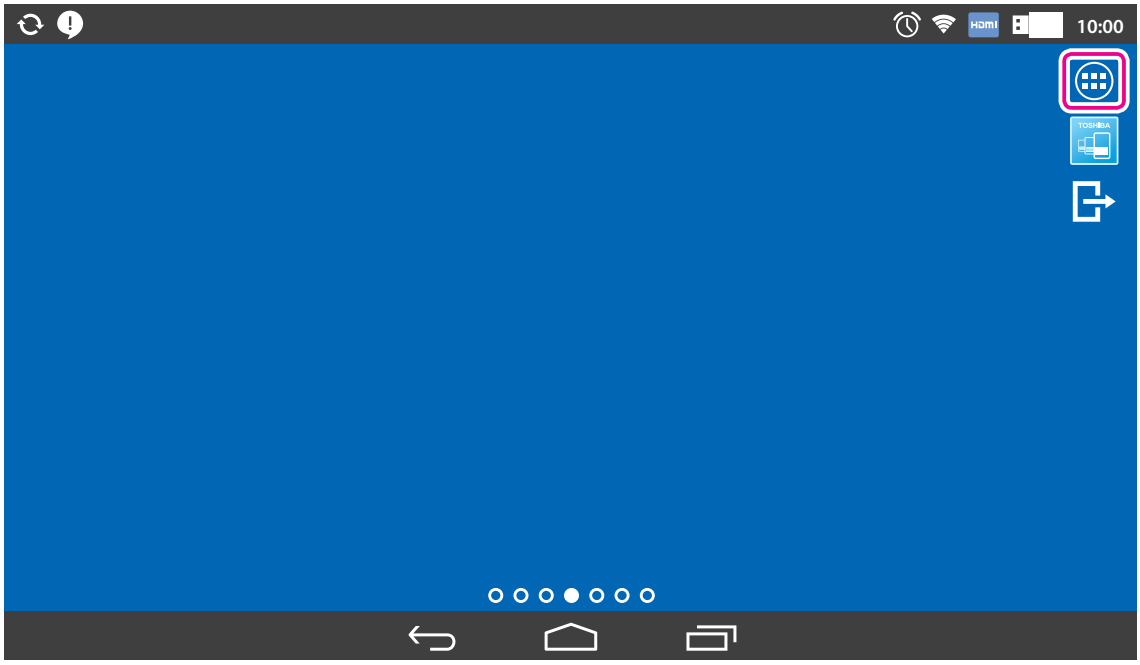
お知らせ

- アプリケーションや各種設定の画面では、画面右隅にスクロールバーが表示されることがありますが、このバーをドラッグして画面を縦方向にスクロールすることはできません。
- アプリケーションから別のアプリケーションを呼び出すときに、使用可能なアプリケーションが複数あるときは、どのアプリケーションを使うかのメッセージウィンドウが表示されます。使うアプリケーションをタップし、常にそのアプリケーションを使うときは**［常時］**を、次に使うときに再度アプリケーションを選択するときは**［1 回のみ］**をタップしてください。
- **［ダブルウィンドウ優先設定］**（→「ディスプレイ」）の設定に「✓」がついている場合は、アプリケーションから別のアプリケーションを呼び出すときに、ダブルウィンドウで表示します（ダブルウィンドウに対応しているアプリケーションの場合）。

次ページへつづく

アプリケーション一覧から選んで起動する

1 ホーム画面で［ ］をタップする



アプリケーション一覧が表示されます。

2 アプリケーションを探す

インストールされたアプリケーションの数によっては、アプリケーション一覧は複数ページになります。

アプリケーション一覧が複数ページあるときは、画面の左右の端から中央に向かってフリックすると、一覧が切り換わります。

- アプリケーション一覧の下部には、現在表示しているページをあらわすバーが表示されます。

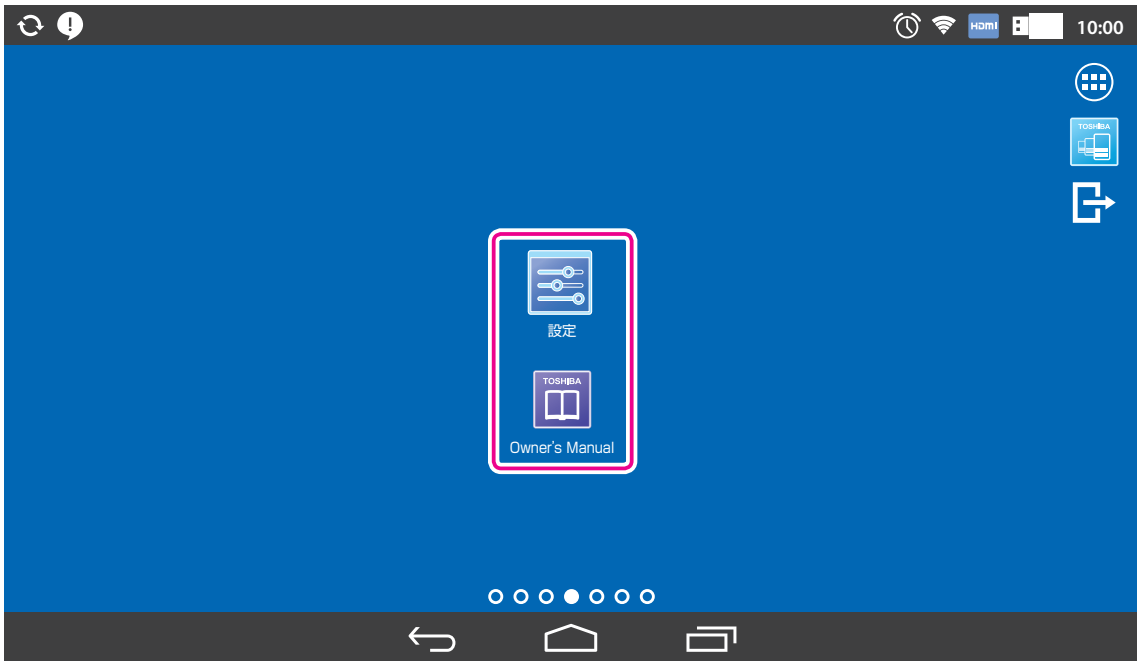
3 起動したいアプリケーションのアイコンをタップする

アプリケーションが起動します。

デスクトップのアイコンから起動する

- デスクトップにアイコンを配置する方法については、「ホーム画面をカスタマイズする」を参照してください。

1 デスクトップにある起動したいアプリケーションのアイコンをタップする



アプリケーションが起動します。

最近使ったアプリケーション一覧から起動する

1 [▭] をタップする

最近使ったアプリケーションの一覧が表示されます。

2 起動したいアプリケーションを選んでタップする

アプリケーションが起動します。

- 最近使ったアプリケーションが画面に収まらないときは、画面をスクロールして表示させます。
  - 本機を横向きに設置しているときは左右方向にスクロールします。
  - 本機を縦向きに設置しているときは上下方向にスクロールします。

次ページへつづく

最近使ったアプリケーション一覧からアプリケーションを削除するには

1 [▭] をタップする

最近使ったアプリケーションの一覧が表示されます。

2 削除したいアプリケーションのサムネイルをフリックしてアプリケーション一覧から削除する

- 本機を横向きに設置しているときは、アプリケーションを上または下方向にフリックします。
- 本機を縦向きに設置しているときは、アプリケーションを右または左方向にフリックします。

アプリケーションのメニューを表示する

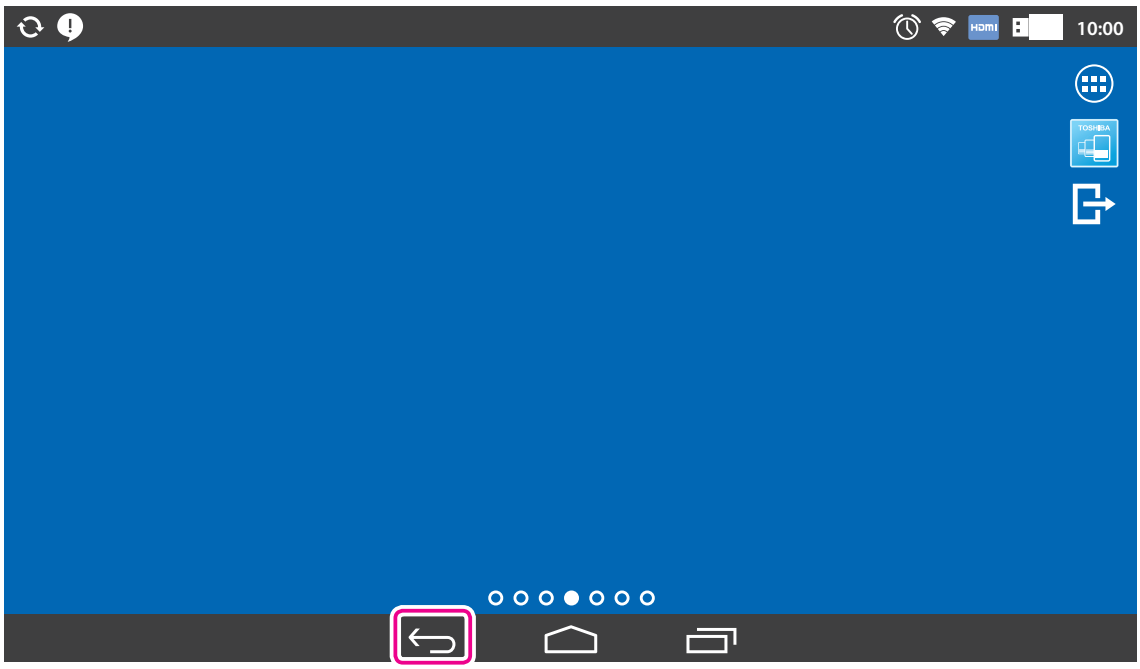
多くのアプリケーションには、メニューが用意されています。そのメニューからさまざまな操作をすることができます。

1 [⋮] をタップする

・[⋮] が表示される位置は、アプリケーションによって異なります。

前の画面に戻る

1 [↩] をタップする

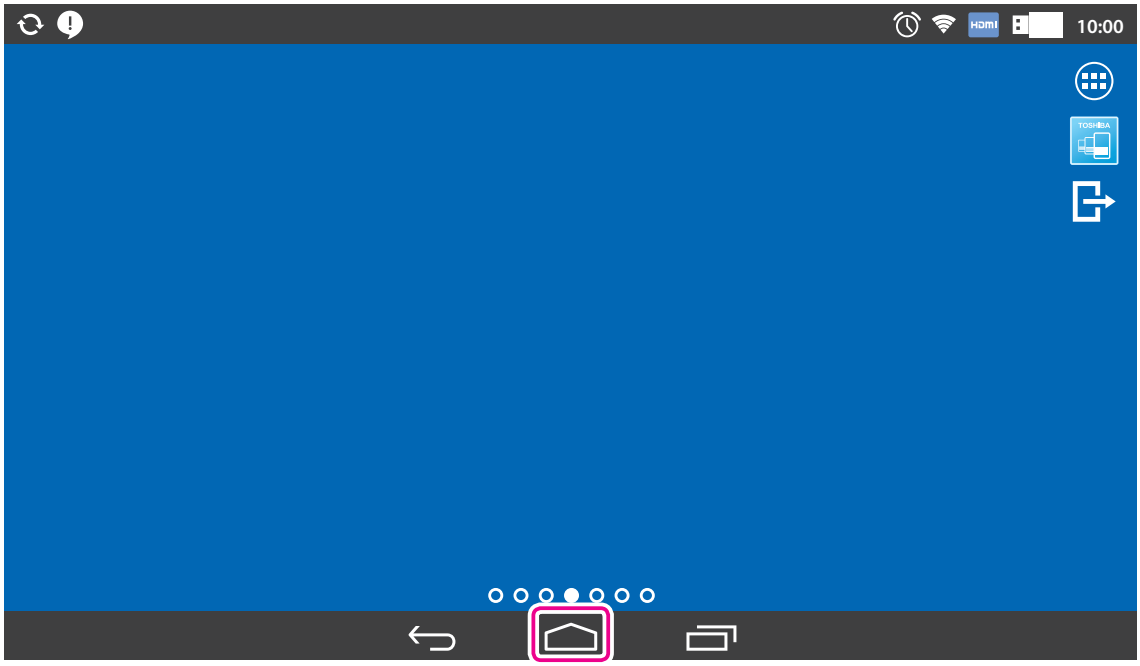


1 つ前の画面に戻ります。

・[↩] をタップするたびに、その前の画面に戻ります。

ホーム画面に戻る

1 [⌂] をタップする



ホーム画面に戻り、直前に表示していたデスクトップが表示されます。

- もう一度 [⌂] をタップすると、起動直後に表示されるデスクトップが表示されます。

ホーム画面をカスタマイズする

ホーム画面のデスクトップに、よく使うアプリケーションのアイコン（ショートカット）やウィジェットを配置することができます。

アプリケーションのアイコンを配置する

よく使うアプリケーションのアイコン（ショートカット）をホーム画面のデスクトップに配置します。

1 ホーム画面で［ ］をタップする

アプリケーション一覧が表示されます。

2 デスクトップに配置したいアプリケーションを選ぶ

- アプリケーション一覧が複数ページあるときは、左右にフリックして、配置したいアプリケーションがあるページに切り換えてください。

3 アプリケーションのアイコンをロングタップし、デスクトップの配置したい場所までドラッグする

ドラッグした場所にアイコンが配置されます。

- デスクトップの右端または左端にアイコンをドラッグすると、隣のデスクトップに配置できるようになり、アイコンを配置するデスクトップを選ぶことができます。

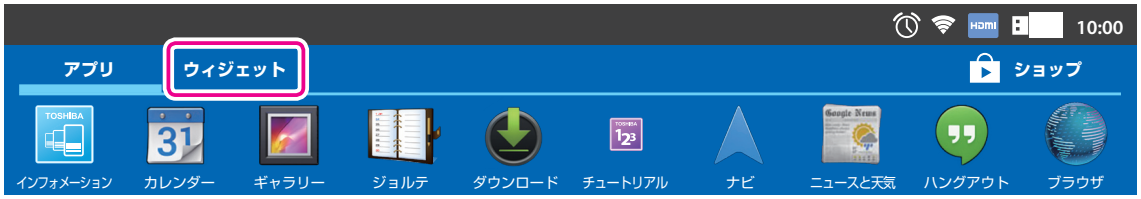
ウィジェットを配置する

「ウィジェット」とは、デスクトップの好きな場所に表示できる小さなアプリケーションソフトのことをいいます。
デスクトップに配置されたウィジェットは、常時更新されるため、アプリケーションを起動することなく、情報を確認できます。

1 ホーム画面で［ ］をタップする

アプリケーション一覧が表示されます。

2 アプリケーション一覧上部のタブで［ウィジェット］をタップする



ウィジェット一覧が表示されます。

- ウィジェット一覧が複数ページあるときは、左右にフリックして、配置したいウィジェットがあるページに切り換えます。
- ウィジェット一覧上部のタブで［アプリ］を選ぶと、アプリケーション一覧に戻ります。

3 ウィジェットをロングタップし、デスクトップの配置したい場所までドラッグする

デスクトップにウィジェットが配置されます。

- デスクトップの右端または左端にウィジェットをドラッグすると、隣のデスクトップに配置できるようになり、ウィジェットを配置するデスクトップを選ぶことができます。

アプリケーションアイコンやウィジェットの配置を変更する

1 デスクトップのアプリケーションアイコンやウィジェットをロングタップする

アイコンやウィジェットが選択され、配置を変更できるようになります。

2 配置したい場所までドラッグする

アイコンやウィジェットがドラッグした場所に移動します。

- デスクトップの右端または左端にアイコンやウィジェットをドラッグすると、隣のデスクトップに配置できるようになり、アイコンやウィジェットを配置するデスクトップを選ぶことができます。

アプリケーションアイコンやウィジェットを削除する

1 デスクトップのアプリケーションアイコンやウィジェットをロングタップする

アイコンやウィジェットが選択されます。

2 デスクトップ左上の［×］までドラッグする

選んだアイコンやウィジェットが削除されます。

クイック設定パネルを使う

クイック設定パネルから、登録されている設定などを、使いたいときにすぐに表示することができます。

クイック設定パネルを表示する

1 画面の右上から下に向かってフリックする

クイック設定画面が表示されます。

2 表示したい設定を選んでアイコンをタップする

	ユーザー切り換え画面（→「ユーザーを切り換える」）を表示します。
	画面の明るさの調整ウィンドウ（→「画面の明るさを調整する」）を表示します。
	設定画面（→「設定画面について」）を表示します。
	Wi-Fi 接続の設定画面（→「無線 LAN の設定をする」）を表示します。

文字を入力する

検索や情報の入力などで、文字の入力が必要なときは、入力画面が表示されます。ソフトウェアキーボードまたは音声入力で文字を入力します。

ソフトウェアキーボードで入力する

ここでは、日本語のキーボードを例に説明しています。

- 文字の入力の設定については「言語と入力」を参照してください。

文字の入力について

文字を入力したい場所をタップすると、入力欄でカーソルが点滅し、ソフトウェアキーボードが表示されます。キーボードから入力する文字を選んでタップすると、カーソルの位置に文字が入力されます。

次ページへつづく

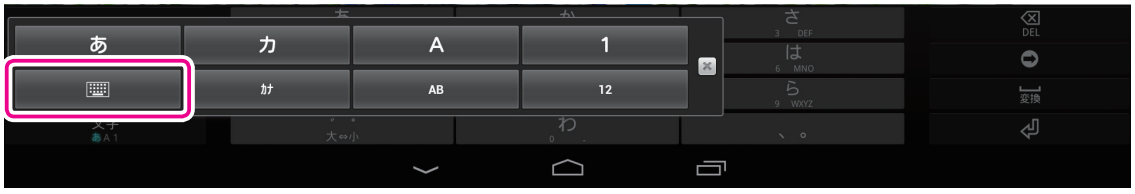
キーボードを切り換える

1 [文字] をロングタップする

キーボード・入力モード変更ウィンドウが表示されます。

2 [⌨] または [📱] をタップしてキーボードを切り換える

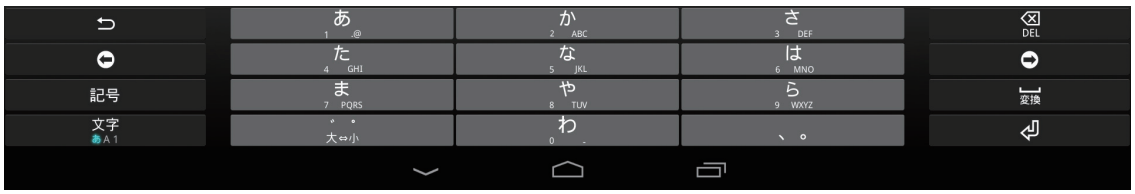
通常の配列のキーボード（[⌨]）と携帯電話モードのキーボード（[📱]）が切り換わります。



- キーボード･入力モード変更ウィンドウを閉じるには［×］をタップします。

通常の配列のキーボード

携帯電話モードのキーボード



次ページへつづく

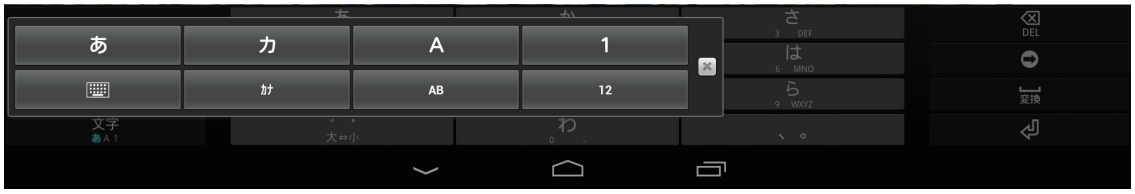
入力モードを切り換える

1 [文字] をロングタップする

- 現在選ばれている入力モード(「あ」：日本語入力モード/「A」：アルファベット入力モード/「1」：数字入力モード）が緑で表示されます。

キーボードと入力モード変更ウィンドウが表示されます。

2 入力モードを選んでタップする



[あ]：全角ひらがな入力モード

[カ]：全角カタカナ入力モード

[A]：全角アルファベット入力モード

[1]：全角数字入力モード

[ｶﾅ]：半角カタカナ入力モード

[AB]：半角アルファベット入力モード

[12]：半角数字入力モード

- キーボード･入力モード変更ウィンドウを閉じるには **[×]** をタップします。

お知らせ

[文字] をタップして日本語・アルファベット・数字の入力モードを切り換えることもできます。

次ページへつづく

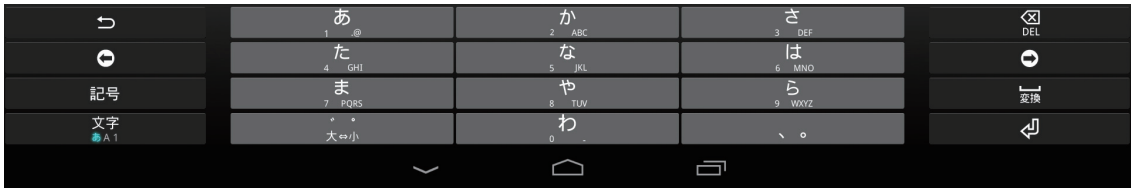
文字を入力する

通常の配列のキーボード

キーボードの文字をタップして入力します。

携帯電話モードのキーボード

入力したい文字が出るまで文字キーを数回タップします。



文字入力ボタン以外のボタンの機能は次の通りです。

- 入力している状況によって表示されるボタンは異なります。

/A ⇔ a	アルファベットの大文字と小文字を切り換えます。
	一つ前の入力状態に戻します。
/	文字の入力位置を移動します。
記号	記号や顔文字の一覧を表示します。 • キーボード表示に戻るには［**戻る**］をタップします。
文字	キーボードの切り換えや入力モードの変更を行います。
DEL	1 文字削除します。
	入力を決定します。
変換	スペースを挿入したり、文字を変換したりします。

次ページへつづく

お知らせ

本機は入力する文字列を予測して候補を表示できる、予測変換機能を搭載しています。
入力をはじめると、変換候補の単語が表示されます。単語をタップすると、その単語が入力されます。

音声で入力する

本機に向かって入力したい内容を話すことで、文字を入力することができます。

お知らせ

- **[設定]** →**[言語と入力]** →**[キーボードと入力方法]** →**[Google 音声入力]** のチェックボックスをタップして「✓」をつけてください。（→「言語と入力」）
- キーボードと入力方法の設定（→「言語と入力」）やアプリケーションによっては、音声入力ボタン（**[ ]**）が表示されない場合もあります。
- 音声入力が正しく認識されない場合は、本機のマイクに近づいてから再度内容を話すか、またはアプリケーションを再起動してください。

1 [ ] をタップする

2 画面に向かって入力したい内容を話す

ユーザーを追加する / 切り換える

本機を複数のユーザーで共用するには、ユーザーアカウントを追加します。ユーザーごとに、Google アカウントの取得、ホーム画面のカスタマイズ、設定内容の保存などができます。
登録したユーザーを削除することもできます。

お知らせ

- ご購入後、または初期化後はじめてセットアップを行なったユーザー（「所有者」といいます）のみ、ユーザーの追加・削除ができます。
- その他のユーザーは、自分自身のユーザー登録を削除することができます。

ユーザーを追加する

1 ホーム画面で［ ］→［ 設定］をタップする

設定画面が表示されます。

2 ［ユーザー］をタップする

［ユーザー］が表示されていないときは、画面をスクロールして表示させます。

3 ［ユーザーを追加］をタップする

「新しいユーザーを追加する」というメッセージウィンドウが表示されます。

次ページへつづく

4 **[OK] をタップする**

「ユーザーを今すぐセットアップ」というメッセージウィンドウが表示されます。

5 **[今すぐセットアップ] をタップする**

新しく追加したユーザーに対して、セットアップが必要です。セットアップは後から行うこともできます。

6 **新しく追加したユーザーのアイコンをタップする**

選んだユーザーアイコンが大きく表示されます。

7 **画面ロックを解除する**

・[ ] をタップしたまま [ ] へスライドします。

8 **画面に従って操作する**

画面に従って、追加したユーザーのセットアップを行います。

ユーザーを切り換える

1 ホーム画面で［ ］をタップする

ユーザー切り換え画面が表示されます。

2 切り換えるユーザーを選んでタップする

選んだユーザーアイコンが大きく表示されます。

3 画面ロックを解除する

- 画面ロックの解除の方法は画面ロックの設定によって異なります。（→「画面ロックを解除する」）
- **［画面ロック］**の設定が**［なし］**のときに、ユーザーを追加すると、画面ロック方法は自動的に**［スライド］**に設定されます。

ユーザーを削除する

1 ホーム画面で［ ］→［ 設定］をタップする

設定画面が表示されます。

2 ［ユーザー］をタップする

［ユーザー］が表示されていないときは、画面をスクロールして表示させます。

3 削除するユーザーを選んでタップする

・「所有者」（最初に登録したユーザー）を削除することはできません。

4 ユーザーを削除する

● **「所有者」（最初に登録したユーザー）でログイン中に他のユーザーを削除する場合：**

削除するユーザーの横に表示されている［ ］をタップします。「ユーザーを削除しますか？」というメッセージウィンドウで［削除］をタップして選んだユーザーを削除します。

● **「所有者」以外のユーザーでログイン中にそのユーザー（自分）を削除する場合：**

［ ］をタップして、［この端末から XXXXXX（ユーザー名）を削除］をタップします。「自分を削除しますか？」というメッセージウィンドウで［削除］をタップして選んだユーザーを削除します。

・ ユーザー切り換え画面が表示されます。

セキュリティの設定をする

電源を入れたときに、パスワードやパターンの入力が必要になる**［画面ロック］**を設定し、セキュリティを強化することができます。

画面をロックする

1 ホーム画面で［ ］→［ 設定］をタップする

設定画面が表示されます。

2 ［セキュリティ］→［画面のロック］をタップする

［セキュリティ］が表示されていないときは、画面をスクロールして表示させます。

3 設定したい画面ロック方法を選んでタップする

画面の指示に従って、ロック内容の設定をします。

- **［なし］**：画面のロックをしません。
- **［スライド］**：［ ］をスライドして、画面のロックを解除します。
- **［パターン］**：設定したパターン通りに画面をなぞって、画面のロックを解除します。
- **［PIN］**：設定した暗証番号（4 桁以上）を入力して、画面のロックを解除します。
- **［パスワード］**：設定した英数字のパスワード（4 文字以上）を入力して、画面のロックを解除します。

お知らせ

［画面ロック］を**［なし］**に設定しているときでも、ユーザーを追加すると、自動的に**［スライド］**に設定されます。

画面ロックを解除する

［画面ロック］を**［なし］**以外の設定にしているときは、本機を起動後、画面ロック解除画面が表示されます。設定した画面ロックの解除方法でロックを解除して、ホーム画面を表示してください。

［画面ロック］の設定が［スライド］のとき

［ ］をロングタップし、［ ］が表示されたら指をスライドさせ、［ ］の上で指を離します。

［画面ロック］の設定が［パターン］のとき

設定したパターン通りに画面をなぞります。

［画面ロック］の設定が［PIN］のとき

数字キーで設定した数字を入力し、［ ］をタップします。

- 文字の入力方法については、「文字を入力する」を参照してください。

［画面ロック］の設定が［パスワード］のとき

入力エリアをタップし、設定したパスワードを入力して、［ ］をタップします。

- 文字の入力方法については、「文字を入力する」を参照してください。

便利な機能

ダブルウィンドウ……95
ダブルウィンドウについて …… 95
ダブルウィンドウに切り換える …… 97
アプリケーションからダブルウィンドウに移行する …… 98
操作するウィンドウを切り換える …… 99
ウィンドウ内のアプリケーションを切り換える …… 99
ウィンドウの大きさを変える …… 100
ウィンドウメニューを使う …… 100
ダブルウィンドウを終了する …… 102
ナビゲーションバーから操作する …… 103
ワイヤレスディスプレイ…… 104
ワイヤレスディスプレイについて …… 104
本機と機器を接続する …… 106
終了する …… 107
ホームネットワークプレーヤー…… 108
ホームネットワークに接続する …… 108
ホームネットワークプレーヤーを起動する …… 109
写真を再生する－マルチビュー …… 111
写真を再生する－シングルビュー …… 113
音楽を再生する－リストビュー …… 115
音楽を再生する－フルスクリーンモード …… 117
音楽を再生する－バックグラウンドモード …… 119
動画を再生する－リストビュー …… 121
動画を再生する－フルスクリーンモード …… 123
ライブ配信コンテンツを視聴する－リストビュー …… 125
ライブ配信コンテンツを視聴する－フルスクリーンモード …… 127

次ページへつづく

インフォメーションボード…… 129
インフォメーションボードでできること …… 129
メッセージボード…… 130
メッセージボードでできること …… 130
本機以外の Android™ 搭載端末での利用 …… 131
タイマー…… 132
タイマーを設定する …… 132
タイマーが動作したとき …… 133
ボードコントローラー…… 134
ボードコントローラーでできること …… 134
PC モニターモード…… 136
Windows® 8 のパソコンと接続する …… 136
PC モニターモードに切り換える …… 137
PC モニターモードのときの操作 …… 138
Android モード（通常モード）に切り換える …… 139

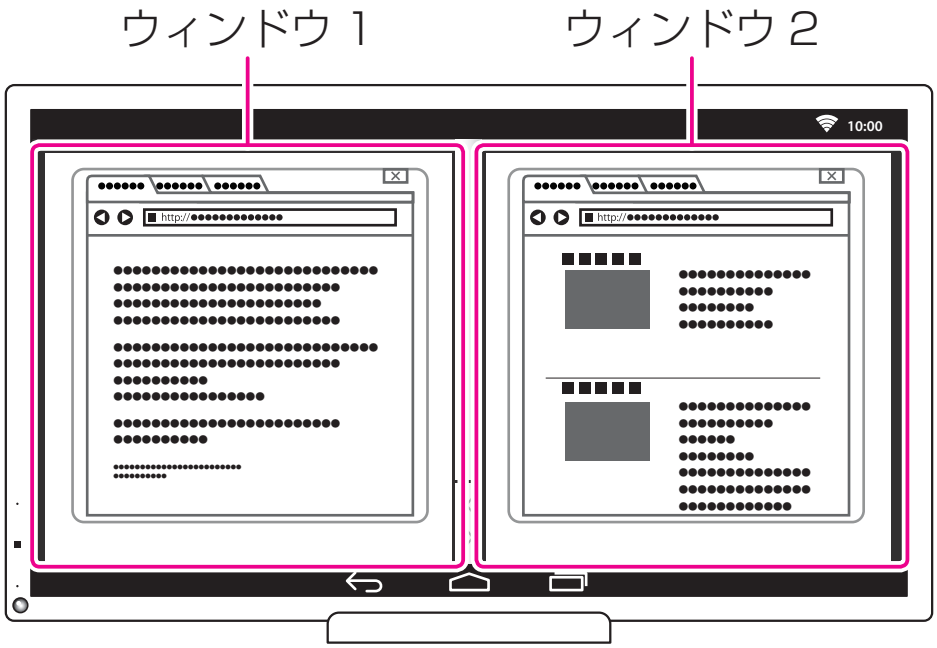
本機を便利に使うアプリケーションや設定について説明しています。

ダブルウィンドウ

ダブルウィンドウについて

本機はデスクトップを分割して２つのウィンドウを表示し、同時に２つのアプリケーションを操作することができる「ダブルウィンドウ」を備えています。

- ここでは、本機を横向きに設置して使用するときの左側のウィンドウを「ウィンドウ 1」、右側を「ウィンドウ 2」と呼びます。本機を縦向きに設置して使用するときは、上側を「ウィンドウ 1」、下側を「ウィンドウ 2」と呼びます。



お知らせ

ダブルウィンドウを使うには、[ ] → [設定] → [ディスプレイ] で [ダブルウィンドウ] を [ON] にしてください。(→「ディスプレイ」)

次ページへつづく

ダブルウィンドウの自動解除について

ダブルウィンドウに対応していないアプリケーションが呼び出されたときは、通常のシングルウィンドウに切り換わります。

ダブルウィンドウに切り換える

1 [▭] を２秒以上ロングタップする

ダブルウィンドウランチャーが表示され、デスクトップがダブルウィンドウに切り換わります。

ウィンドウ１には使用中のアプリケーションが表示され、ウィンドウ２には、直前に使用していたアプリケーションが表示されます。

アプリケーション使用履歴がないときは、[⋮⋮⋮]（→「アプリケーション一覧から選んで起動する」）の上位にあるアプリケーションが起動します。

お知らせ

ランチャーにはダブルウィンドウ対応のアプリケーションのみ表示されます。

アプリケーションからダブルウィンドウに移行する

ダブルウィンドウ対応のアプリケーションを使用しているとき、現在のアプリケーションからダブルウィンドウ対応のアプリケーションを起動すると、自動的にダブルウィンドウ表示になります。

お知らせ

ダブルウィンドウは、**[ダブルウィンドウ優先設定]**（→「ディスプレイ」）のチェックボックスに「✓」がついているときに機能します。

次ページへつづく

操作するウィンドウを切り換える

1 操作したいウィンドウ内をタップする

現在操作している画面は、ウィンドウ境界線上の［〈］または［〉］が青く表示されます。

ウィンドウ内のアプリケーションを切り換える

ダブルウィンドウランチャーを使って、ウィンドウ内のアプリケーションを切り換えることができます。

1 ［▭］を２秒以上ロングタップする

ダブルウィンドウランチャーが表示されます。

2 起動したいアプリケーションのアイコンを任意のウィンドウにドラッグする

ドラッグしたウィンドウで、指定したアプリケーションが起動します。

ウィンドウの大きさを変える

境界線の位置を移してウィンドウの大きさを変えることができます。

1 **ウィンドウ 1 とウィンドウ 2 の境界線をドラッグする**
境界線が移動します。

ウィンドウメニューを使う

操作しているウィンドウ（→「操作するウィンドウを切り換える」）の消音などの操作ができます。

操作ウィンドウメニューを表示する

境界線上をタップして、ウィンドウメニューを表示します。

- 操作しているウィンドウ側の境界線付近にウィンドウメニューが表示されます。
- メニューを操作しないまま数秒間経過すると、メニューは消えます。

	ウィンドウ内の音を消音します。（→「消音する」）
	ウィンドウ内の消音を解除します。（→「消音する」）
×	ウィンドウを閉じます。（→「ダブルウィンドウを終了する」）

次ページへつづく

ウィンドウを入れ替える

境界線上に表示されている［〈］または［〉］をタップして、ウィンドウ 1 とウィンドウ 2 の内容を入れ替えることができます。

消音する

ダブルウィンドウでは、それぞれのウィンドウの音声が同時に再生されます。ウィンドウごとに消音や消音解除をすることができます。

ウィンドウメニューの［🔊］をタップして、消音します。

- 消音のときは、［🔇］をタップすると、消音が解除されます。

ダブルウィンドウを終了する

ダブルウィンドウを終了して、通常のシングルウィンドウに切り換えます。

1 境界線上をタップする

操作しているウィンドウ側の境界線付近にウィンドウメニュー（→「ウィンドウメニューを使う」）が表示されます。

2 [×] をタップする

タップした側のウィンドウが閉じられます。閉じなかったウィンドウのアプリケーションが起動した状態で、通常のシングルウィンドウに切り換わります。

お知らせ

ナビゲーションバーからもダブルウィンドウを終了することができます。（→「ナビゲーションバーから操作する」）

ナビゲーションバーから操作する

ダブルウィンドウ中は、ナビゲーションバーのボタンで次の操作をすることができます。

	操作しているウィンドウを一つ前の状態に戻します。 起動直後など、アプリケーションの動作履歴がないときにタップすると、アプリケーションが終了し、ウィンドウが閉じられます。閉じなかったウィンドウのアプリケーションが起動した状態で、通常のシングルウィンドウに切り換わります。
	タップすると、通常のシングルウィンドウに切り換わり、ホーム画面が表示されます。
	タップすると、通常のシングルウィンドウに切り換わり、履歴画面が表示されます。 2 秒以上ロングタップすると、ダブルウィンドウランチャーが表示されます。(→「ダブルウィンドウに切り換える」)

ワイヤレスディスプレイ

ワイヤレスディスプレイについて

スマートフォンやタブレットなどの機器の画面を本機の画面に表示することができます。

ワイヤレスディスプレイ対応機器

本機は Miracast™1.0 に対応しています。接続している機器が Miracast に対応していることが必要です。

ご注意

- ワイヤレスディスプレイを使うときは、設定で［Wi-Fi］を［ON］にしてください。（→「無線 LAN 機能をオンにする」）
- Miracast に対応しているすべての機器との接続動作を保証するものではありません。

次ページへつづく

他の機器との無線接続中にできる操作

- **接続機器の操作**

  通常と同じように操作できます。

- **本機の操作**

  メニューを使った操作ができます。Information、デバイス一覧、接続履歴の削除、Group Owner Information が表示されます。デバイス一覧は接続待ち受け状態のとき、Group Owner Information は本機との接続が確立されているときに表示されます。

お知らせ

- ワイヤレスディスプレイを使用中は、本機は無線 LAN でインターネットに接続することができません。本機による E-mail 送受信やアプリケーションのアップデートなどは一時的に使用できなくなります。
- 本機がワイヤレスディスプレイ機能で接続できる機器は、同時に 1 台までです。
- 無線の暗号化は WPA2 方式に対応しています。

本機と機器を接続する

1 ホーム画面で［ ］→［ ワイヤレスディスプレイ］をタップする

ワイヤレスディスプレイの起動確認メッセージが表示されます。

2 ［OK］をタップする

ワイヤレスディスプレイアプリケーションが起動して、スマートフォン / タブレットなどからの接続待ち受けの状態になります。

機器から本機に接続するときに必要な接続情報が表示されます。

- **［キャンセル］**をタップすると、アプリケーション一覧に戻ります。
- 機器からの接続リクエストがないまま一定時間が経過すると、接続待ち受け状態がいったん解除されて、再度待ち受け状態にするかどうか問い合わせるメッセージが表示されます。ここで［**キャンセル**］をタップすると、アプリケーション一覧に戻ります。

3 接続する機器から本機に接続リクエストする

接続機器の Miracast 機能をオンにして、本機に表示されているデバイス名と同じものを選んでください。詳しくは接続機器の取扱説明書を参照してください。

接続に成功すると、接続した機器の画面がそのまま本機の画面に表示されます。

- 機器からの接続に失敗すると、接続待ち受け状態がいったん解除されて、再度待ち受け状態にするかどうか問い合わせるメッセージが表示されます。ここで**［キャンセル］**をタップすると、アプリケーション一覧に戻ります。

終了する

1 [⌂] をタップする

ワイヤレスディスプレイを終了し、ホーム画面を表示します。

お知らせ

接続機器によっては、ワイヤレスディスプレイの接続を開始するとき、本機を選択をする前に PIN 入力を必要とすることがあります。その場合は、接続する前に本機のホーム画面からワイヤレスディスプレイを起動しておく必要があります。

ホームネットワークプレーヤー

DLNA 対応のパソコンまたはハードディスクに保存された「動画」「写真」「音楽」などのコンテンツや、ライブ配信されている動画を、ネットワーク経由で再生することができます。

ご注意

すべての DLNA 対応機器との接続動作を保証するものではありません。

ホームネットワークに接続する

ホームネットワークプレイヤーをお使いになる前にホームネットワークに接続します。

- ホームネットワークへの接続は、一度設定すれば、次回からは必要ありません。

1 本機を「無線 LAN 設定」でホームネットワークに接続する

（→「無線 LAN の設定をする」）

2 本機で再生したい機器を同じネットワークに接続する

接続の方法は、各機器の取扱説明書を参照してください。

ホームネットワークプレーヤーを起動する

1 ホーム画面で［ ］→［ Home Network Player］をタップする

ホームネットワークプレーヤーが起動し、メディア選択画面が表示されます。

2 再生したいコンテンツの種類を選ぶ

再生したいコンテンツの種類を［動画］、［写真］、［音楽］から選んでタップします。

次ページへつづく

3 コンテンツが保存された機器を選んでタップする

ホームネットワークプレーヤーは、指定した機器に保存されたコンテンツを検索して表示します。

- 指定した機器にコンテンツが見つからないときは「ファイルがありません」というメッセージが表示されます。

写真を再生する－マルチビュー

ホームネットワークプレーヤーで写真再生を選び（→「ホームネットワークプレーヤーを起動する」）、写真が保存された機器を選ぶと、下記のような画面が表示されます。

- タイトルやフォルダーが画面に収まらないときは、画面をスライドすると、画面がスクロールして、次の一覧が表示されます。

① **現在のフォルダー名**：現在のフォルダー名が表示されます。

② **フォルダー（ ）**：タップすると、フォルダーに移動します。

③ **写真タイトル**：写真のサムネイルが表示されます。

④ **[⋮]（メニュー）**：タップすると、メニューが表示されます。

⑤ **並べ替え**：タップすると、フォルダーとサムネイルを以下のように並べ替えて表示します。タップするたびに、昇順と降順が入れ替わります。

- **[名前]**：フォルダー / タイトルの名前順に並べ替えます。
- **[日付]**：フォルダー / タイトルが保存された日付の順に並べ替えます。

次ページへつづく

⑥ **スクロールバー**：いま表示している一覧が全体のどの位置にあるのか示します。スクロールバーをドラッグしてスクロールすることはできません。

⑦ **（読み込み中）**：読み込み中のタイトルやフォルダーがあることを示します。

選んだ写真タイトルを大きく表示する

写真のサムネイルを選んでタップします。
選んだ写真がシングルビュー（→「写真を再生する－シングルビュー」）で表示されます。

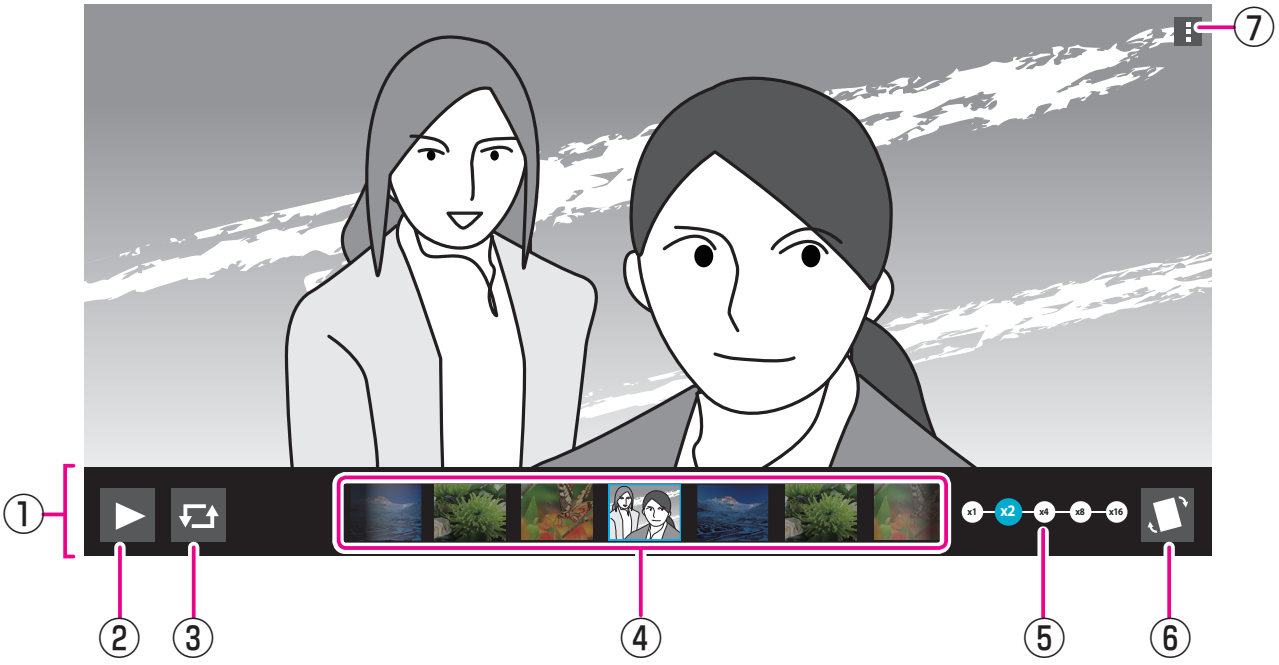
メディア選択画面に戻る

ルートフォルダーで［ ］をタップします。
メディア選択画面（→「ホームネットワークプレーヤーを起動する」）に戻ります。

ホームネットワークプレーヤーを終了する

［ ］をタップします。
ホームネットワークプレーヤーを終了し、ホーム画面を表示します。

写真を再生する－シングルビュー



① **再生コントロールエリア**：再生操作に関連するアイコンが表示されます。コントロールエリア以外の部分をタップするか、何もせずに6秒経過すると表示が消えます。表示されていないときに画面をタップすると、コントロールエリアが表示されます。

② **[▶]（再生）/ [■]（停止）**：タップすると、スライドショーが始まり、写真が自動的に切り換わります。再生中にタップすると、スライドショーが停止します。

③ **[ ]（リピートモード）**：リピートモードがオフのときはグレーに表示されます。

④ **サムネイル**：表示中の写真のサムネイルを中心に、前後の写真のサムネイルが表示されます。

次ページへつづく

⑤ [x1 x2 x4 x8 x16]：タップして、写真の拡大率を変更します。拡大率は 1 倍、2 倍、4 倍、8 倍、16 倍の中から選べます。画面をピンチイン / ピンチアウトしても、写真を拡大・縮小することができます。

⑥ [ ]（回転）：タップすると、写真を回転して表示することができます。

⑦ [⋮]（メニュー）：タップすると、メニューが表示されます。スライドショー再生の速さや、写真撮影情報表示の有無などが選べます。

写真一覧表示（マルチビュー）に戻る

[⮌] をタップします。

マルチビュー（→「写真を再生する－マルチビュー」）に戻ります。

音楽を再生する－リストビュー

ホームネットワークプレーヤーで音楽再生を選び、音楽タイトルが保存された機器を選ぶと、下記のような画面が表示されます。

- タイトルやフォルダーが画面に収まらないときは、画面をスライドすると、次の一覧が読み込まれます。

① **現在のフォルダー名**：現在のフォルダー名が表示されます。

② **フォルダー（** **）**：タップすると、フォルダーに移動します。

③ **音楽タイトル**：アートワークが設定されているときは、その画像が表示されます。アートワークの取得ができないときは、「 」が表示されます。タイトルと更新日も表示されます。

④ **[⋮]（メニュー）**：タップすると、メニューが表示されます。

次ページへつづく

⑤ **並べ替え**：タップすると、フォルダーとサムネイルを以下のように並べ替えて表示します。タップするたびに、昇順と降順が入れ替わります。

- **[名前]**：フォルダー / タイトルの名前順に並べ替えます。
- **[日付]**：フォルダー / タイトルが保存された日付の順に並べ替えます。

⑥ **スクロールバー**：いま表示している一覧が全体のどの位置にあるのか示します。スクロールバーをドラッグしてスクロールすることはできません。

⑦ **（再生中）**：現在再生中のタイトルを示します。

⑧ **（読み込み中）**：読み込み中のタイトルやフォルダーがあることを示します。

選んだ音楽タイトルを再生する

音楽タイトルを選んでタップします。

選んだタイトルがフルスクリーンモード（→「音楽を再生する－フルスクリーンモード」）で表示されます。

メディア選択画面に戻る

ルートフォルダーで［ ］をタップします。

メディア選択画面（→「ホームネットワークプレーヤーを起動する」）に戻ります。

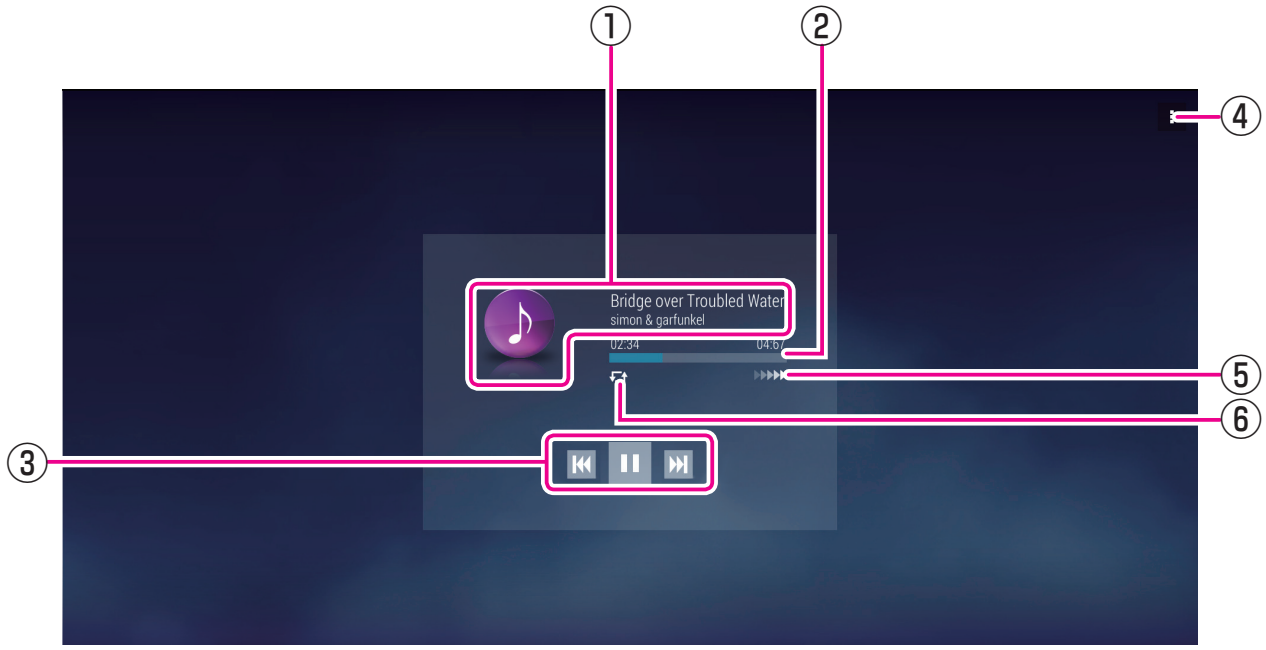
ホームネットワークプレーヤーを終了する

［ ］をタップします。

ホームネットワークプレーヤーを終了し、ホーム画面を表示します。

音楽を再生する－フルスクリーンモード

- 再生中のタイトルが最後まで再生されると、同じフォルダーにある次のタイトルが再生されます。フォルダー内の全タイトルの再生が終わると、リストビューに戻ります。



① **再生中のタイトル**：再生中のタイトルのアートワークやアーティスト名などが表示されます。

② **プログレスバー**:タイトルの再生位置が表示されます。バーをドラッグすると、再生位置を変更できます。

③ **コントロールボタン**：

- **[▶]（再生）/ [▮▮]（一時停止）**：タップすると、再生中は一時停止、一時停止中は再生します。
- **[⏮]（タイトルの先頭 / 前のタイトル）**：タップすると、現在のタイトルの先頭にスキップして再生します。再生開始から約 2 秒以内に押した場合は、一つ前のタイトルの先頭にスキップします。
- **[⏭]（次のタイトル）**：タップすると、次のタイトルの再生を始めます。

次ページへつづく

④ **[⋮]（メニュー）**：タップすると、メニューが表示されます。

⑤ **現在の再生モード**：現在の再生モードに合わせてアイコンが表示されます。

⑥ **[ ]（リピート再生）**：リピート再生をしないときはグレーに表示されます。

1 タイトル再生または全タイトル再生のときは、それぞれアイコンが表示されます。

リストビューに戻る

[⮌] をタップします。

リストビュー画面（→「音楽を再生する－リストビュー」）に戻り、バックグラウンドモード（→「音楽を再生する－バックグラウンドモード」）での再生が続きます。

ホームネットワークプレーヤーを終了する

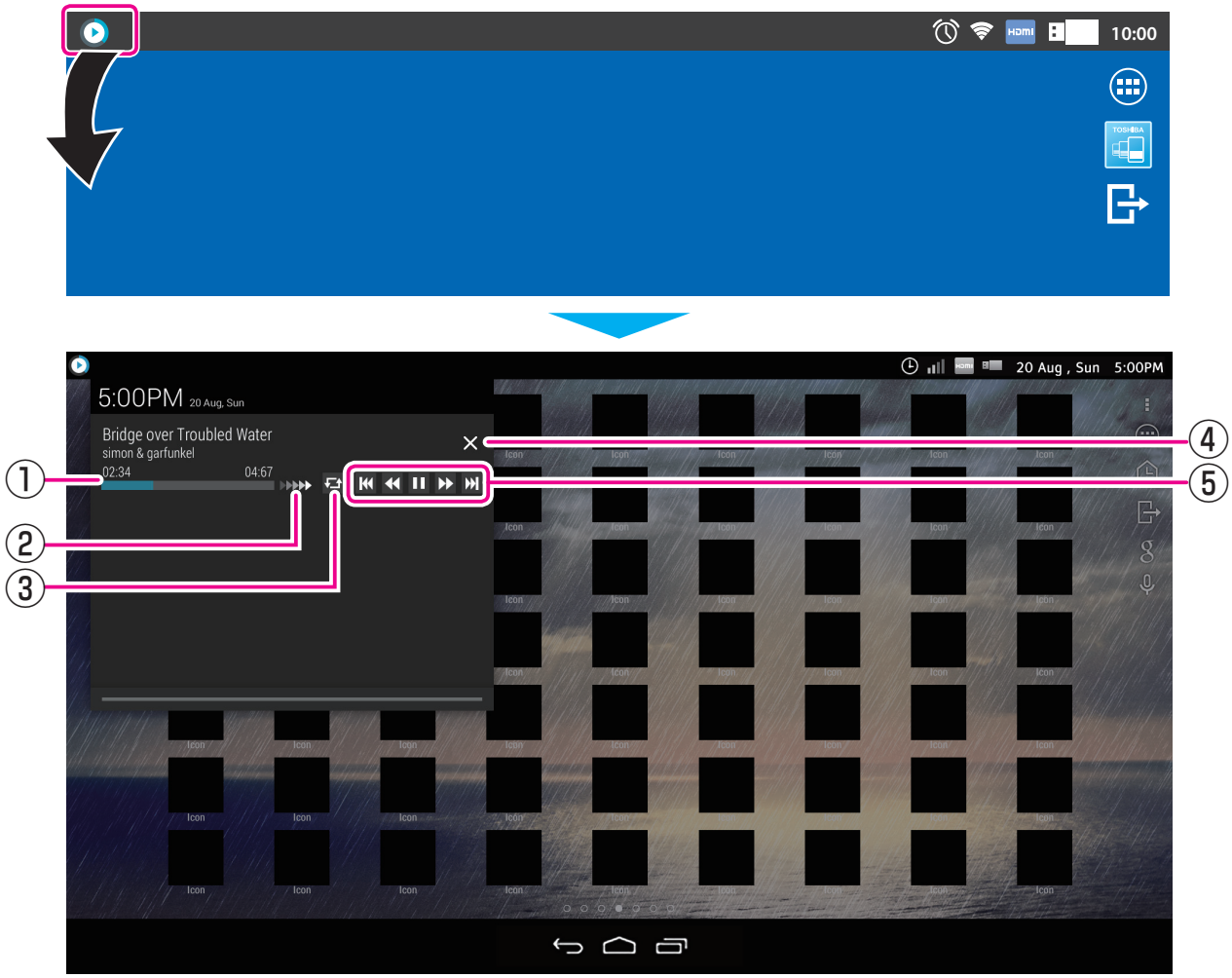
[⌂] をタップします。

ホームネットワークプレーヤーを終了し、ホーム画面を表示します。ただし、バックグラウンドモード（→「音楽を再生する－バックグラウンドモード」）で音楽の再生が続きます。

音楽を再生する－バックグラウンドモード

ステータスバーに再生中アイコン（ ）が表示されます。ステータスバーを下に向かってフリックすると、バックグラウンドモードのプレーヤー画面が表示されます。

- 再生中のタイトルが最後まで再生されると、同じフォルダーにある次のタイトルが再生されます。フォルダー内の全タイトルの再生が終わると、バックグラウンド再生を終了します。



次ページへつづく

① **プログレスバー**:タイトルの再生位置が表示されます。バーをドラッグすると、再生位置を変更できます。

② **現在の再生モード**：現在の再生モードに合わせてアイコンが表示されます。

③ **[ ]（リピート再生）**：リピート再生をしないときはグレーに表示されます。

1 タイトル再生または全タイトル再生のときは、それぞれアイコンが表示されます。

④ **[×]（終了）**：バックグラウンドモードを終了します。

⑤ **コントロールボタン**：

- **[▶]（再生）/ [❚❚]（一時停止）**：タップすると、再生中は一時停止、一時停止中は再生します。
- **[⏮]（タイトルの先頭 / 前のタイトル）**：タップすると、現在のタイトルの先頭にスキップして再生します。再生開始から約 2 秒以内に押した場合は、一つ前のタイトルの先頭にスキップします。
- **[⏭]（次のタイトル）**：タップすると、次のタイトルの再生を始めます。

動画を再生する－リストビュー

ホームネットワークプレーヤーで動画再生を選び、動画タイトルが保存された機器を選ぶと、下記のような画面が表示されます。

- タイトルやフォルダーが画面に収まらないときは、画面をスライドすると、次の一覧が読み込まれます。

① **現在のフォルダー名**：現在のフォルダー名を表示します。

② **フォルダー（** **）**：タップすると、フォルダーに移動します。

③ **動画タイトル（** **）**：タイトルと更新日が表示されます。

④ **（再生中）**：現在再生中のタイトルを示します。

⑤ **[⋮]（メニュー）**：タップすると、メニューが表示されます。

⑥ **並べ替え**：タップすると、フォルダーとサムネイルを以下のように並べ替えて表示します。タップするたびに、昇順と降順が入れ替わります。

- **[名前]**：フォルダー / タイトルの名前順に並べ替えます。
- **[日付]**：フォルダー / タイトルが保存された日付の順に並べ替えます。

次ページへつづく

⑦ **スクロールバー**：いま表示している一覧が全体のどの位置にあるのか示します。スクロールバーをドラッグしてスクロールすることはできません。

⑧ **（読み込み中）**：読み込み中のタイトルやフォルダーがあることを示します。

選んだ動画タイトルを再生する

動画タイトルを選んでタップします。
選んだタイトルがフルスクリーンモード（→「動画を再生する－フルスクリーンモード」）で表示されます。

メディア選択画面に戻る

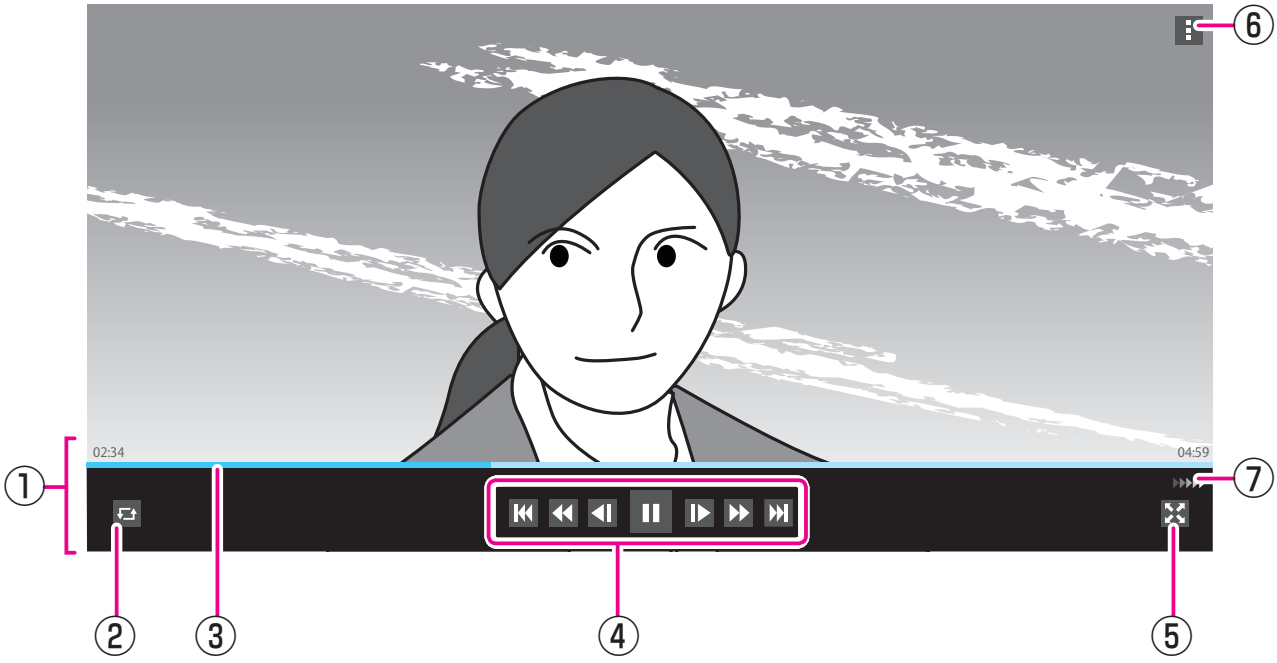
ルートフォルダーで［ ⮌ ］をタップします。
メディア選択画面（→「ホームネットワークプレーヤーを起動する」）に戻ります。

ホームネットワークプレーヤーを終了する

［ ⌂ ］をタップします。
ホームネットワークプレーヤーを終了し、ホーム画面を表示します。

動画を再生する－フルスクリーンモード

- 再生中のタイトルが最後まで再生されると、リストビュー画面に戻ります。



① **再生コントロールエリア**：再生操作に関連するアイコンが表示されます。コントロールエリア以外の部分をタップするか、何もせずに 6 秒経過すると表示が消えます。表示されていないときに画面をタップすると、コントロールエリアが表示されます。

② **[ ]（リピート再生）**：リピート再生をしないときはグレーに表示されます。

1 タイトル再生または全タイトル再生のときは、それぞれアイコンが表示されます。

③ **プログレスバー**：タイトルの再生位置が表示されます。バーをドラッグすると、再生位置を変更できます。

次ページへつづく

④ **コントロールボタン**：

- **[▶]（再生）/ [❚❚]（一時停止）**：タップすると、再生中は一時停止、一時停止中は再生します。
- **[▶▶]（早送り）/ [◀◀]（早戻し）**：タップすると、早送りまたは早戻しされます。
- **[❙▶]（スロー送り）/ [◀❙]（スロー巻き戻し）**：タップすると、スロー再生します。
- **[⏮]（タイトルの先頭 / 前のタイトル）**：タップすると、現在のタイトルの先頭にスキップして再生します。再生開始から約 2 秒以内に押した場合は、一つ前のタイトルの先頭にスキップします。
- **[⏭]（次のタイトル）**：タップすると、次のタイトルの再生を始めます。

⑤ **[⛶]（再生サイズ）**：タップすると、再生サイズが切り換わります。

⑥ **[⋮]（メニュー）**：タップすると、メニューが表示されます。

⑦ **現在の再生モード**：現在の再生モードに合わせてアイコンが表示されます。

リストビューに戻る

[⮌] をタップします。

リストビュー画面（→「動画を再生する－リストビュー」）に戻ります。

ホームネットワークプレーヤーを終了する

[⌂] をタップします。

ホームネットワークプレーヤーを終了し、ホーム画面を表示します。

ライブ配信コンテンツを視聴する－リストビュー

ライブ配信対応機器をホームネットワークに接続するとライブストリーミングの放送を本機で視聴することができます。

- ホームネットワークプレーヤー起動時にライブ配信対応機器を選び、動画を再生するかライブ視聴するかの再生動画の選択画面で**［ライブ視聴］**をタップします。
  - はじめてライブ配信コンテンツを視聴すると、設定画面が表示されます。必要な設定を行なって**［完了］**をタップすると、リストビュー画面が表示されます。視聴したいチャンネルをタップして受信します。
  - 2 回目以降にライブ配信コンテンツを視聴したときは、コンテンツ配信画面（→**「ライブ配信コンテンツを視聴する－フルスクリーンモード」**）が表示されます。

放送タイプを選ぶ

「地上デジタル」「BS デジタル」「110 度 CS」の中から、視聴したい放送タイプを選んでタップします。

放送タイプに応じた放送局の一覧が表示されます。

- 視聴したい放送局が画面に収まらないときは、画面をスライドすると、次の一覧が表示されます。
- 受信中の放送局名の横には［ ］が表示されます。
- 読み込み中の放送局があるときは［ ］アイコンが表示されます。

次ページへつづく

放送局を選んでライブ動画を再生する

放送局を選んでタップします。

選んだコンテンツがフルスクリーンモード（→「ライブ配信コンテンツを視聴する－フルスクリーンモード」）で表示されます。

設定メニューを表示する

[⋮] をタップします。

再生動画の選択画面に戻る

[⮌] をタップします。

再生動画の選択画面に戻ります。

ホームネットワークプレーヤーを終了する

[⌂] をタップします。

ホームネットワークプレーヤーを終了し、ホーム画面を表示します。

ライブ配信コンテンツを視聴する－フルスクリーンモード

ライブ配信コンテンツを再生します。

- ストリーミングに時間がかかっている場合など、コンテンツ再生開始までに時間がかかることがあります。
- フルスクリーンモードのとき画面をタップすると、コントロールエリアが表示されます。
  - コントロールエリアには、再生操作に関連するアイコンが表示されます。コントロールエリア以外の部分をタップするか、何もせずに6秒経過すると表示が消えます。

再生サイズを変更する

[ ]（**再生サイズ**）をタップすると、再生サイズが切り換わります。

再生画質を調整する

[ ]（**画質調整**）をタップすると、画質調整画面が表示されます。

メニューを表示する

[ ] をタップすると、メニューが表示されます。

次ページへつづく

放送局のリストを表示する

[チャンネルリスト] をタップするとリストビュー画面を表示します。
（→「ライブ配信コンテンツを視聴する－リストビュー」）

- ナビゲーションバーの［ ⮌ ］をタップしたときも、リストビュー画面を表示します。

ホームネットワークプレーヤーを終了する

［ ⌂ ］をタップします。
ホームネットワークプレーヤーを終了し、ホーム画面を表示します。

インフォメーションボード

インフォメーションボードでできること

ニュースや予定などの情報を表示し、簡単に確認することができます。気になる情報がある場合は、該当するエリアやアイコン、項目などをタップすることで関連するアプリケーションを起動し、詳細を確認することができます。

インフォメーションボードは、以下の機能に対応しています。

- **各種情報の確認**
  - 日付と時刻
  - 今日、明日の予定
  - ニュース
  - メッセージボードの登録状況
- **音声によるアプリケーションの起動**

  マイクアイコンをタップしてアプリケーション名を音声で入力することで、登録済みのアプリケーションを起動することができます。
- **設定**

  設定アイコンをタップすると設定画面が開きます。

  設定画面では各種情報表示や背景表示の設定等を行うことができます。背景表示方法として、**[デフォルト]** を選ぶと、時刻と地域の設定情報に合わせて、自動的に背景が変わります。**[ギャラリー]** からアルバムを選んだ場合は、アルバム内の画像のスライドショー表示になります。

メッセージボード

メッセージボードでできること

テキスト、手書き、音声メモや写真を登録することができます。メモはEvernote® サービスに保存されるため、外出先でもメモを確認できます。

メッセージボードは、以下の機能に対応しています。

- **色々なメモの登録**
  背景をタップすることで、テキスト、手書き、音声、写真のメモ登録ボタンが表示されます。
- **メモのレイアウト変更**
  メモの位置を移動したり、大きさや傾きを変えたりすることができます。それぞれの操作方法は、アプリケーション内のヘルプを参照ください。
- **メニュー**
  メニューボタンをタップして、背景の変更やヘルプの参照などができます。

お知らせ

- 本アプリケーションは、データの保存先として Evernote® サービスを使用しています。そのため、本アプリケーションをご利用いただくには、Evernote® サービスアカウントが必要となります。アカウントをお持ちでない場合は、Evernote® のサイトで、本アプリケーションのご利用者のアカウントを作成してください。
- 本アプリケーションをご利用して Evernote® に保存されたデータは、Evernote® のサービス利用規約およびプライバシーポリシーに準じて扱われます。
- 写真を登録すると、写真の解像度が変更される場合があります。

本機以外の Android™ 搭載端末での利用

本機以外の Android™ 搭載のスマートフォンやタブレットでも、メッセージボードをインストールして、メモの登録や確認ができます。Google Play からメッセージボードをインストールしてご利用ください。

お知らせ

- 本機以外の端末で利用する場合、初回起動時にパスワードの登録が必要になります。本機でメッセージボードを起動し、メニューから [**スマートフォンでの利用**] を選択して、表示されたパスワードを入力してください。
  - パスワードの表示や入力をする際は、端末の設定時刻が正しいことを確認してください。
- 本機以外の端末で利用する場合、本機で動作するメッセージボードと同一の Evernote® サービスアカウントを登録してください。
- 対応機器は、Android™ 4.0 ～ 4.4 搭載のスマートフォン / タブレットです。(2014 年 8 月現在)

タイマー

タイマー機能では、曜日や時刻などを設定して、電源を「入」/「切」できます。

タイマーを設定する

1 ホーム画面で［ ］→［ 設定］→［タイマー］をタップする

タイマー設定画面が表示されます。

2 ［タイマー 1］～［タイマー 10］の中から、設定するタイマーを選んでタップする

最大 10 種類のタイマー設定が登録できます。

3 タイマーの詳細を設定する

- **［オンタイマー］**：チェックボックスをタップして「✓」をつけると、オンタイマーが動作します。「✓」をつけると、**［時刻］**/**［音量］**/**［繰り返し］**の設定ができます。「✓」をはずすと、オンタイマーは解除されます。
  - **［時刻］**：オンタイマーが電源を入れる時刻を設定します。
  - **［音量］**：オンタイマーが動作するときの音量を設定します。
- **［オフタイマー］**：チェックボックスをタップして「✓」をつけると、オフタイマーが動作します。「✓」をつけると、**［時刻］**と**［繰り返し］**の設定ができます。「✓」をはずすと、オフタイマーは解除されます。
  - **［時刻］**：オフタイマーが電源を切る時刻を設定します。
- **［繰り返し］**：**［繰り返し］**をタップすると、繰り返す曜日が表示されます。繰り返したい曜日に「✓」をつけます。
  - **［繰り返し］**の設定は、**［オンタイマー］**と**［オフタイマー］**に有効です。**［オンタイマー］**と**［オフタイマー］**の両方に「✓」をつけているときは、両方のタイマーが、設定した曜日に繰り返し動作します。
  - 「✓」をすべて外すと、タイマーは設定した時刻に 1 回だけ動作します。

タイマーが動作したとき

● **[オンタイマー]**

- 電源が「切」（待機状態）のとき：
  設定した時刻になると、設定した音量で電源が入ります。
- 設定した時刻に電源が「入」のとき：
  電源は「入」のままで、音量は変化しません。

● **[オフタイマー]**

- 電源が「入」のとき：
  設定した時刻になると、電源が「切」（待機状態）になります。
- 設定した時刻に電源が「切」（待機状態）のとき：
  何も変化しません。
- 電源が「切」（待機状態）になる約 1 分前になると、画面に「まもなく電源が切れます」というメッセージウィンドウが表示されます。**[キャンセル]** をタップすると、オフタイマーはキャンセルされ、動作しません。
  - **[キャンセル]** をタップすると、**[繰り返し]** 設定もキャンセルされます。
  - このメッセージウィンドウは、電源が「切」（待機状態）になるか、**[キャンセル]** または画面をタップするまで表示されます。

ご注意

AC アダプターや電源プラグを取りはずすと、タイマーの設定は消去されます。AC アダプターや電源プラグを接続して電源を「入」にした後、あらためてタイマーの設定をし直してください。

ボードコントローラー

ボードコントローラーでできること

Android™ 搭載のスマートフォン / タブレットや iPhone/iPad で本機を操作することができます。

ボードコントローラーでは、以下の操作ができます。

- **ポインター、カーソル操作**
- **タップ、フリック、ピンチイン、ピンチアウト**
- **電源、音量操作**
- **テキスト入力**

ボードコントローラー対応機器

- Android 4.0 ～ 4.4 搭載のスマートフォン / タブレット
- iOS7 搭載の iPhone/iPod touch/iPad

(2014 年 8 月現在)

次ページへつづく

ご注意

- **本機の初期設定では、ボードコントローラーが使用できない設定になっています。ボードコントローラーを使用するには、本機の［ボードコントローラー設定］を起動して、画面内にあるボードコントローラーのボタンをタップして［OFF］から［ON］へ変更してください。**
- **ボードコントローラーを使用するには、使用する端末に「ボードコントローラー」アプリケーションをインストールする必要があります。アプリケーションは、Android™ 搭載スマートフォン / タブレットは Google Play、iPhone/iPad は App Store からダウンロードしてインストールしてください。**
  - ボードコントローラーは WiFi ネットワークを使用して本機を操作します。ボードコントローラーをインストールした端末は、本機と同じホームネットワークに接続してください。
- **本機の使用状況によっては、ボードコントローラーを使った操作の反応に、時間がかかる場合があります。**
- **電源表示ランプがオレンジのときは、ボードコントローラーから本機の電源を入れて起動することができません。電源表示ランプがオレンジから赤に変わってから、操作してください。**

PC モニターモード

本機を Windows® 8 のモニターとして使うことができます。
Windows® 8 のタッチ操作にも対応します。

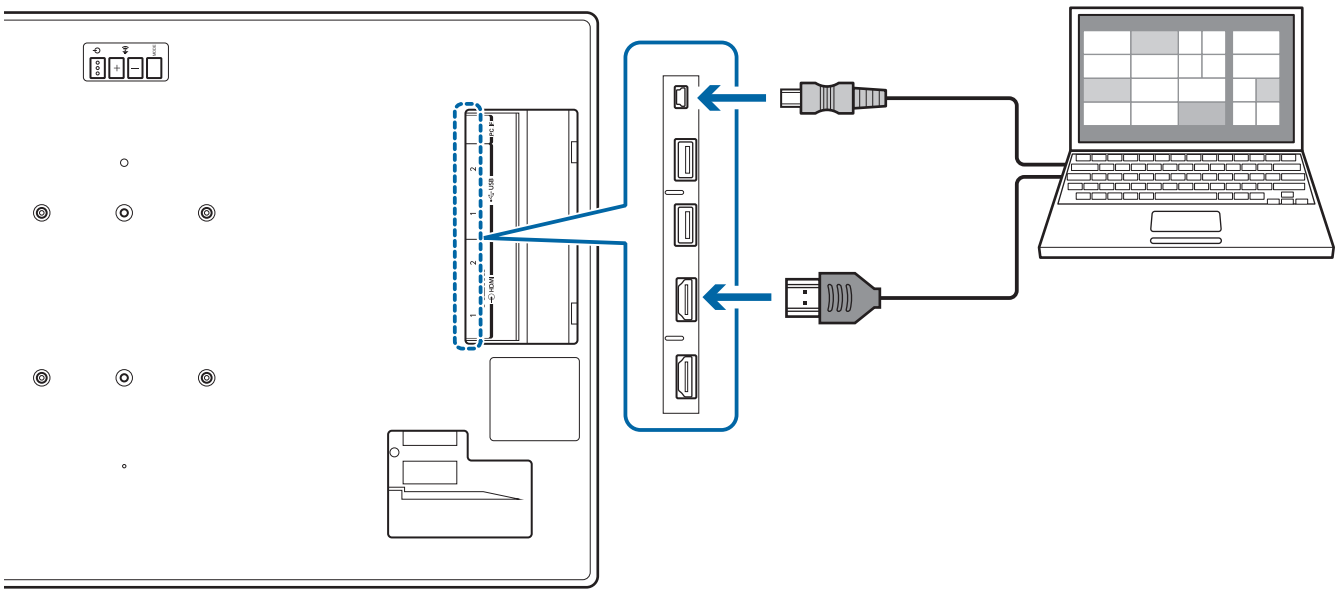
ご注意

PC モニターモードでの使用は、本機を横向きに設置している場合に対応しています。PC モニターモードでご使用になる場合は、本機を横向きに設置してください。

Windows® 8 のパソコンと接続する

パソコンの HDMI 端子と本機の HDMI2 端子を HDMI ケーブルで接続し、パソコンの USB 端子と本機の PC IF 端子（ミニ USB）を USB ケーブル（標準プラグ / ミニ USB プラグケーブル）で接続します。

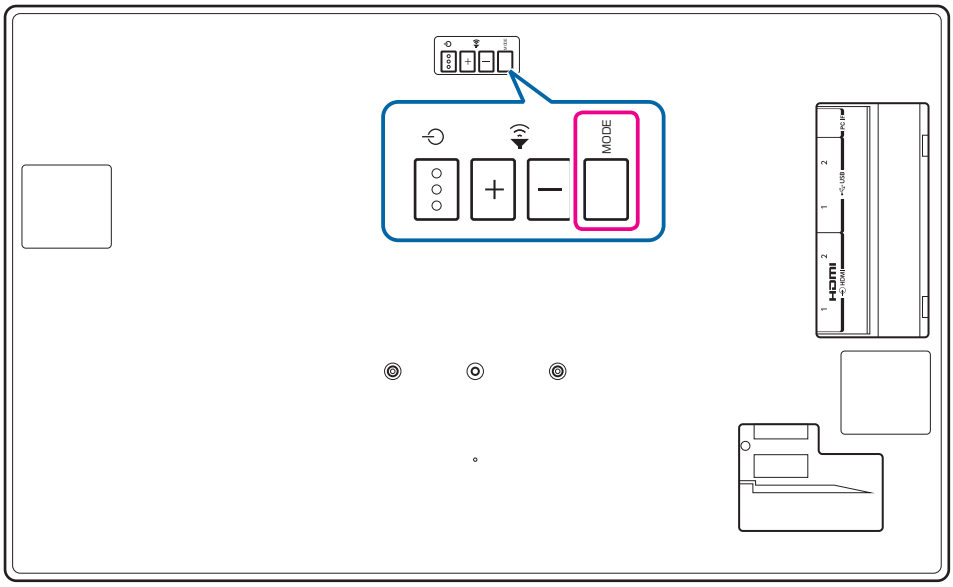
- HDMI2 端子への接続は映像と音声の信号用に、PC IF 端子への接続はタッチパネルの制御用に使用します。



PC モニターモードに切り換える

1 Android モード（通常モード）で起動しているときに、本体背面の MODE ボタンを長押しする

- モードが切り換わると、電源表示ランプが「青」から「緑」に変わります。
- 起動中は、上記の操作は無効になります。完全に起動してから操作してください。



PC モニターモードに切り換わります。

2 パソコンからの信号が入力されたら、モニターとして操作する

画面を使ったタッチ操作ができます。

お知らせ

PC モニターモードは、電源を切っても保持されます。

PC モニターモードのときの操作

PC モニターモードのときに本機でできる操作は、本機の電源と音量、PC モニターモードの切り換えのみになります。

- 音量は、本体またはリモコンの音量ボタンで操作します。PC モニターモードのときは、画面に音量は表示されません。音量が最大または最小になると、電源表示が 4 回点滅してお知らせします。

ご注意

PC モニターモードを使用するときは、パソコンの音量を小さくしてから接続してください。予期せぬ大音量が出る可能性があります。

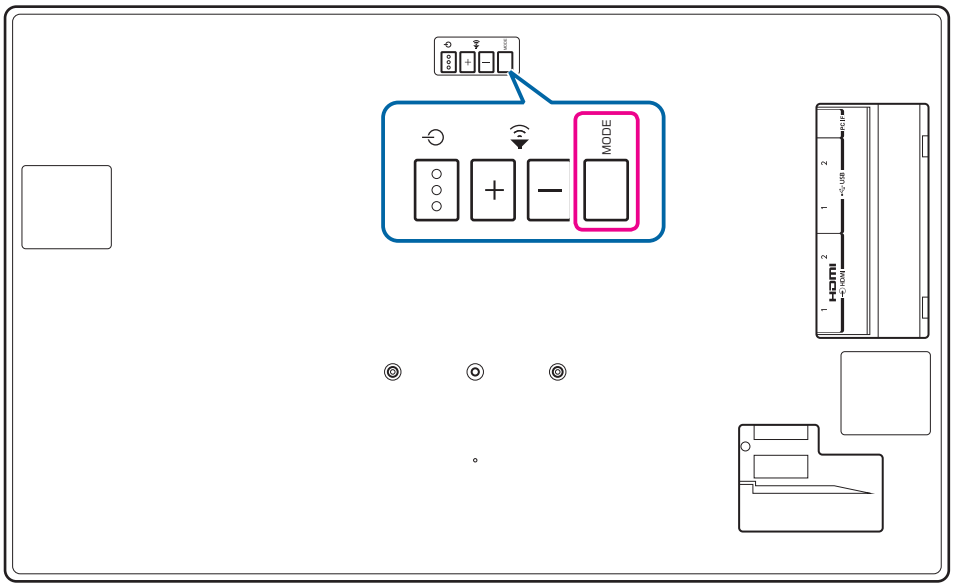
お知らせ

- 画面の明るさは、通常モードのときに設定した明るさになります。PC モニターモードのときは、画面の明るさは調節できません。
- PC モニターモードで PC からの映像信号が検出されないときは、画面が青く表示されます。
- PC モニターモードでご使用中は、Android モード（通常モード）で設定したイベント（タイマーなど）は無視されます。

Android モード（通常モード）に切り換える

1 PC モニターモードのときに本体背面の MODE ボタンを長押しする

- モードが切り換わると、電源表示ランプが「緑」から「青」に変わります。



通常モードに切り換わります。ホーム画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

基本的なアプリケーション

Google Chrome …… 141
YouTube …… 141
Google サーチ …… 141
Google Play Store …… 141

本機で使える基本的なアプリケーションを紹介します。

Google Chrome

インターネットの Web サイトを閲覧できます。

1 ホーム画面で［ ］→［ Chrome］をタップする

Google Chrome が起動します。

YouTube

インターネット上の動画を閲覧できます。

1 ホーム画面で［ ］→［ YouTube］をタップする

YouTube が起動します。

Google サーチ

インターネットにアクセスして検索します。

1 ホーム画面で［ ］→［ Google］をタップする

Google サーチが起動します。

Google Play Store

さまざまなアプリケーションをダウンロードしたり、書籍や動画などのコンテンツを購入したりすることができます。

1 ホーム画面で［ ］→［ Play ストア］をタップする

Google Play Store が起動します。

設定

設定画面について…… 143
設定画面を表示する …… 143
設定項目一覧 : 無線とネットワーク …… 144
設定項目一覧 : 端末 …… 145
設定項目一覧 : ユーザー設定 …… 150
設定項目一覧 : アカウント …… 154
設定項目一覧 : システム …… 154
音の設定…… 158
音量を調節する …… 158
左右のスピーカーの音量のバランスを調節する …… 159
通知音 / 操作音の設定をする …… 160
画面 / 映像の調整…… 161
画面の明るさを調整する …… 161
画質を設定する …… 161
壁紙を変更する …… 162
画面の向きを設定する …… 163
システムの設定…… 164
日付と時刻を設定する …… 164
プラットフォームとアプリケーションをアップデートする …… 166
その他…… 168
音声検索機能の設定を変更する …… 168
テキスト読み上げ機能の設定を変更する …… 169
初期化（リセット）…… 170
初期化する前に確認する …… 171
初期化する前に準備する …… 172
初期化を実行する …… 173

ネットワーク・音声・画面に関する様々な設定について説明しています。

設定画面について

設定画面でさまざまな設定を変更することができます。

設定画面を表示する

1 ホーム画面で［ ］→［ 設定］をタップする

設定画面が表示されます。

2 設定項目から変更する項目を選び、タップする

設定画面の右側にさらに設定の詳細が表示されます。

- 設定したい項目が表示されないときは、項目をスクロールして表示させます。

3 必要な項目をタップし、設定を変更する

- 設定する項目によっては［OK］ボタンや［キャンセル］ボタンが表示されます。設定を確定するには［OK］を、途中でやめる場合は［キャンセル］をタップしてください。
- チェックボックスに「✓」（チェック）をつけたりはずしたりする場合は、チェックボックスをタップしてください。

お知らせ

設定項目によっては、選択肢の横に［ ］が表示されるものがあります。タップすると、さらに詳細な設定をすることができます。

設定項目一覧：無線とネットワーク

Wi-Fi

Wi-Fi 接続の設定をします。（→「無線 LAN の設定をする」）

- **ON**：Wi-Fi 接続を有効にし、利用可能なネットワークを表示します。
- **OFF**：Wi-Fi 接続を無効にします。

Bluetooth

Bluetooth 接続の設定をします。（→「Bluetooth 対応機器」）

- **ON**：Bluetooth 接続を有効にし、利用可能な Bluetooth デバイスを表示します。
- **OFF**：Bluetooth 接続を無効にします。

データ使用

Wi-Fi のデータ使用状況を表示します。

その他

- **VPN**：VPN(Virtual Private Network) の設定をします。VPN は、社外から社内 LAN に安全に接続するための方法です。VPN を設定するためには、ネットワーク管理者にセキュリティ情報について問い合わせてください。

設定項目一覧：端末

音

音の設定を変更します。（→「音の設定」）

- **音量**：音量を調節します。
- **バランス**：本機の左右スピーカーから出る音量のバランスを調節します。（**L**：左、**R**：右）
  - **バランス**は横向きに設置しているときに表示されます。縦向きに設置しているときは表示されません。
- **システム**：通知音や操作音の設定をします。
  - **デフォルトの通知音**：通常の通知音を選びます。
  - **タッチ操作音 / 画面ロックの音 / ダイナミックレンジコントロール**：「オン」にするにはチェックボックスに「✓」をつけます。「オフ」にするには、「✓」をはずします。
- **リップシンク**：動画の再生中に Bluetooth 機器で音声を出力するとき、動画の再生を遅らせ、音声と映像のタイミングを合わせる設定をします。
  - **リップシンク（外部音声出力）**：「オン」にするにはチェックボックスに「✓」をつけます。「オフ」にするには「✓」をはずします。
  - **リップシンク調整**：調整の強度を設定します。

次ページへつづく

ディスプレイ

ディスプレイの設定を変更します。

- **画面の明るさ**：画面の明るさを調整します。（→「画面の明るさを調整する」）
- **壁紙**：ホーム画面に表示する壁紙を選びます。（→「壁紙を変更する」）
- **スリープ**：操作が行われなくなってからスリープ状態になるまでの時間を設定します。
- **スクリーンセーバー**：本機がスリープ状態のとき表示されるスクリーンセーバーを選びます。
- **フォントサイズ**：画面に表示する文字のサイズを選びます。
- **高画質設定**：画質を設定します。（→「画質を設定する」）
- **ダブルウィンドウ**：ダブルウィンドウ機能を使用するときは **[ON]** を、使用しないときは **[OFF]** を選びます。（→「ダブルウィンドウ」）
- **ダブルウィンドウ優先設定**：ダブルウィンドウでの表示が可能なときに、ダブルウィンドウで開くか、シングルウィンドウのままで使うか、を設定します。

次ページへつづく

メディアレンダラー設定

本機のレンダラー機能や接続機器（DMC）使用時の設定をします。

- **メディアレンダラー**：本機のレンダラー機能を使用するかしないかを設定します。
- **最大音量制限設定**：機器（DMC）から本機の音量を操作する際の最大音量を制限します。
- **デバイス名**：機器（DMC) に表示する本機の名称を設定します。

次ページへつづく

HDMI 連動機能

HDMI1 端子に接続している外部機器との連動の設定をします。

- HDMI 連動機能を使用する場合は、HDMI1 端子と接続してください。

- **HDMI 連動機能**：本機と HDMI1 端子に接続している機器との操作を連動させるか（**[使用する]** / **[使用しない]**）を設定します。
- **連動機器→本体入力切換**：連動機器の電源を入れたときに本機の入力切換を自動的に「HDMI」にするか（**[連動する]** / **[連動しない]**）を設定します。
- **連動機器→本体電源**：連動機器の電源の「入」/「切」（待機状態）にあわせて、本機の電源も「入」/「切」（待機状態）するか（**[連動する]** / **[連動しない]**）を設定します。
- **本体→連動機器電源オフ**：本機の電源を「切」（待機状態）にしたときに連動機器の電源も「切」（待機状態）にするか（**[連動する]** / **[連動しない]**）を設定します。
  - 連動機器が録画中の場合など、動作の状態によっては「切」（待機状態）にならないこともあります。

次ページへつづく

ストレージ

本機のストレージ容量をデータの種類別に表示します。

- USB メモリーのストレージ容量を確認する場合は、本機に接続 / 取り付けしてください。
- USB メモリーのことを SD カードと表示する場合があります。

アプリ

本機にインストールされているアプリケーションの一覧と詳細を表示します。

- 左右にフリックすると、タブが切り換わります。

ユーザー

ユーザー情報（**[ニックネーム]** / **[所有者情報]**）を表示し、ユーザーの追加または削除を行います。（→**「ユーザーを追加する / 切り換える」**）

- 変更したいユーザーの項目をタップしてユーザー情報を変更します。
- 所有者情報をロック画面に表示する場合は **[所有者情報]** → **[ロック画面に所有者情報を表示]** のチェックボックスに「✓」をつけます。表示しない場合は「✓」をはずします。ロック画面に表示するテキストを編集することもできます。

● **自分**：あなたのユーザー情報を表示します。

● **その他のユーザー**：その他のユーザーの情報を表示します。

設定項目一覧：ユーザー設定

位置情報アクセス

位置情報の使用についての設定をします。

- **位置情報にアクセス**：ユーザーの許可をリクエストしたアプリケーションで位置情報を使用するには［ON］を、位置情報を使用しない場合は［OFF］を選びます。
- **位置情報源**
  - **Wi-Fi 接続時の位置情報**：Wi-Fi 接続しているときに、Google の位置情報サービスで現在の位置情報を取得することをアプリケーションに許可するには、チェックボックスに「✓」をつけます。許可しない場合は「✓」をはずします。

セキュリティ

画面のロックやパスワードなどセキュリティの設定をします。

- **画面のセキュリティ**：画面のセキュリティの設定をします。
  - **画面のロック**：画面のロックや解除の方法を設定をします。（→「セキュリティの設定をする」）
  - **所有者情報**：画面のロック中の所有者情報の表示 / 非表示の設定や所有者情報のテキスト編集を行います。
- **パスワード**
  - **パスワードを表示する**：パスワードを入力するときに、入力中の文字を表示するにはチェックボックスに「✓」をつけます。表示しないときは「✓」をはずします。

次ページへつづく

- **デバイス管理**：本機の端末管理者の表示 / 非表示の設定や提供元や安全性のわからないアプリケーションのインストール制限を行います。
  - **端末管理者**：端末管理者の表示 / 非表示を設定します。
  - **提供元不明のアプリ**：提供元が不明のアプリケーションのインストールを許可するにはチェックボックスに「✓」をつけます。許可しないときは「✓」をはずします。
  - **アプリを確認する**：損害をもたらす可能性があるアプリケーションのインストールをしない、またはインストール前に警告ダイアログを表示させるにはチェックボックスに「✓」をつけます。警告ダイアログを表示せずにインストールする場合は「✓」をはずします。
- **認証情報ストレージ**：特定のセキュリティ証明書またはその他の証明書が必要なWebページやLANにアクセスするときに設定します。
  - **信頼できる認証情報**：信頼できるすべての CA 証明書を表示します。
  - **ストレージからインストール**：ストレージから証明書をインストールします。
  - **認証ストレージの消去**：保存されたすべての証明書を削除します。

次ページへつづく

言語と入力

画面に表示する言語と文字入力について設定します。（→「文字を入力する」）

- **言語**：ホーム画面やメニュー画面で表示する言語を選びます。
- **スペルチェック**：文字の入力中に自動でスペルチェック機能をオンにするにはチェックボックスに「✓」をつけます。オフにするには「✓」をはずします。
- **ユーザー辞書**：単語のユーザー辞書への登録 / 削除を行います。
- **キーボードと入力方法**：
  - **デフォルト**：文字入力のとき、最初に表示されるキーボードを選びます。
    - **[Google キーボード]** / **[Google 音声入力]** / **[Japanese IME]**：入力のときに使うキーボードと入力方法（言語）を設定します。オンにするキーボードのチェックボックスに「✓」をつけます。
- **音声**：音声検索や音声読み上げ機能の設定を変更します。
  - **音声検索**：Google 音声検索時に使用する言語などを設定します。（→「音声検索機能の設定を変更する」）
  - **テキスト読み上げの出力**：テキストを読み上げるときに優先するエンジンや、読み上げ速度の設定をします。（→「テキスト読み上げ機能の設定を変更する」）
- **マウス / トラックパッド**
  - **ポインタの速度**：リモコンのポインティングキーで操作するポインターの速度を設定します。

次ページへつづく

バックアップとリセット

データのバックアップ、バックアップアカウントの設定やデータの初期化をします。

- **バックアップと復元**：アプリケーションデータやパスワード、その他設定などのバックアップとバックアップデータの復元などを行います。
  - **データのバックアップ**：アプリケーションのデータ、Wi-Fiパスワード、その他の設定をGoogleサーバーに自動的にバックアップするにはチェックボックスに「✓」をつけます。手動でバックアップするときは「✓」をはずします。
  - **バックアップアカウント**：バックアップアカウントの追加をします。
  - **自動復元**：アプリケーションを再インストールするときに、バックアップした設定とデータを自動で復元するにはチェックボックスに「✓」をつけます。復元しない場合は「✓」をはずします。
- **個人データ**
  - **データの初期化**：本機に保存・記憶したすべてのデータを消去し、お買い上げ時の状態に戻します。→「初期化（リセット）」）

設定項目一覧：アカウント

アカウントを追加

Google アカウント追加の設定をします。（→「Google アカウントを追加する」）

設定項目一覧：システム

日付と時刻

システムで使用する日付と時刻を設定します。（→「日付と時刻を設定する」）

- **日付と時刻の自動設定**：ネットワークから提供された日付・時刻を使用するときはチェックボックスに「✓」をつけます。手動で設定するときは「✓」をはずし、**［日付設定］**／**［時刻設定］**の設定をします。
- **日付設定**：手動で日付の設定をします。
- **時刻設定**：手動で時刻の設定をします。
- **タイムゾーンの選択**：タイムゾーンを選びます。
- **24 時間表示**：時刻の表示形式を選びます。24 時間形式で表示するときはチェックボックスに「✓」をつけます。12 時間形式で表示するときは「✓」をはずします。
- **日付形式の選択**：日付の表示形式を選びます。

次ページへつづく

ユーザー補助

本機をご使用になる上でのさまざまな補助機能の設定をします。

● サービス

- **TalkBack**：目の不自由なユーザーのための補助機能（TalkBack）を設定します。

> **お知らせ**
>
> TalkBack で日本語の読み上げをするには、Google Play から日本語読み上げに対応したエンジン (TTS) をインストールしてください。

● システム

- **拡大操作**：画面拡大機能のオン / オフを選びます。
- **大きい文字サイズ**：画面の文字サイズを大きくするにはチェックボックスに「✓」をつけます。文字サイズを小さくするには「✓」をはずします。この設定を変更すると **[ディスプレイ]** の **[文字サイズ]** の設定も変更されます。
- **画面の自動回転**：本機の画面の向きに合わせて画面を自動的に回転させるにはチェックボックスに「✓」をつけます。画面の向きを固定するときは「✓」をはずします。
- **パスワードの音声出力**：パスワードを音声で出力するには、チェックボックスに「✓」をつけます。音声出力しないときは、「✓」をはずします。
- **ユーザー補助のショートカット**：**[ユーザー補助]** の機能をオンにするためのショートカットのオン / オフを設定します。

次ページへつづく

- **テキスト読み上げの出力**：テキストを読み上げるときの言語、音声出力や読み上げる語句の制限、オフライン時の音声入力や音声の録音などの設定をします。
- **押し続ける時間**：ロングタップと判定されるまでの時間を設定します。
- **ウェブアクセシビリティの拡張**：アプリからウェブコンテンツへのアクセスを容易にするため、スクリプトを Google からインストールするかしないかを設定します。

タイマー

タイマーを設定します。（→「タイマー」）

スタートアップ

電源を入れたときに起動するアプリケーションを設定します。

● **スタートアップ**

- **スタートアップアプリケーションのリスト**：[⚙] をタップして、起動するアプリケーションを選んでから、チェックボックスに「✓」をつけると、本機の電源を入れたときに選んだアプリケーションが起動します。設定をオフにするには「✓」をはずします。

店頭デモモード

販売店などで展示用にデモモードを使うときはオンにします。

次ページへつづく

本体情報

本機の情報を表示します。

- **システムアップデート**：「Toshiba Service Station」を呼び出して、本機のシステムをアップデートします。
- **端末の状態**：IP アドレス、Wi-Fi Mac アドレス、シリアル番号、Bluetooth アドレス、稼働時間を表示します。
- **法的情報**：オープンソースライセンス、Google 利用規約、東芝利用規約を表示します。必ずお読みください。
- **モデル番号**：本機のモデル番号を表示します。
- **Android バージョン**：本機の Android バージョンを表示します。
- **カーネルバージョン**：本機のカーネルバージョンを表示します。
- **ビルド番号**：本機のビルド番号を表示します。

音の設定

音量を調節する

1 ホーム画面で［ ］→［ 設定］をタップする

設定画面が表示されます。

2 設定画面で［端末］の［音］→［音量］をタップする

音量の調節ウィンドウが表示されます。

3 項目ごと（［音楽、動画、ゲーム、その他のメディア］/［通知］/［アラーム］）に、調節バーをドラッグして音量を調節し、［OK］をタップする

- 音量を大きくするには右へ、小さくするには左へドラッグします。

お知らせ

本体またはリモコンの音量ボタンでも、音量を調節することができます。

左右のスピーカーの音量のバランスを調節する

1 ホーム画面で［ ］→［ 設定］をタップする

設定画面が表示されます。

2 設定画面で［端末］の［音］→［バランス］をタップする

バランスの調節ウィンドウが表示されます。

3 調節バーをドラッグして左右の音量バランスを調節し、［OK］をタップする

- 左のスピーカーからの音を大きくするには左へ、右のスピーカーからの音を大きくするには右へドラッグします。左右両方のスピーカーの音量を均等にするにはカーソルが真ん中にくるようにドラッグします。

通知音 / 操作音の設定をする

1 ホーム画面で［ ］→［ 設定］をタップする

設定画面が表示されます。

2 設定画面で［端末］の［音］→［デフォルトの通知音］をタップする

本機にインストールされている通知音の一覧が表示されます。

3 通知音の種類をタップして選び、［OK］をタップする

- 設定を途中でやめるときは［キャンセル］をタップします。

4 通知音 / 操作音の設定を変更する

各種設定をオンにするにはチェックボックスをタップして「✓」をつけます。オフにするにはチェックボックスをタップして「✓」をはずします。

- **［タッチ操作音］**：画面のアイコンをタップしたときの操作音のオン / オフを選びます。
- **［画面ロックの音］**：画面をロック中に画面にタップしたときの警告音のオン / オフを選びます。
- **［ダイナミックレンジコントロール］**：ドルビーデジタルのダイナミックレンジコントロール効果のオン / オフを選びます。

画面 / 映像の調整

画面の明るさを調整する

1 ホーム画面で［ ］→［ 設定］をタップする

設定画面が表示されます。

2 設定画面で［端末］の［ディスプレイ］→［画面の明るさ］をタップする

画面の明るさの調整ウィンドウが表示されます。

3 調整バーをドラッグして画面の明るさを調整し、［OK］をタップする

- 画面を明るくするには右へ、暗くするには左へドラッグします。
- 設定を途中でやめるときは［キャンセル］をタップします。

画質を設定する

1 ホーム画面で［ ］→［ 設定］をタップする

設定画面が表示されます。

2 設定画面で［端末］の［ディスプレイ］→［高画質設定］を［ON］または［OFF］にする

［ON］に設定すると、HDMI 入力や DLNA 等の動画を対象に、アプリケーション画面用の映像調整を動画用の映像調整に変更し、動画に適した映像で再生します。

壁紙を変更する

1 ホーム画面で［ ］→［ 設定］をタップする

設定画面が表示されます。

2 設定画面で［端末］の［ディスプレイ］→［壁紙］をタップする

3 壁紙の選択先を選んでタップする

- **ギャラリー**：**［ギャラリー］**に登録した画像を壁紙として設定します。あらかじめ、壁紙に設定するファイルを**［ギャラリー］**に登録してください。
- **ライブ壁紙**：**［ライブ壁紙］**に登録されている動きのある壁紙から選びます。
- **壁紙**：お買い上げ時に本機に登録されている壁紙から選びます。

4 壁紙をタップして選び、画面に表示させる

- ギャラリーから選ぶとき：フォルダーの中に入っている画像を壁紙として設定するときは、フォルダーをタップしてから画像をタップします。
- ライブ壁紙から選ぶとき：ライブ壁紙一覧から選びます。
- 壁紙から選ぶとき：壁紙一覧から壁紙に設定したいものをタップして選びます。他の壁紙にするときは、左右にスライドして下に表示される壁紙を切り換えます。

5 ［壁紙に設定］をタップする

選んだ壁紙がホーム画面に表示されます。

画面の向きを設定する

本機は、縦 / 横どちらの向きに設置してもお使いいただけます。（→「設置する」）

画面の自動回転をオンにすると、本機の置き方に合わせて画面の向きも自動で回転します。自動回転をオフにすると、現在の向きで画面の向きが固定されます。

1 ホーム画面で［ ］→［ 設定］をタップする

設定画面が表示されます。

2 設定画面で［システム］の［ユーザー補助］→［画面の自動回転］の設定をする

- 本機の向きに合わせて自動的に画面を回転させるにはチェックボックスをタップして「✓」をつけます。

システムの設定

日付と時刻を設定する

1 ホーム画面で［ ］→［ 設定］をタップする

設定画面が表示されます。

2 設定画面で［システム］の［日付と時刻］をタップする

3 日付と時刻を設定する

- ネットワークから提供された時刻に自動で合わせる場合：**［日付と時刻の自動設定］**のチェックボックスをタップして「✓」をつけます。
- 日付と時刻を手動で設定する場合：

① **［日付と時刻の自動設定］**のチェックボックスをタップして「✓」をはずす

② **［日付設定］**をタップし、設定画面を表示させる

③ 設定したい項目（年 / 月 / 日）をスクロールして日付を設定し、**［完了］**をタップする

- カレンダーから日付を選んで設定することもできます。

④ **［時刻設定］**をタップし、設定画面を表示する

⑤ 設定したい項目（時 / 分）をスクロールして時刻を設定し、**［完了］**をタップする

4 タイムゾーンを設定する

① **［タイムゾーンの選択］**をタップする

② お住まいの地域のタイムゾーンをタップして選ぶ

次ページへつづく

5 時刻の表示形式を選ぶ

- 時刻の表示を 24 時間形式にするときは、**[24 時間表示]**のチェックボックスをタップして「✓」をつけます。時刻の表示を 12 時間形式にするときは「✓」をはずします。

6 日付の表示形式を選ぶ

① **[日付形式の選択]** をタップする

② 日付の表示形式をタップして選ぶ

プラットフォームとアプリケーションをアップデートする

プラットフォームや本機にあらかじめ用意されているアプリケーションのアップデートは、「Toshiba Service Station」で行います。プラットフォームやアプリケーションの更新情報があると、ステータスエリアに「Toshiba Service Station」の通知アイコンでお知らせします。必要に応じてアップデートしてください。

1 ステータスエリアの「Toshiba Service Station」の通知アイコンが表示されているエリアを下へフリックして、「Toshiba Service Station」の項目をタップする

「Toshiba Service Station」が起動し、アップデート画面が表示されます。

2 画面の指示に従ってアップデートする

次ページへつづく

本機をご購入後にインストールしたアプリケーションのアップデートについて

アップデートが可能になると、ステータスエリアに通知を表示してお知らせします。通知アイコンが表示されているエリアを下へフリックして、「Toshiba Service Station」の項目をタップすると、アップデート画面が表示されます。画面の指示に従ってアップデートを行なってください。

お知らせ

- はじめて「Toshiba Service Station」を起動したときは、使用許諾が表示されます。内容を確認し、**[同意する]** をタップしてください。同意しないと「Toshiba Service Station」をご使用いただけません。
- ホーム画面で **[** ⋯ **]** → **[** TOSHIBA **Toshiba Service Station]** をタップするか、ホーム画面で **[** ⋯ **]** → **[** **設定]** → **[システム]** → **[本体情報]** → **[システムアップデート]** をタップしても、「Toshiba Service Station」を起動し、アップデートをご確認いただけます。

その他

音声検索機能の設定を変更する

1 ホーム画面で［ ］→［ 設定］をタップする

設定画面が表示されます。

2 設定画面で［ユーザー設定］の［言語と入力］→［音声検索］をタップする

3 音声検索の設定を変更する

- **言語**：音声入力の言語を選びます。
- **音声出力**：音声出力する情報の範囲を選びます。
- **不適切な語句をブロック**：音声認識の不適切な結果を表示しないときはチェックボックスをタップして「✓」をつけます。音声認識の出力の結果を制限しないときは「✓」をはずします。
- **オフラインの音声認識**：オフライン時に音声入力を利用できるように音声認識をダウンロードします。
- **Bluetooth ヘッドセット**：本機では使用しません。

テキスト読み上げ機能の設定を変更する

1 ホーム画面で［ ］→［ 設定］をタップする

設定画面が表示されます。

2 設定画面で［ユーザー設定］の［言語と入力］→［テキスト読み上げの出力］をタップする

3 テキスト読み上げ機能の設定を変更する

- **優先するエンジン**：音声検索時に優先する検索エンジンを選びます。検索エンジンの詳細の設定をするときは、［ ］をタップして設定します。
- **全般**：音声読み上げ機能の読み上げ速度の設定と確認をします。
  - **音声の速度**：テキストの読み上げ速度を設定します。
  - **サンプルを再生**：テキスト読み上げの音声合成のサンプルを再生して、読み上げ時の音声を確認します。

初期化（リセット）

初期化とは、お客様がご購入後に追加したアプリケーションや現在の設定などをすべて削除し、もう一度ご購入時の状態に復元する作業です。
ご購入後にお客様が作成したデータも削除されます。

次のような場合で、どうしても改善する方法がないときに初期化をしてください。

- **本機の動作が非常に遅くなった**
- **周辺機器が使えなくなった**
- **コンピューターウイルスやスパイウェアなどに感染し、駆除できない**
- **本機の調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない**

また、本機を廃棄したり、人にゆずったり、転売したりするときなどにも初期化をしてください。

お知らせ

初期化は「所有者」のみ実行できます。ただし、誤ってほかのユーザーに初期化を実行されないよう、画面ロックによるパターン /PIN/ パスワードを設定しておくことをおすすめします。パターン /PIN/ パスワードを設定した場合は、忘れてしまったときのために必ずパターン /PIN/ パスワードを控えてください。

初期化する前に確認する

本機の動作がおかしいと感じたとき、次の方法を実行してみてください。初期化をしなくても、状態が改善される場合があります。次の方法をすべて試してみても状態が改善されない場合に、初期化を実行してください。

● **周辺機器を取りはずし、再度確認する**

接続している周辺機器が障害となっている場合があります。それらを取りはずしてから、再度起動して、動作を確認してみてください。

● **他のトラブル解消方法を探す**

本機の調子がおかしいと思ったときは「困ったときは」を参照してください。それでも解消できないときに、初期化をしてください。

初期化する前に準備する

初期化を始める前に、次の準備と確認を行なってください。

● データのバックアップをとり、各種設定を控える

初期化すると、次のデータや設定が消去されます。バックアップをとれるものは、初期化を行う前にバックアップをとってください。

また、初期化を行う前に、設定内容を控えておいてください。

- プラットフォームやアプリケーションのデータや設定
- 無線 LAN、Google アカウントなどの設定
- 追加したアプリケーション
- 音楽や画像データ
- 自分で作成したデータ

● 周辺機器をすべて取りはずす

本機の電源プラグをコンセントから抜いてから、接続している周辺機器をすべて取りはずしてください。

初期化を実行する

ご注意

一度初期化を始めると、途中で中断できません。

1 ホーム画面で［ ］→［ 設定］をタップする

設定画面が表示されます。

2 設定画面で［ユーザー設定］の［バックアップとリセット］→［データの初期化］をタップする

3 画面の内容をよく読んでから、［リセット］をタップする

4 ［すべて消去］をタップする

「電源を切る」というメッセージウィンドウが表示されたあと、初期化が実行されます。セットアップ画面が表示されるまで、お待ちください。この間は絶対に電源を切らないでください。

5 本機のセットアップを行う

「セットアップをする」を参照して、セットアップを行なってください。

＞目次

外部機器との接続 / 取り付け

USB 機器 …… **175**
接続できる USB 機器について …… 175
USB 機器を接続する …… 176
USB 機器を取りはずす …… 177
Bluetooth 対応機器 …… **178**
Bluetooth のプロファイルについて …… 178
Bluetooth 対応機器をペアリングする …… 179
Bluetooth 対応機器を接続する …… 180
HDMI 機器 …… **181**
HDMI 機器を接続する …… 181
本機で対応している HDMI 入力信号フォーマット …… 183

本機に外部機器を接続 / 取り付けすることができます。接続する機器の詳細については機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

USB 機器

接続できる USB 機器について

USB 端子

本機の USB 端子には次の USB 対応機器（USB2.0 対応機器または USB1.1 対応機器）を使用することができます。

- USB フラッシュメモリ
- USB 接続型ハードディスクドライブ
- USB 対応マウス
- USB 対応キーボード
- USB 対応ハブ

PC IF 端子

本機の PC IF 端子（USB ミニ B タイプのプラグ）は、PC モニターモードのときに、Windows® 8 のタッチスクリーン操作のためにパソコンと接続します。Android モードでは使用しません。（→「Windows® 8 のパソコンと接続する」）

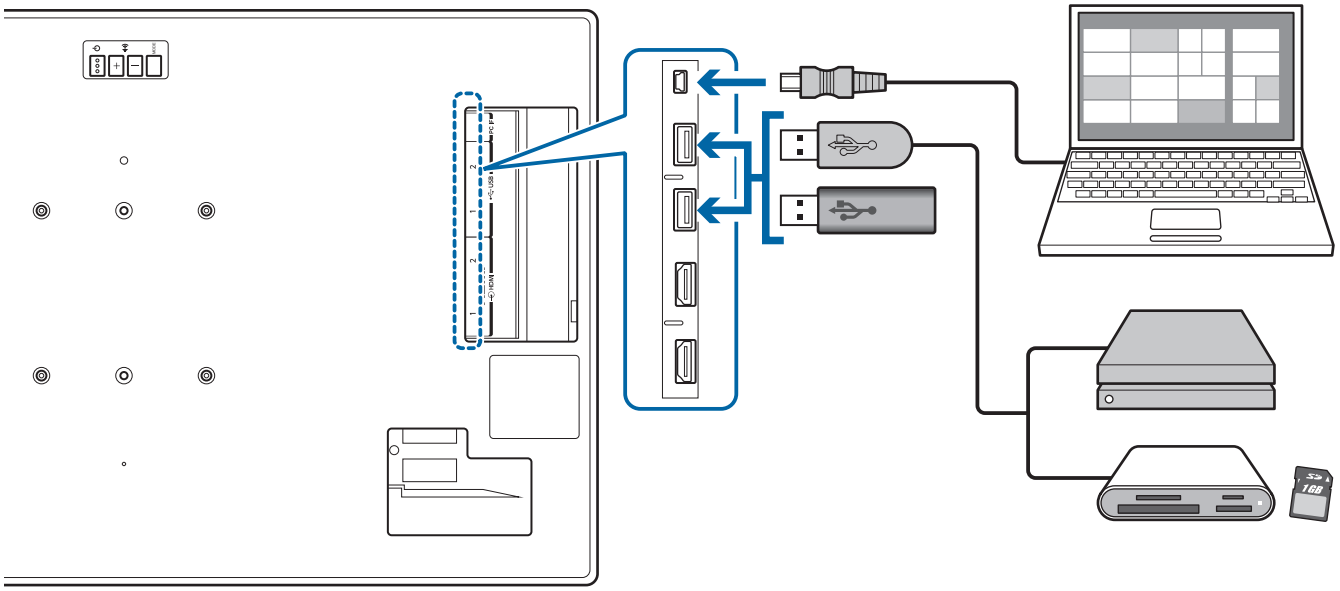
ご注意

- プリンターやスキャナーなどドライバーソフトウェアが必要な装置はご利用いただけません。
- これらの機器について、すべての動作、機能を保証するものではありません。サポートされている USB フラッシュメモリ、USB 接続型ハードディスクドライブのフォーマットタイプは、FAT12/16/32 のみです。
- USB 対応機器を使用するには、プラットフォームが対応している必要があります。

USB 機器を接続する

PC モニターモードを使うときのパソコン（Windows® 8）は PC IF 端子（ミニ USB）へ、それ以外の USB 対応機器は USB 端子へ接続してください。USB ケーブルを使って接続するときは、プラグを USB 対応機器に接続してからもう一方を本機に接続してください。

- パソコン（Windows® 8）を接続するときは、「Windows® 8 のパソコンと接続する」を参照してください。



お知らせ

- USB 対応機器は、電源を入れたままの取り付け / 取りはずしができます。また、新しい周辺機器を接続すると、自動的に機器を使用可能にするプラグアンドプレイに対応しています。
- 電源供給を必要とする USB 対応機器を接続する場合は、USB 対応機器の電源を入れてから本機に接続してください。
- USB 対応機器を接続したまま本機の電源を「切」（待機状態）にすると、電源を入れ直したあと、USB 対応機器が使用できない場合があります。その場合は、USB 対応機器を接続し直してください。

USB 機器を取りはずす

1 USB フラッシュメモリや USB 接続型ハードディスクドライブの場合は、利用を停止する

① ホーム画面で［ ］→［ 設定］をタップします。
設定画面が表示されます。

②［ストレージ］→［ストレージのマウント解除］をタップします。

③ 確認メッセージウィンドウが表示され、［OK］をタップすると端子から USB 対応機器の取りはずしが可能になります。

2 本機と USB 対応機器に差し込んである USB ケーブルを抜く

ご注意

- 取りはずすときは、USB 対応機器をアプリケーションやプラットフォームで使用していないことを確認してください。
- USB フラッシュメモリや USB 接続型ハードディスクドライブ（記憶装置の USB 対応機器）を取りはずす場合は、データを消失するおそれがあるため、必ずプラットフォーム上で使用停止の手順を行なってください。

Bluetooth 対応機器

Bluetooth のプロファイルについて

本機は下記の Bluetooth プロファイルに対応しています。

● **通信機能**

Bluetooth Specification Ver.2.1 + EDR

● **対応しているプロファイルの種類**

- HID
- A2DP
- AVRCP
- SPP

Bluetooth 対応機器をペアリングする

Bluetooth 対応機器を接続する前に、本機と Bluetooth 対応機器をペアリングします。

1 ペアリングする Bluetooth 対応機器の電源を入れる

2 ホーム画面で［ ］→［ 設定］をタップする

設定画面が表示されます。

3 設定画面で［無線とネットワーク］の［Bluetooth］をタップする

Bluetooth 設定画面が表示されます。

- Bluetooth の設定が［OFF］になっている場合は［OFF］をタップして［ON］に切り換えます。

4 ［デバイスの検索］をタップする

ペアリング可能な Bluetooth 対応機器の一覧が表示されます。

5 Bluetooth デバイス一覧からペアリングするデバイスをタップして選ぶ

選んだ Bluetooth 対応機器が「使用可能なデバイス」の一覧に表示されます。

お知らせ

［デバイスの検索］をタップしても、接続したい Bluetooth 対応機器がデバイス一覧に表示されないときは、本機の電源を入れ、Bluetooth の設定を［ON］にした状態で、Bluetooth 対応機器からペアリングしてください。

- Bluetooth 対応機器からのペアリングについては機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth 対応機器を接続する

ペアリングした Bluetooth 対応機器の中から選んで本機と Bluetooth 接続します。

1 接続する Bluetooth 対応機器の電源を入れる

2 ホーム画面で［ ］→［ 設定］をタップする

設定画面が表示されます。

3 設定画面で［無線とネットワーク］の［Bluetooth］をタップする

Bluetooth 設定画面が表示されます。

- Bluetooth の設定が［OFF］になっている場合は［OFF］をタップして［ON］に切り換えます。

4 Bluetooth デバイス一覧から接続するデバイスをタップして選ぶ

選んだ Bluetooth 機器が接続されます。

お知らせ

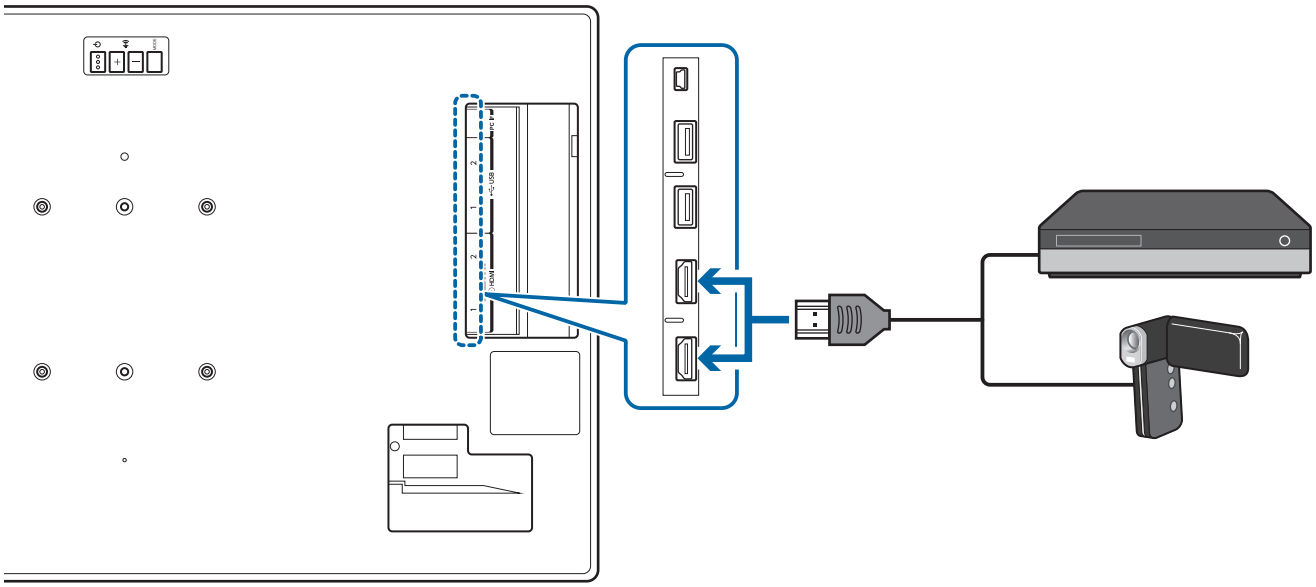
SCMS-T に対応していないデバイスを接続しているときに、コピー制限コンテンツを再生しようとすると、メッセージウィンドウが表示され、音声出力が中止されます。

HDMI 機器

HDMI 機器を接続する

HDMI ケーブルを使って本機の HDMI 端子と映像機器（ゲーム機、プレイヤーやハイビジョンムービーカメラなど）を接続します。

- 接続する映像機器の出力端子形状に合うケーブルをご使用ください。
- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴの表示があるケーブルをご使用ください。また、外部機器から 1080p の映像信号を入力する場合は、ハイスピード HDMI® ケーブルをご使用ください。（標準 HDMI® ケーブルでは、正常に動作しないことがあります。）



ご注意

HDMI 端子に外部機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

次ページへつづく

お知らせ

- 本機には HDMI および DVI 機器を接続できますが、接続する機器によっては映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- DVD などの再生時に、音声の出始めが少し途切れることがありますが、これはデジタル信号の判定のためで、故障ではありません。
- HDMI 連動機能を使用する場合は、HDMI1 端子と接続してください。

本機で対応している HDMI 入力信号フォーマット

- 「VESA 規格」の欄に「○」が記載されている信号フォーマットは、本機の HDMI 端子では VESA 規格に準拠する信号フォーマットにのみ対応しています。機器によっては本機の画面に映像が表示されないか、または正しく表示されないことがあります。その場合は下表に示した入力信号のどれかに合うようにパソコンや映像機器の設定を変更してください。一部のパソコンでは有効画面領域を「解像度」と表記する場合があり、その場合は本機が表示する解像度と異なることがあります。
- リフレッシュレートが 24/70/72/75Hz の信号は 60Hz に変換して表示されます。
- 表すべての信号に対応していますが、パソコンを接続する場合はリフレッシュレートが 60Hz の信号を推奨します。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレート	水平周波数	ピクセルクロック	VESA 規格
480i	720 × 480	59.94 / 60Hz	15.734 / 15.750kHz	27.000 / 27.027MHz	
480p	720 × 480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	27.000 / 27.027MHz	
1080i	1920 × 1080	59.94 / 60Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
720p	1280 × 720	59.94 / 60Hz	44.955 / 45.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
1080p	1920 × 1080	59.94 / 60Hz	67.433 / 67.500kHz	148.352 / 148.500MHz	
		23.98 / 24Hz	26.973 / 27.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
VGA	640 × 480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	25.175 / 25.200MHz	○
		72Hz	37.861kHz	31.500MHz	○
		75Hz	37.500kHz	31.500MHz	○
SVGA	800 × 600	60Hz	37.879kHz	40.000MHz	○
		72Hz	48.077kHz	50.000MHz	○
		75Hz	46.875kHz	49.500MHz	○
XGA	1024 × 768	60Hz	48.363kHz	65.000MHz	○
		70Hz	56.476kHz	75.000MHz	○
		75Hz	60.023kHz	78.750MHz	○
WXGA	1280 × 768	60Hz	47.776kHz	79.500MHz	○
		75Hz	60.289kHz	102.250MHz	○
	1360 × 768	60Hz	47.712kHz	85.500MHz	○
SXGA	1280 × 1024	60Hz	63.981kHz	108.000MHz	○

困ったときは

症状で調べる…… **185**
操作中のトラブル …… 185
画面の表示に関するトラブル …… 187
その他のトラブル …… 187
捨てるとき / 人に譲るとき…… **189**
本機を購入時の状態に戻す …… 189

本機の操作をしていて困ったときに、どうしたら良いかを説明しています。トラブルが起こったときは、あわてずに、この章を読んで、解決方法を探してみてください。
また、本機を捨てるときや人に譲るときに知っておいて欲しいことを説明しています。

症状で調べる

操作中のトラブル

電源が入らない / 電源を入れても、すぐに切れてしまう / 電源を入れても、画面が表示されない

- 電源ボタンを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。確実に電源ボタンを押してください。
- 電源表示ランプがオレンジのときは、無線 LAN ルーターと通信中のため、電源ボタンや HDMI 連動機器などから本機の電源を入れることができない場合があります。電源表示ランプが赤色に変わってから、再度操作してください。
- AC アダプター・電源プラグがきちんと接続されているか、確認してください。
- 本機内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、本機が自動的に停止します。本機が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、本機の内部温度が下がるのを待ってください。
- 本機から、いったん AC アダプター・周辺機器を取りはずし、再度接続し、電源ボタンを押します。

リモコンで操作ができない

- リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がないか確認してください。
- リモコンの乾電池が消耗している可能性があります。新しい乾電池に交換してください。
- リモコンの乾電池の向き（+/ −）を確認し、正しく入れてください。

次ページへつづく

操作しても反応がない

- プラットフォームが処理をしている状態のため、操作を受け付けないことがあります。プラットフォームの処理が終わるまで待ってから操作してください。

使用中に突然電源が切れる

- 本機内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、本機が自動的に停止します。本機が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、本機の内部温度が下がるのを待ってください。

本機が応答しない

- 電源プラグをコンセントから抜いてから電源を入れ直してください。（強制的に電源を切ると、保存されていないデータは消失します。）

電源を入れ直してもトラブルが解消しない

- 本機の購入後にアプリケーションを追加したり、周辺機器を接続してから、問題が発生するようになった場合は、アプリケーションや周辺機器がプラットフォームに影響している可能性があります。追加したアプリケーションを削除するか、周辺機器を取りはずしてください。それでも解決できない場合は、初期化（→「初期化（リセット）」）を実行してください。

画面の表示に関するトラブル

画面が薄暗く、よく見えない

- 画面の明るさを調整してください。（→「画面の明るさを調整する」）

画面が回転する / 回転しない

- 画面の向きの設定を変更してください。（→「画面の向きを設定する」）（購入時は設置した画面の向きに合わせて表示が回転するように設定されています。）

その他のトラブル

プラットフォームのアップデート中（更新中）にトラブルが発生した

- 初期化を実行し、購入時の状態に戻してください。（→「初期化（リセット）」）その後、アップデートを実行してください。（→「プラットフォームとアプリケーションをアップデートする」）

本機に液体をこぼしてしまった / 異常なにおいや過熱に気づいた

- 飲み物などの液体が内部に入ると、感電、本体の故障、作成データの消失などのおそれがあります。ただちに電源を切り、AC アダプターを取りはずしてください。（保存されていないデータは消失します。）

次ページへつづく

アプリケーションや周辺機器が正常に動作しない

- アプリケーショントラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。
- 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

起動してもホーム画面が表示されない

- 複数のユーザーを登録している場合は、本機を起動したときに、ホーム画面ではなくユーザー選択画面が表示されます。ユーザーを選んでロックを解除すると（→「画面ロックを解除する」）、ホーム画面が表示されます。

インターネットにつながらない / インターネットの速度が遅い

- ステータスエリアで Wi-Fi の電波の強さを確認してください。電波が弱い場合は、無線 LAN の設定を確認するか、電波の強い無線 LAN ルーター / アクセスポイントに接続してください。

ソフトウェアキーボードで漢字の変換ができない

- キーボードと入力方法の設定で、日本語 IME のキーボードを選んでください。（→「言語と入力」）

捨てるとき / 人に譲るとき

本機を捨てたり人に譲ったりするときは、本機を初期化してお買い上げ時の状態に戻してください。

初期化を行わずに廃棄、譲渡をした場合、本機に保存・記憶した情報が漏洩する可能性があります。

本機を購入時の状態に戻す

廃棄 / 譲渡する前に、本機を初期化して、購入時の状態に戻してください。（→「初期化（リセット）」）